Canon

imageRUNNER
ADVANCE
C2230F/C2220/C2220F

セットアップガイド

将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

本マニュアルの構成について

第 1 章

最初に準備すること

本製品にログインする方法や、ネットワークに接続する方法など、最初に必要な設定について説明しています。

第 2 章

いろいろな機能を使う

本製品の各機能を使用する前に必要なセットアップ方法について、一般的な利用例をあげて説明しています。

第 3 章

システムオプション／ MEAP アプリケーションを使用する

ソフトウェアの登録／更新の機能を使ってシステムオプションや MEAP アプリケーションをインストールし、本製品で使用する方法について説明しています。

はじめに

本製品の各機能を使用するには、あらかじめ設定が必要なものがあります。本マニュアルの「目的の機能を使用するための設定の流れ」（→ P.4）を参照して、一連の流れを確認してください。

社内ネットワーク

imageRUNNER ADVANCE

アドバンスドボックス

アドバンスドボックスに保存する

メモリーメディアに保存する

スキャンして保存

本製品

コンピューターからファクス送信する

プリント

ファクス

本製品からファクス送信する

スキャンして送信

リモートファクスサーバー経由で送信する

コピー

リモートUI

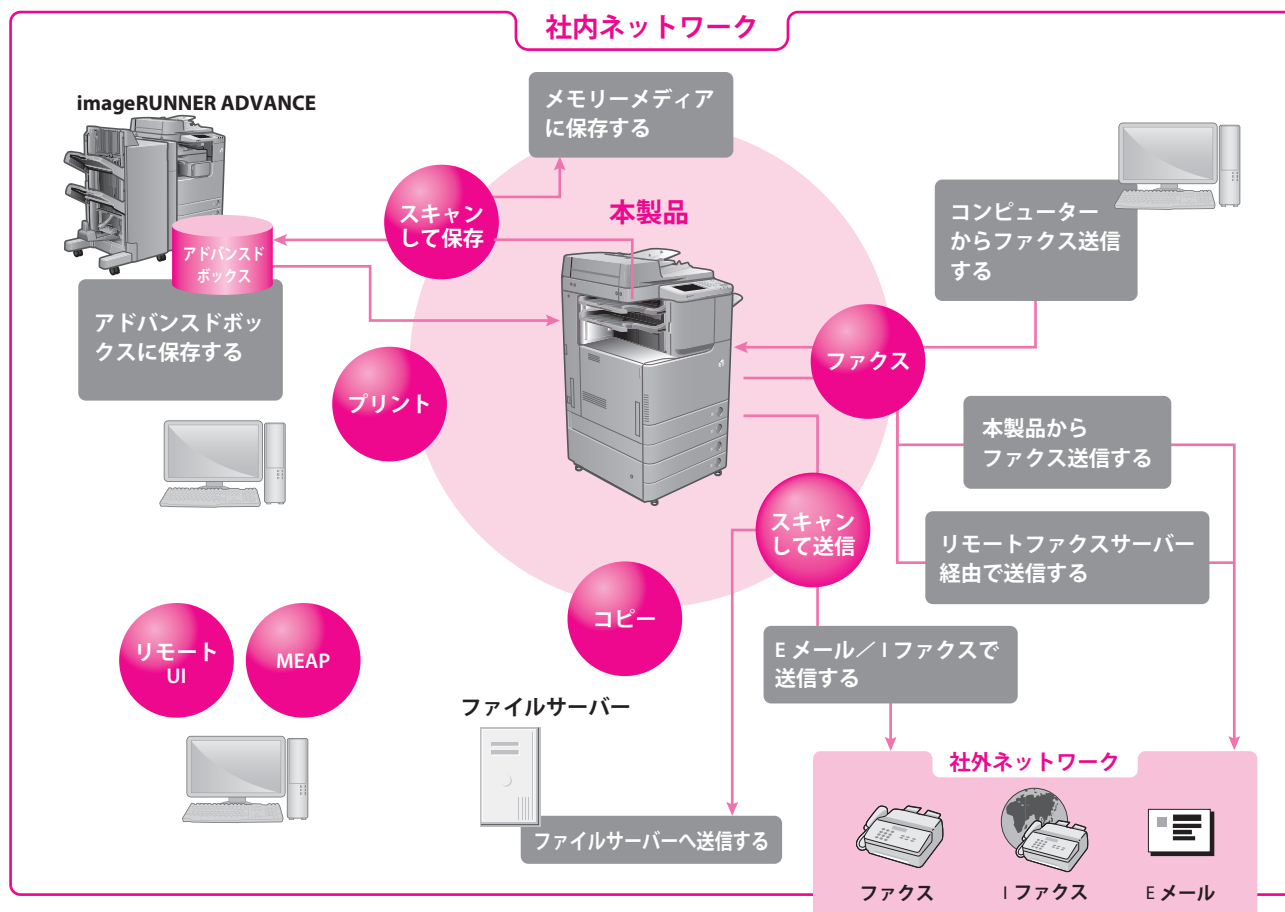
MEAP

Eメール／Iファクスで送信する

ファイルサーバー

ファイルサーバーへ送信する

社外ネットワーク

ファクス　Iファクス　Eメール

マークについて

本マニュアルでは、安全のため守っていただきたいことや、取り扱い上の制限や注意などを説明するために、次のようなマークを付けています。

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーやボタンの表記について

本マニュアルでは、キーやボタン名称を次のように表しています。

・タッチパネルディスプレー上のキー：［キー名称］
　例：　［キャンセル］/［閉じる］

・操作パネル上のキー：＜キーアイコン＞＋（キー名称）
　例：　◎（スタート）/ ◈（ストップ）

・コンピューター画面上のボタン：［ボタン名称］
　例：　［OK］/［追加］

目的の機能を使用するための設定の流れ

本製品をお使いになるのに必要な設定の流れについて、機能別に説明しています。一連の流れを確認したあと、本マニュアルの詳細ページまたはe-マニュアルを参照して、実際の設定を行ってください。

最初に、「管理者としてログインする」(→P.10)を参照してください。

そのまま使用できます。(設定は不要です。)

コピー

ファクス受信(本製品で受信)

●オプションのFAXボード[*1]が必要です。

スキャンして保存[*2]/保存ファイルの利用[*2*3](メモリーメディア)

ソフトウェアの登録/更新[*4]

ファクス送受信

リモートファクスサーバー機経由で送受信する

●オプションのリモートFAX送信キットとライセンスの登録が必要です。

本製品からファクス送信する[*5]

●オプションのFAXボード[*1]が必要です。

コンピューターからファクス送信する[*5]

●オプションのFAXボード[*1]が必要です。

プリント[*5]

●LIPS Vプリンター機能を使用する場合は、LIPS V拡張キットとライセンス登録が必要です。PSプリンター機能を使用する場合は、PS拡張キットとライセンス登録が必要です。

●ネットワークに接続

→ネットワークを設定する:P.14

●USBで接続

→e-マニュアル

スキャンして保存/保存ファイルの利用[*3](ネットワーク)

アドバンスドボックスを使用する

スキャンして送信[*5]

ファイルサーバーへ送信する

Eメール/Iファクスで送信する

リモートUI

MEAP

リモートスキャナー

●ネットワークに接続

→ネットワークを設定する:P.14

*1 imageRUNNER ADVANCE C2230F/C2220F には、スーパー G3FAX ボードが標準で装着されています。
*2 工場出荷時は、メモリーメディアの表示が「OFF」に設定されています。メモリーメディアを利用するには、[環境設定]（設定／登録）の［表示設定］で、[保存先の表示設定］の < メモリーメディア > を「ON」に設定してください。
*3 ネットワーク上のアドバンスドボックス、メモリーメディアに保存されている PDF ファイルをプリントするには、PS 拡張キットまたはダイレクトプリント拡張キット（PDF/XPS 用）とライセンスの登録が必要です。
*4 配信サーバーにアクセスしてソフトウェアの登録／更新を行う場合は、このフロー図の「ネットワークに接続」と「ネットワークの設定」が必要です。
また、ソフトウェアの登録／更新をリモート UI から行う場合は、「ネットワークに接続」、「ネットワークの設定」、「リモート UI の設定」が必要です。
*5 システム環境については、e- マニュアル > オプション／ソフトウェアについてを参照してください。
*6 使用できるファイルサーバーは、お使いのネットワークによって異なります。使用できるファイルサーバーの詳細については、e- マニュアル > ネットワークを参照してください。

目次

第 1 章　最初に準備すること

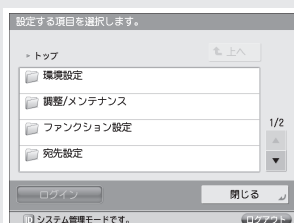
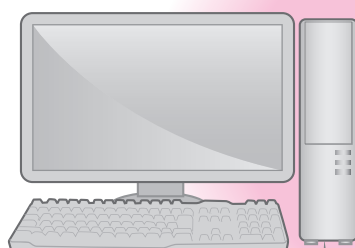
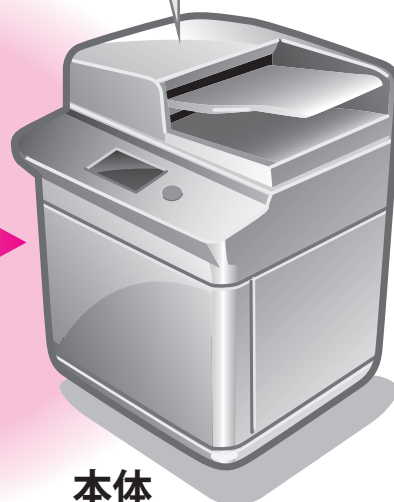
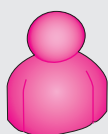
第 2 章　いろいろな機能を使う

第 3 章　システムオプション／ MEAP アプリケーションを使用する

最初に準備すること

1

管理者としてログインする

本製品の設定を行う前に、管理者としてログインする必要があります。本製品のタッチパネルディスプレーからログインする方法と、コンピューターからリモート UI を使ってログインする方法があります。

本体からログインする

タッチパネルディスプレーから管理者としてログインするには、次のように入力します。

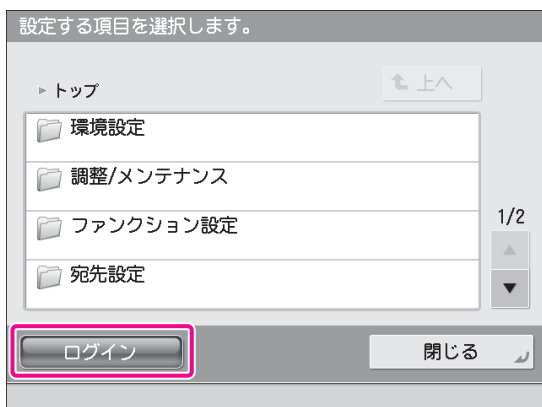
システム管理部門 ID
7654321

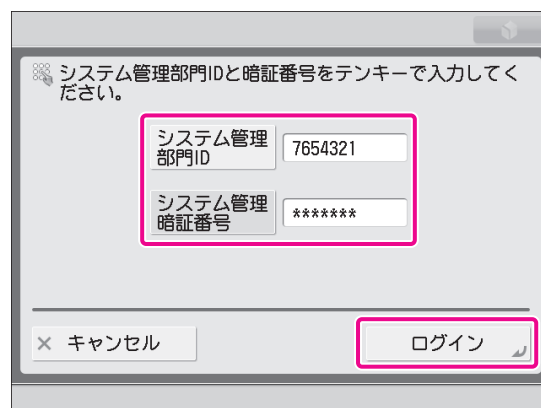
システム管理暗証番号
7654321

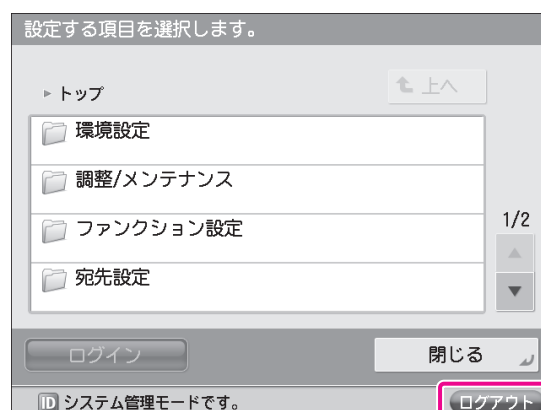
重要
システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号の初期値は、それぞれ「7654321」に設定されています。ログイン後に変更してお使いください。

ここでは例として、システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号の初期値でログインします。

1 （設定／登録）を押します。

2 ［ログイン］を押します。

3 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力→［ログイン］を押します。

［システム管理部門 ID］：7654321
［システム管理暗証番号］：7654321（入力された暗証番号はアスタリスクで表示されます）

これで、管理者としてログインしている状態になりました。
引き続き、「第 2 章 いろいろな機能を使う」を参照して、各機能を使用するための設定を行ってください。

設定や操作が完了したら、［ログアウト］または操作パネルの（ID キー）を押して、ログアウトしてください。

メインメニュー画面に戻るときは、［メインメニュー］を押します。

コンピューターからログインする

リモート UI から本製品に接続して管理者としてログインするには、次のように入力します。

システム管理部門 ID
7654321

システム管理暗証番号
7654321

重要
システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号の初期値は、それぞれ「7654321」に設定されています。ログイン後に変更してお使いください。

メモ

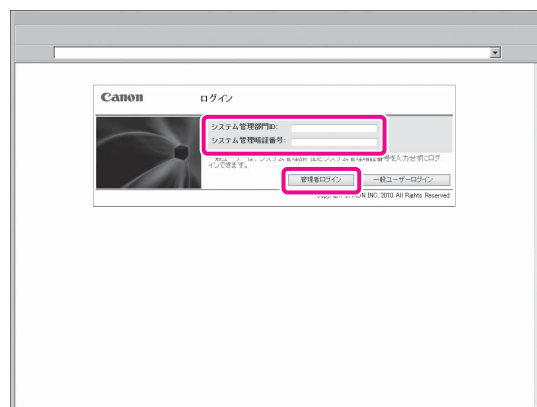
- リモート UI から管理者としてログインするには、あらかじめネットワーク接続の設定を行う必要があります。ネットワークの接続を行うには、「ネットワークにつなげる」（→ P.13）を参照してください。
- ログインサービスを使用している場合は、e- マニュアル > MEAP を参照してください。
- リモート UI に必要なシステム環境や起動するための準備については、e- マニュアル > リモート UI を参照してください。

ここでは例として、システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号の初期値でログインします。

1 お使いのコンピューターの Web ブラウザーを起動します。

2 アドレス入力欄に「http://< 本体の IP アドレスまたはホスト名 >」を入力します。

3 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を次のように入力→［管理者ログイン］をクリックします。

［システム管理部門 ID］：7654321
［システム管理暗証番号］：7654321

これで、管理者としてログインしている状態になりました。
引き続き、「第 2 章 いろいろな機能を使う」を参照して、各機能を使用するための設定を行ってください。
操作や設定が完了したら、［ログアウト］をクリックして、ログアウトしてください。

ネットワークにつなげる

コンピューターからのプリントやファクス送信などの機能をお使いになるには、あらかじめ本製品でネットワークに接続するための設定が必要です。

ネットワークを設定する

本製品でネットワークに接続するには、次のように設定します。

［ネットワークの設定変更 / 接続の確認表示］：［ON］

［Ethernet ドライバー設定］
　＜自動検出＞：［ON］

［SNMP 設定］
　＜ SNMPv1 を使用＞：［ON］
　＜ホストからプリンター管理情報を取得＞：［ON］

［コミュニティー名 1 設定］
　＜コミュニティー名 1 ＞：［ON］
　＜ MIB アクセス権限＞：［読込のみ］

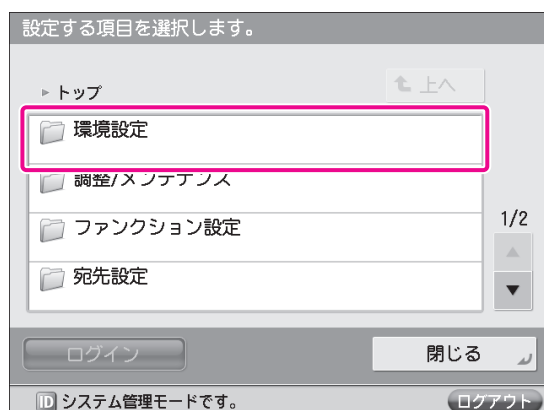
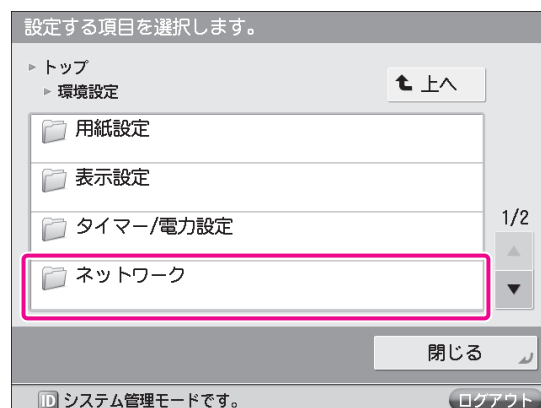
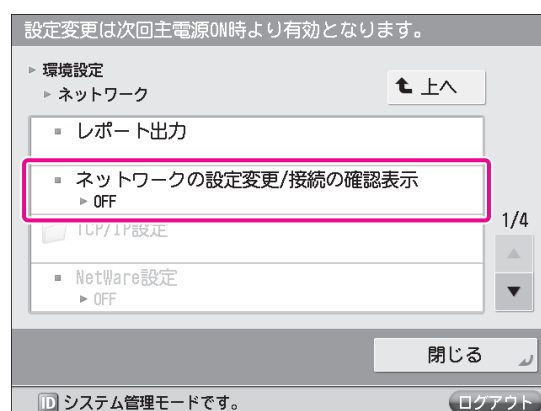
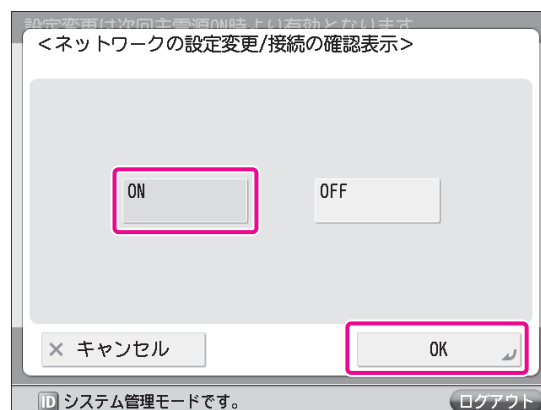
［専用ポート設定］：［ON］

［スプール機能を使用］：［ON］

メモ

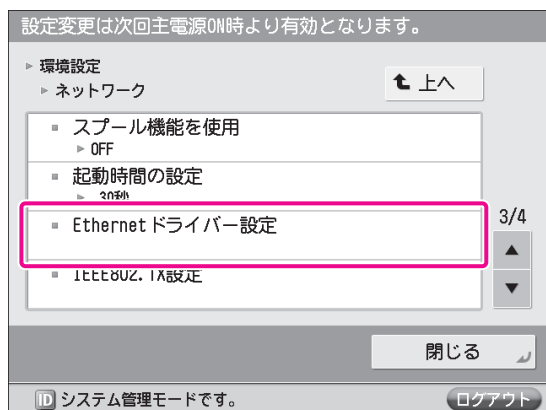
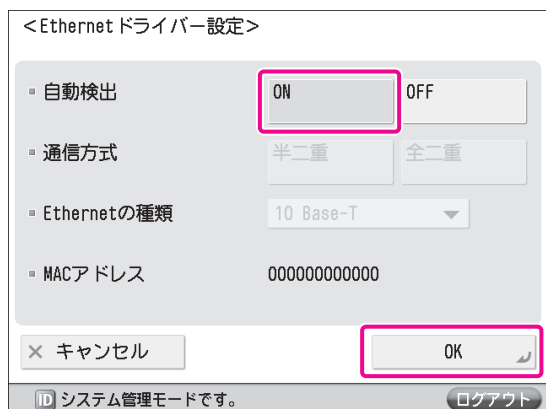
ネットワーク接続の設定を行う前に、本製品とコンピューターをネットワークケーブルで接続する必要があります。詳しくは、e- マニュアル > ネットワーク > ケーブルの接続を参照してください。

1 （設定／登録）を押します。

2 ［環境設定］を押します。

3 ［ネットワーク］を押します。

4 ［ネットワークの設定変更 / 接続の確認表示］を押します。

5 ［ON］→［OK］を押します。

6 ［Ethernet ドライバー設定］を押します。

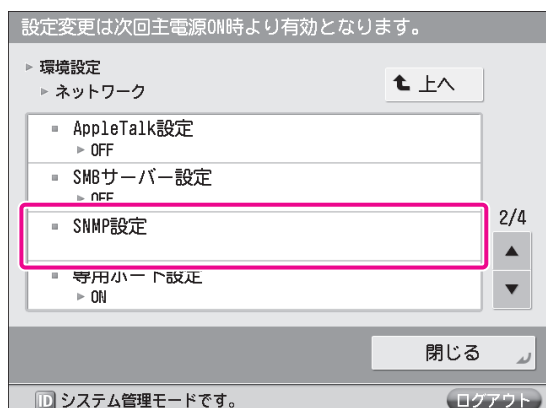
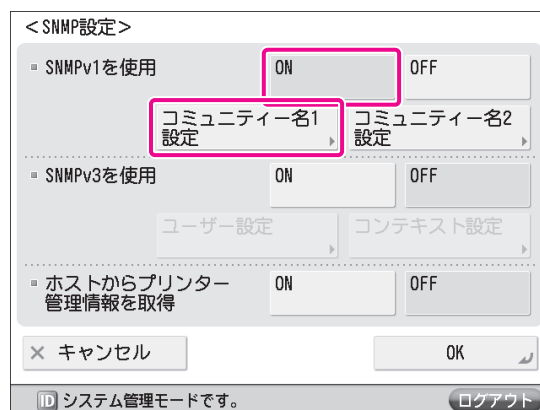
目的の項目が表示されないときは、▲▼を押します。

7 ＜自動検出＞の［ON］→［OK］を押します。

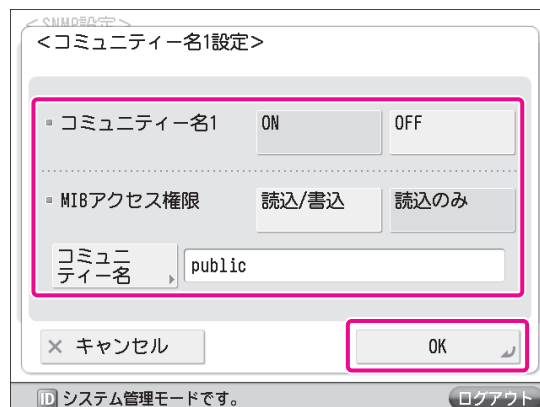
＜Ethernet ドライバー設定＞
自動検出　ON　OFF
通信方式　半二重　全二重
Ethernetの種類　10 Base-T
MACアドレス　000000000000
キャンセル　OK
システム管理モードです。　ログアウト

これで、インターフェイスの設定ができました。次に、本製品とネットワーク上のコンピューターの通信環境を設定します。

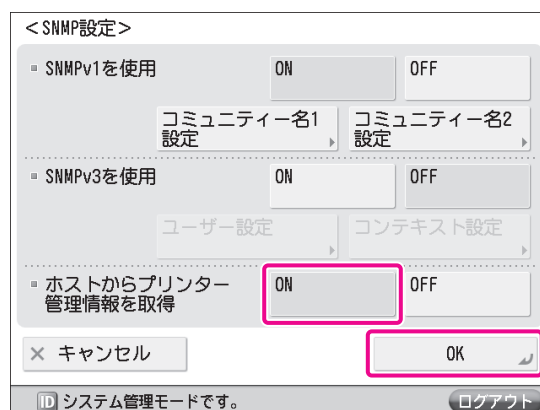
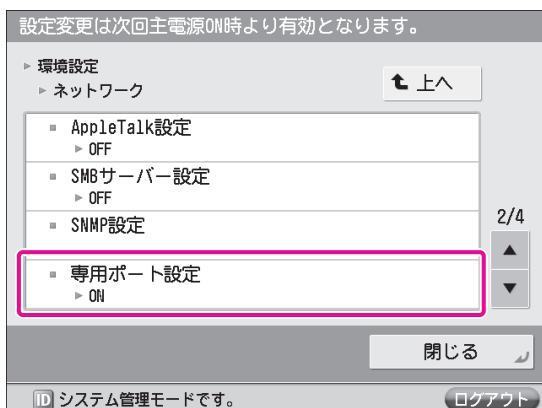
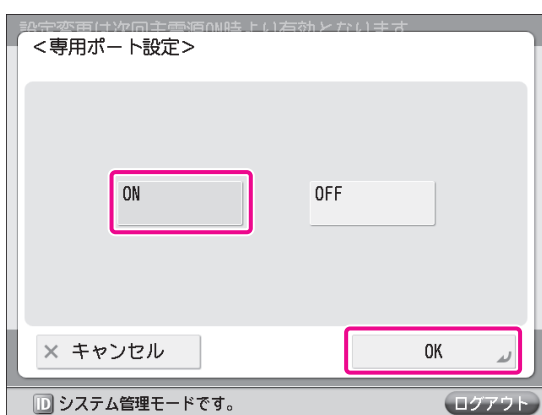
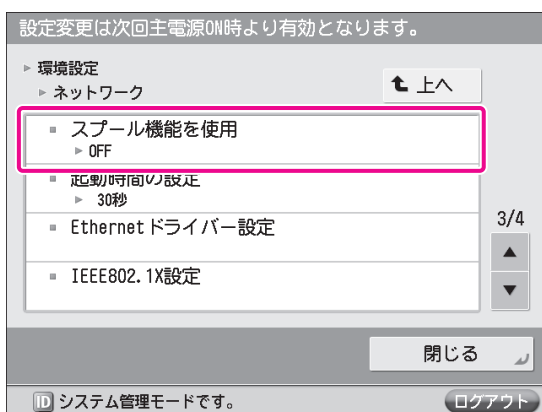
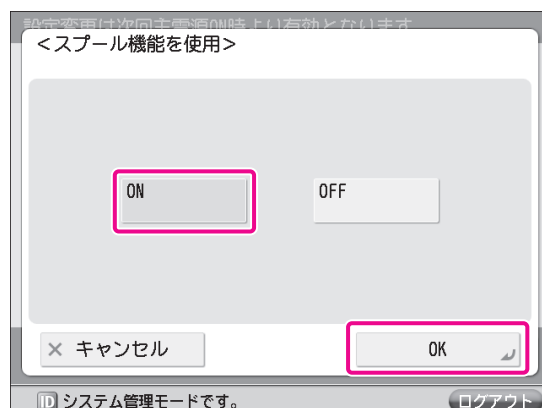
8 ［SNMP 設定］を押します。

9 ＜ SNMPv1 を使用＞の［ON］→［コミュニティー名 1 設定］を押します。

＜SNMP設定＞
SNMPv1を使用　ON　OFF
コミュニティー名1設定　コミュニティー名2設定
SNMPv3を使用　ON　OFF
ユーザー設定　コンテキスト設定
ホストからプリンター管理情報を取得　ON　OFF
キャンセル　OK
システム管理モードです。　ログアウト

10 次の項目を設定→［OK］を押します。

ここでは例として、次のように設定します。
＜コミュニティー名 1 ＞：［ON］
＜ MIB アクセス権限＞：［読込のみ］

＜コミュニティー名1設定＞
コミュニティー名1　ON　OFF
MIBアクセス権限　読込/書込　読込のみ
コミュニティー名　public
キャンセル　OK
システム管理モードです。　ログアウト

11 ＜ホストからプリンター管理情報を取得＞の［ON］→［OK］を押します。

＜SNMP設定＞
SNMPv1を使用　ON　OFF
コミュニティー名1設定　コミュニティー名2設定
SNMPv3を使用　ON　OFF
ユーザー設定　コンテキスト設定
ホストからプリンター管理情報を取得　ON　OFF
キャンセル　OK
システム管理モードです。　ログアウト

12［専用ポート設定］を押します。

13［ON］→［OK］を押します。

14［スプール機能を使用］を押します。

15［ON］→［OK］を押します。

これで、通信環境の設定ができました。
引き続き、「IP アドレスを設定する」（→ P.17）を参照して、ネットワークを使用するための設定を行ってください。

IP アドレスを設定する

ネットワークに接続したあと、本製品を設定する必要があります。
ここでは例として、ネットワークの種類に TCP/IP を使用します。

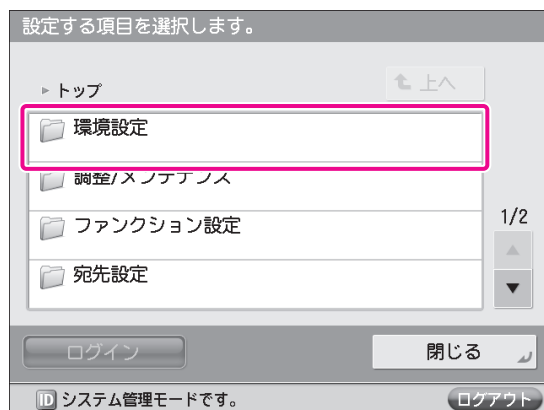
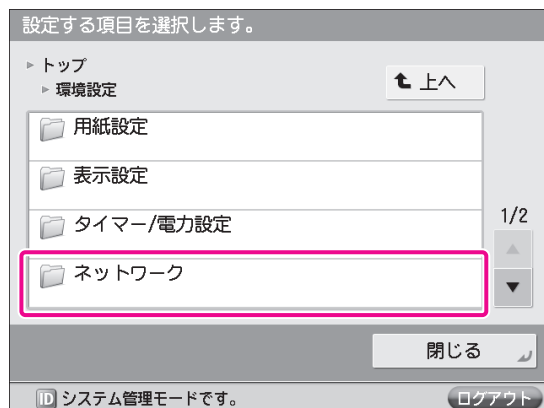
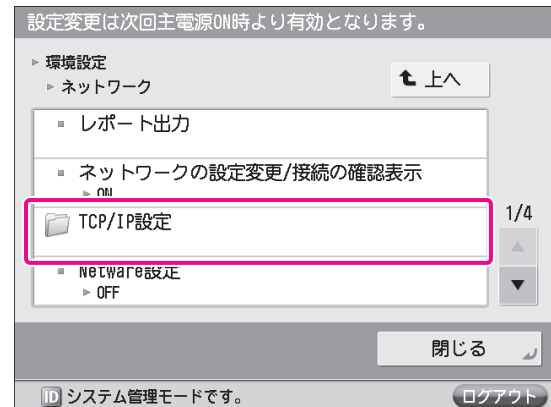
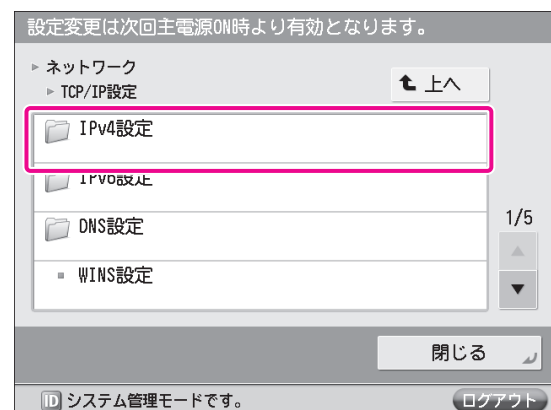
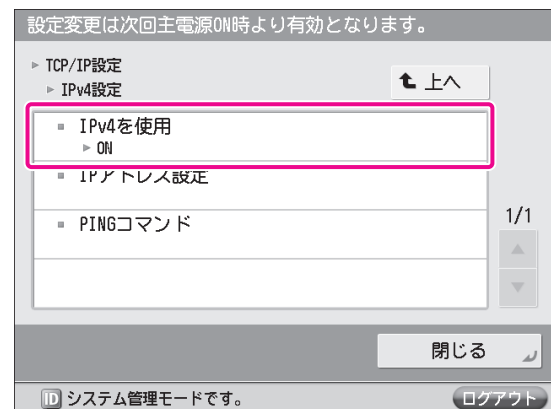
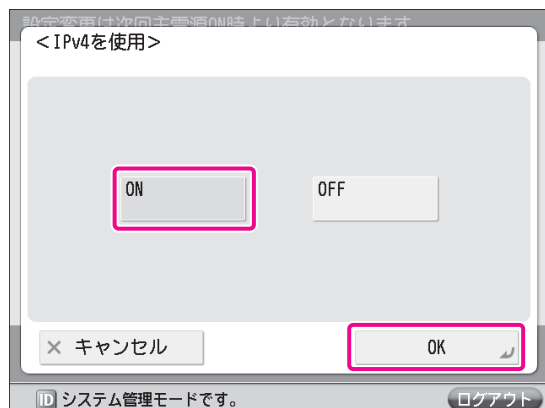
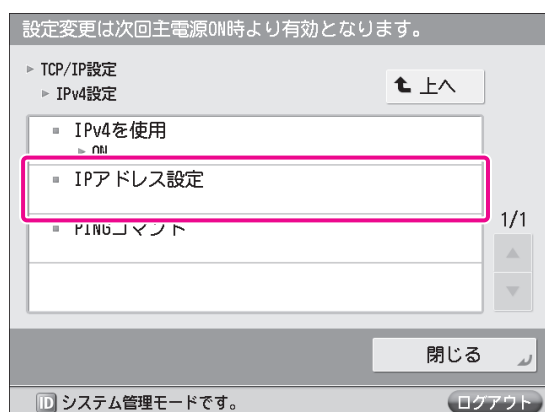
TCP/IP 設定

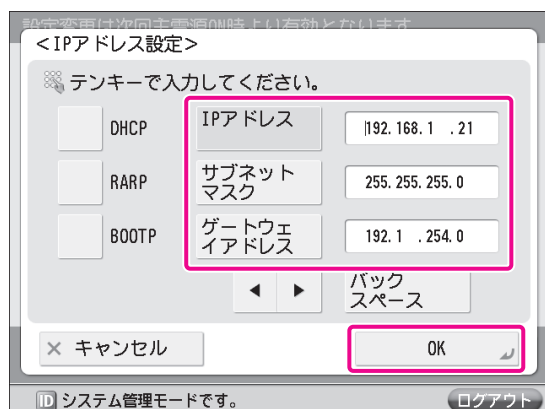
［IPv4 を使用］：［ON］
［IP アドレス設定］：192.168.1.21

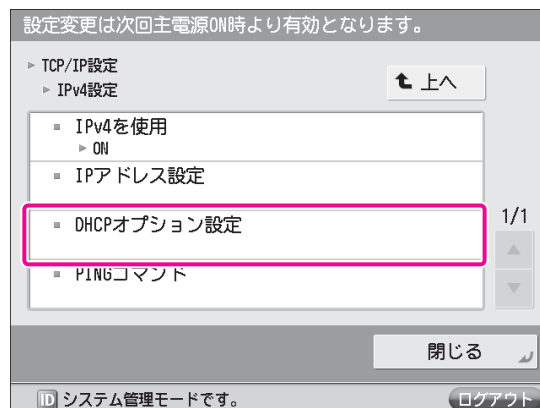
DNS 設定

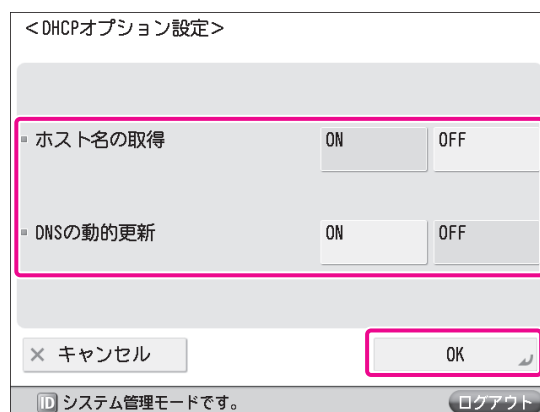
［DNS サーバーアドレス設定］：192.168.1.22
［ホスト名］：host-name
［ドメイン名］：organization.company.com

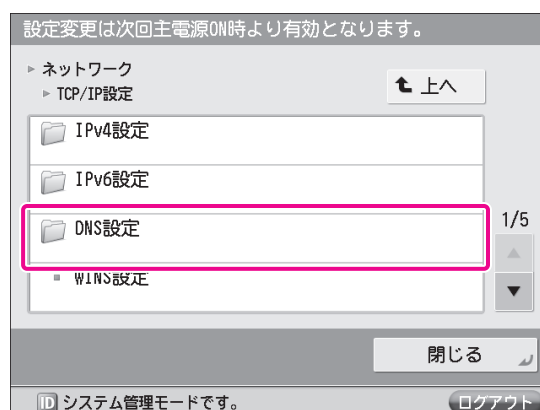
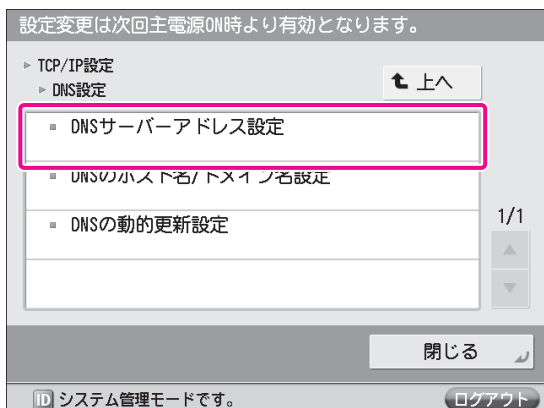
1 （設定／登録）を押します。

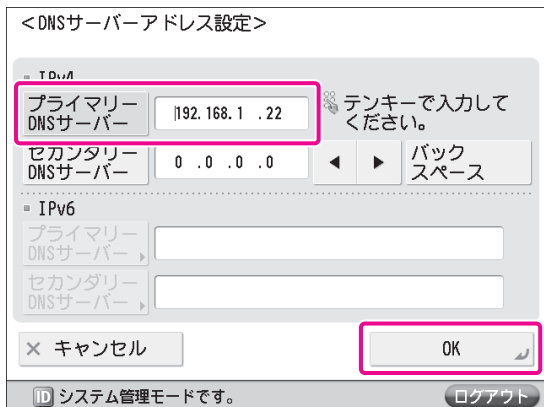
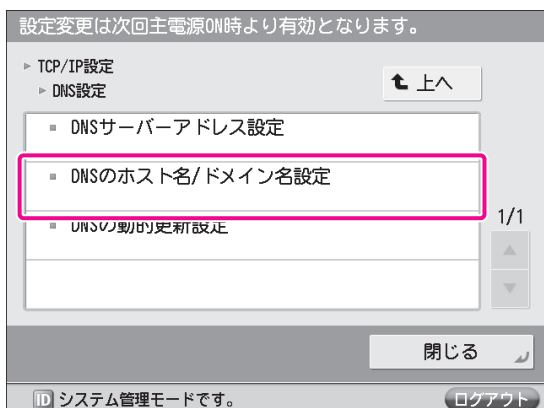
2 ［環境設定］を押します。

3 ［ネットワーク］を押します。

4 ［TCP/IP 設定］を押します。

5 ［IPv4 設定］を押します。

6 ［IPv4 を使用］を押します。

7 ［ON］→［OK］を押します。

8 ［IP アドレス設定］を押します。

9 次の項目を入力→［OK］を押します。

ここでは例として、次のように入力します。
［IP アドレス］：192.168.1.21
［サブネットマスク］：255.255.255.0
［ゲートウェイアドレス］：192.1.254.0

［IP アドレス設定］で［DHCP］を「ON」にした場合は、次の手順でDHCP のオプションを設定します。［DHCP］を「OFF」にした場合は、手順 12 に進みます。

10 ［DHCP オプション設定］を押します。

11 次の項目を設定→［OK］を押します。

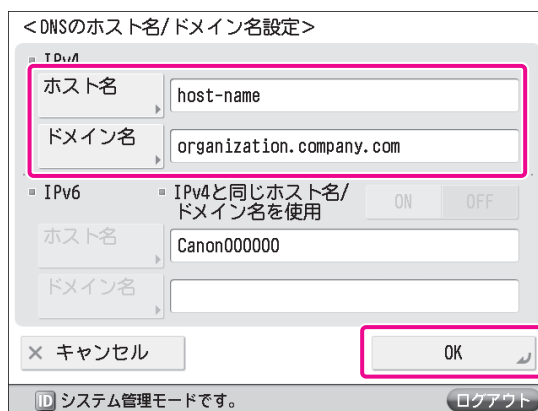
ここでは例として、次のように設定します。
＜ホスト名の取得＞：［ON］
＜ DNS の動的更新＞：［OFF］

これで、IP アドレスの設定が終わりました。
次に、DNS の設定を行います。

12 ［DNS 設定］を押します。

13 ［DNS サーバーアドレス設定］を押します。

14 ＜ IPv4 ＞の［プライマリー DNS サーバー］に IP アドレスを入力→［OK］を押します。

ここでは例として、「192.168.1.22」と入力します。

15 ［DNS のホスト名 / ドメイン名設定］を押します。

16 ＜ IPv4 ＞でホスト名とドメイン名を入力→［OK］を押します。

ここでは例として、次のように入力します。

［ホスト名］：host-name

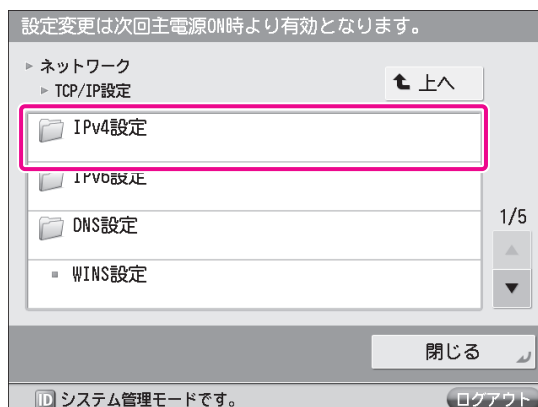
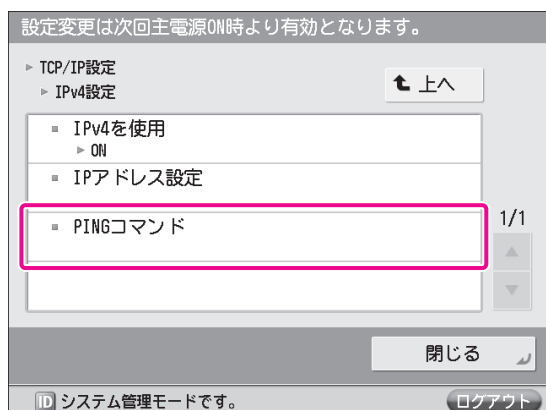
［ドメイン名］：organization.company.com

17 本製品の主電源を切ったあと、電源を入れなおします。

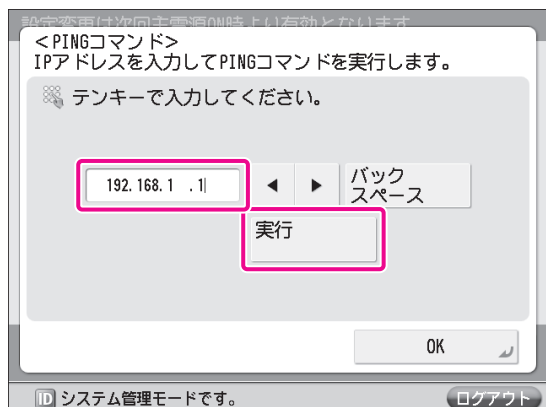
DNS の設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。

これで、DNS の設定が終わりました。
次に、ネットワークの設定が正しくできているかどうかを確認します。

18 （設定／登録）を押します。

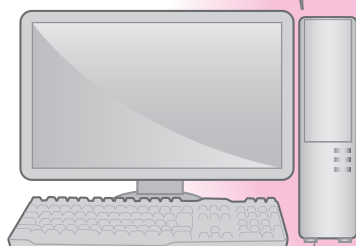
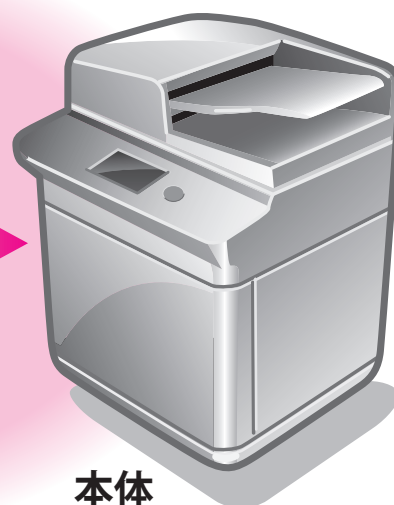
19 ［環境設定］→［ネットワーク］→［TCP/IP 設定］を押します。

20 ［IPv4 設定］を押します。

21 ［PING コマンド］を押します。

22 ネットワーク上に存在する任意の IP アドレスを入力→［実行］を押します。

ここでは例として、「192.168.1.1」と入力します。

23 応答があったことを確認して［OK］を押します。

これで、通信環境の設定ができました。
引き続き、「コンピューターから管理する」（→ P.21）を参照して、コンピューターからの管理機能を使用するための設定を行ってください。

コンピューターから管理する

ここでは、管理者がコンピューターの画面から本製品を管理できるようになるまでの操作について説明します。
コンピューターから本製品を管理するには、リモート UI または SMS を使用します。

リモート UI から管理する

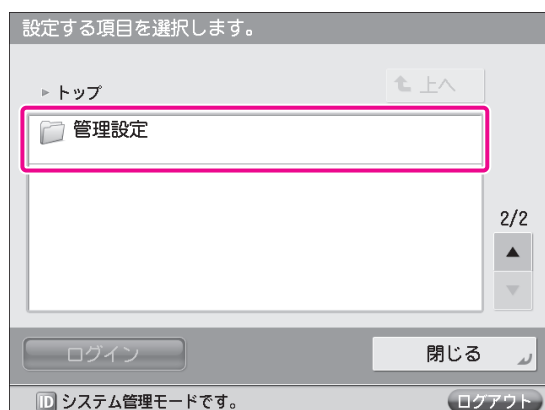
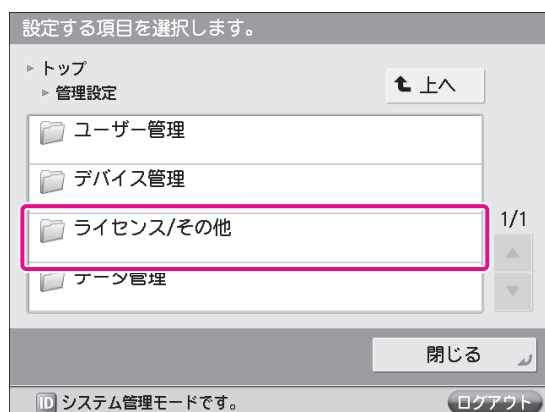
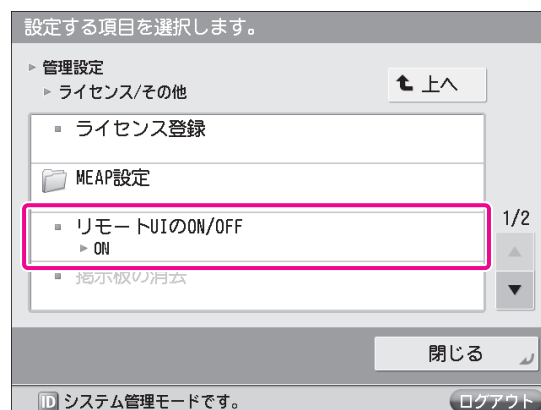
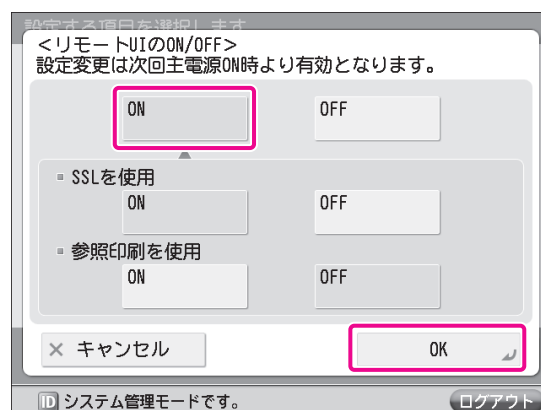
コンピューターの Web ブラウザーから本製品にアクセスし、本製品の状況を確認したり、本製品を管理したりできます。

リモート UI の準備

リモート UI を起動するには、本製品でリモート UI を有効にする必要があります。

リモート UI の ON/OFF
［リモート UI の ON/OFF］：［ON］

1 （設定／登録）を押します。

2 ［管理設定］を押します。

3 ［ライセンス / その他］を押します。

4 ［リモート UI の ON/OFF］を押します。

5 ＜リモート UI の ON/OFF ＞の［ON］→［OK］を押します。
＜ SSL を使用＞の設定は任意です。

6 ［閉じる］を押します。

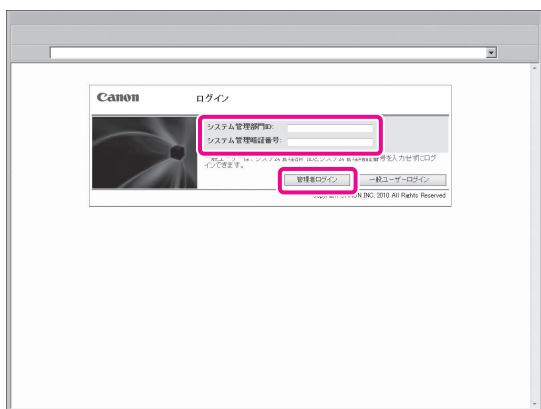
7 本製品の主電源を切ったあと、電源を入れなおします。
リモート UI の ON/OFF の設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。

これで、リモート UI を使用できるようになりました。次に、コンピューターからリモート UI にアクセスします。

8 お使いのコンピューターの Web ブラウザーを起動します。

9 アドレス入力欄に「http://< 本体の IP アドレスまたはホスト名 >」を入力します。

10 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力→［管理者ログイン］をクリックします。

［システム管理部門 ID］：7654321
［システム管理暗証番号］：7654321

リモート UI にログインした状態になります。

11 本製品のジョブ状況を確認したり、消耗品の状態を確認したりできます。設定を変更することもできます。

SMS から管理する

SMS を使うと、お使いのコンピューターの Web ブラウザーから、本製品にインストールされている MEAP アプリケーションを管理することができます。

メモ

MEAP アプリケーションは、本製品の機能拡張をしたり、カスタマイズしたりするためのソフトウェアです。

SMS の準備

SMS を起動するには、お使いのコンピューターから本製品にアクセスできるように設定する必要があります。

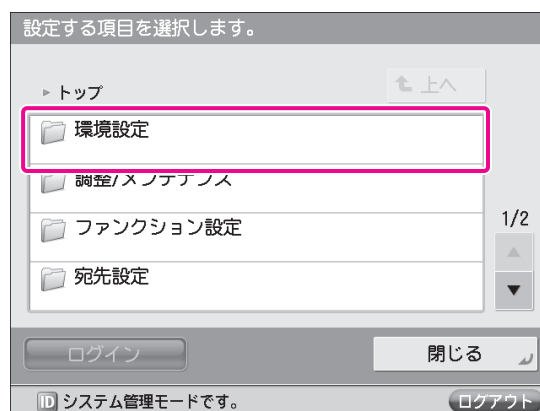
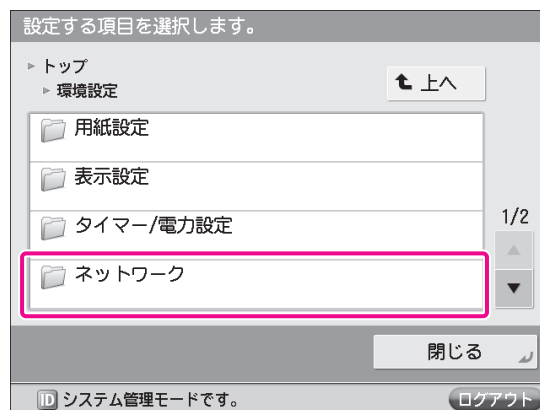
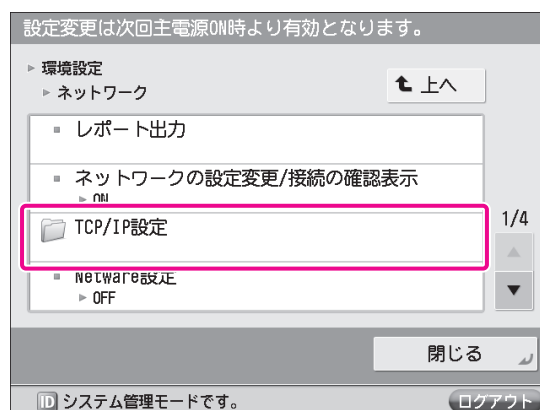
SSL 設定

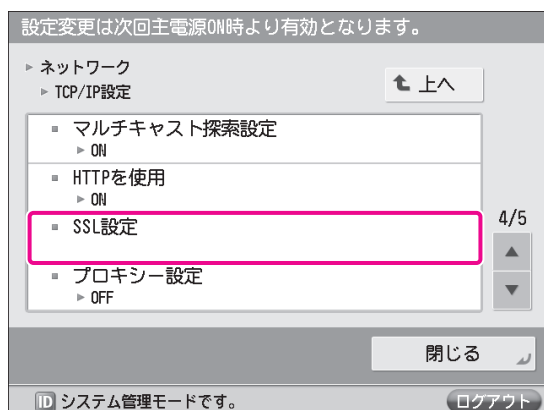
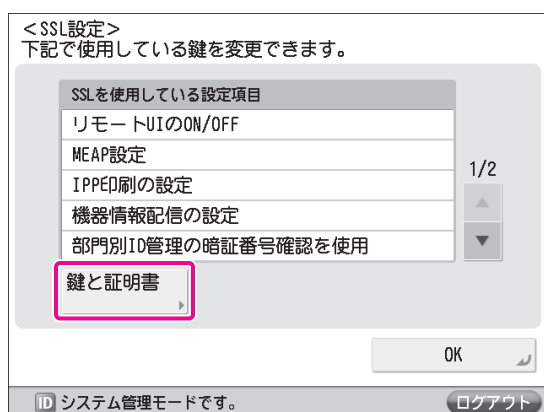
Default Key を使用鍵に設定する

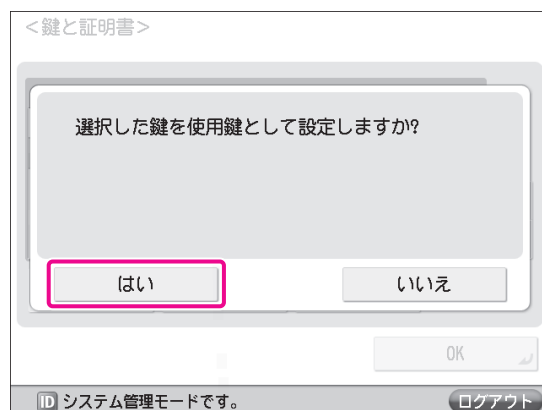
TCP/IP 設定

［HTTP を使用］：［ON］

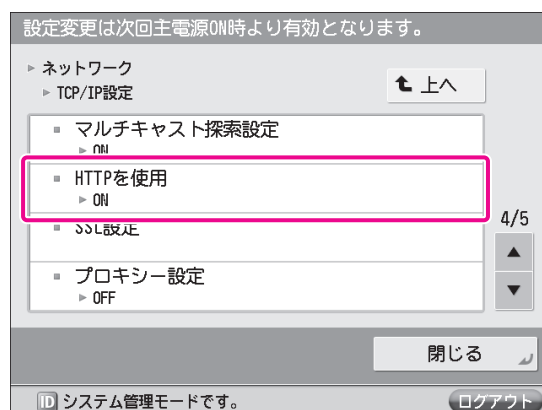
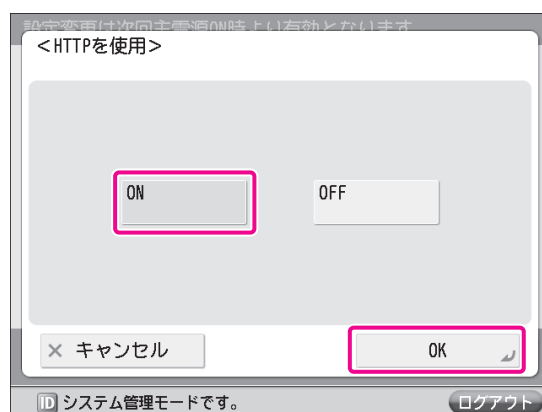
1 （設定／登録）を押します。

2 ［環境設定］を押します。

3 ［ネットワーク］を押します。

4 ［TCP/IP 設定］を押します。

5 ［SSL 設定］を押します。

6 ［鍵と証明書］を押します。

7 「Default Key」を選択→［使用鍵に設定］を押します。

8 ［はい］を押します。

9 ［OK］→［OK］を押します。

これで、SSL の設定が終わりました。
次に、TCP/IP の設定を行います。

10 ［HTTP を使用］を押します。

11 ［ON］→［OK］を押します。

12 ［閉じる］を押します。

13 本製品の主電源を切ったあと、電源を入れなおします。

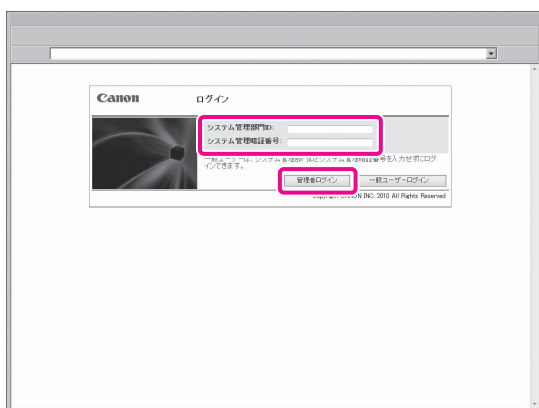
使用鍵の設定、［HTTP を使用］の設定は、本体の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。

これで、SMS を使用できるようになりました。次に、コンピューターから SMS にアクセスします。

14 お使いのコンピューターの Web ブラウザーを起動します。

15 アドレス入力欄に「http://< 本体の IP アドレスまたはホスト名 >」を入力します。

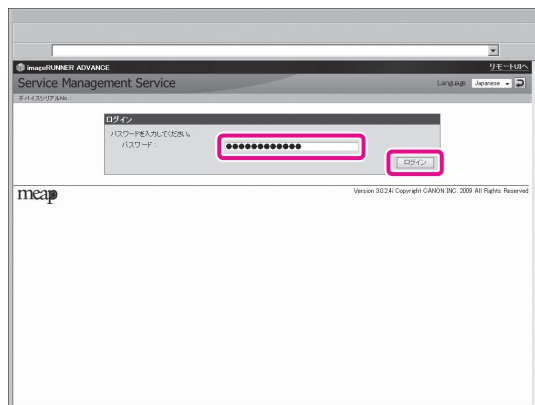
16 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力→［管理者ログイン］をクリックします。

［システム管理部門 ID］：7654321
［システム管理暗証番号］：7654321

リモート UI にログインした状態になります。

17 ［Service Management Service］をクリックします。

SMS の［ログイン］ページが表示されます。

18 パスワードを入力→［ログイン］を押します。

ここでは例として、「MeapSmsLogin」と入力します。

SMS の画面が表示されます。

重要

工場出荷時のパスワードは、「MeapSmsLogin」に設定されています（大文字と小文字の区別をします）。ログイン後に変更してお使いください。

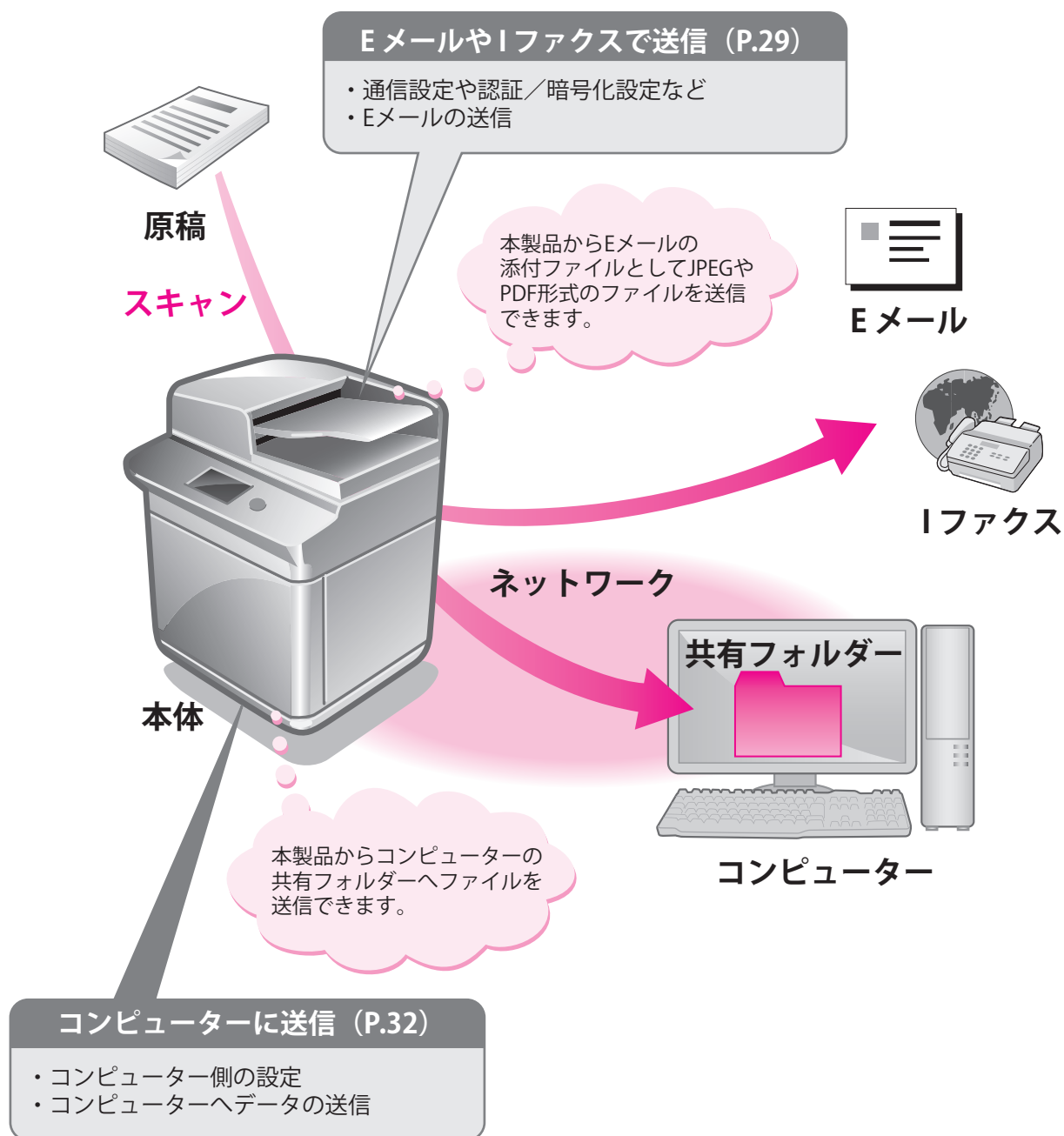
19 MEAP アプリケーションの確認やインストールなど、MEAP アプリケーションの管理ができます。

各操作方法は、e- マニュアルを参照してください。

いろいろな機能を使う

2

データを送信したい

本製品でスキャンした原稿を、E メールやインターネットファクス（I ファクス）で送信できます。
またコンピューターの共有フォルダーにスキャンした原稿を送信することもできます。

E メールや I ファクスで送信

ここでは例として、デザイン案を PDF 形式で送信するまでの操作を説明します。

メモ

E メール／ I ファクスを受信するための設定も必要です。設定方法については、e- マニュアル > 設定 / 登録 > E メール／ I ファクス共通の通信設定をするを参照してください。

E メールや I ファクスの準備

E メール／ I ファクスを送信するには、通信設定の設定が必要です。
ここでは例として、次のように設定します。

通信設定

［SMTP サーバー］：192.168.1.2
［E メールアドレス］：xxx01@example.co.jp

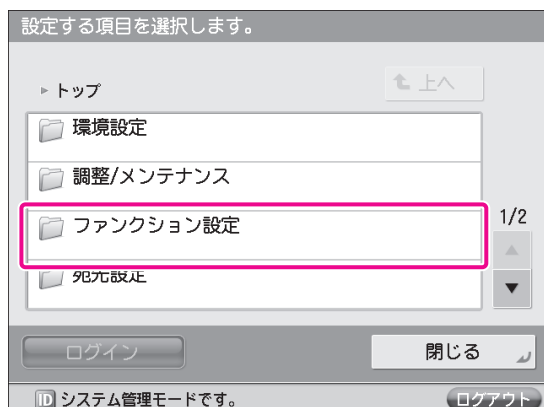
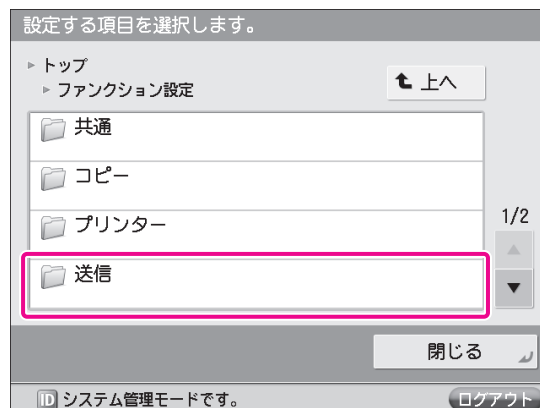
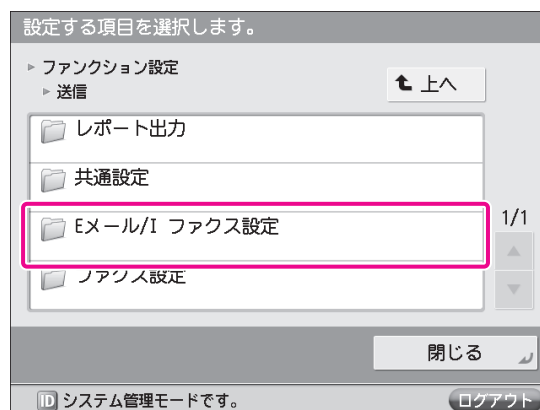
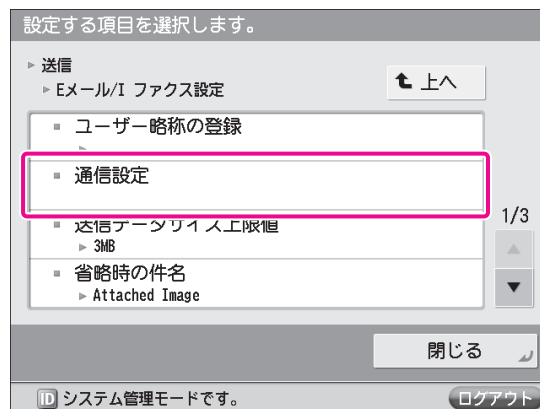
認証／暗号化設定

<SMTP 認証 (SMTP AUTH)>：［ON］
［ユーザー名］：user_name*1
［パスワード］：password*1

*1 SMTP サーバーにログインするためのユーザー名とパスワードです。

E メールや I ファクスを設定する

1 （設定／登録）を押します。

2 ［ファンクション設定］を押します。

3 ［送信］を押します。

4 ［E メール /I ファクス設定］を押します。

5 ［通信設定］を押します。

6 次の項目を設定します。

ここでは例として、次のように設定します。
［E メールアドレス］：xxx01@example.co.jp
［SMTP サーバー］：192.168.1.2

メモ

＜SMTP 受信を使用＞と＜POP 受信を使用＞の設定は任意です。設定方法については、e- マニュアル＞設定 / 登録＞E メール／I ファクス共通の通信設定をするを参照してください。

7 ［次へ］→［次へ］→［次へ］を押します。

8 次の項目を設定→［OK］を押します。

ここでは例として、次のように設定します。
＜SMTP 認証 (SMTP AUTH)＞：［ON］
［ユーザー名］：user_name
［パスワード］：password

これで、E メール／I ファクスを送信するための設定が終わりました。

E メールや I ファクスを送信する

E メール／I ファクスの送信先を宛先表に登録して、E メールを送信します。

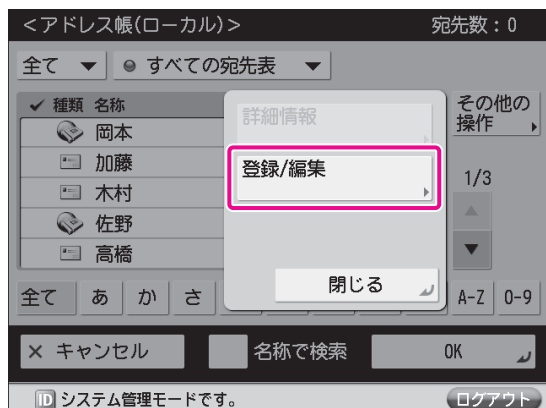
宛先を登録する

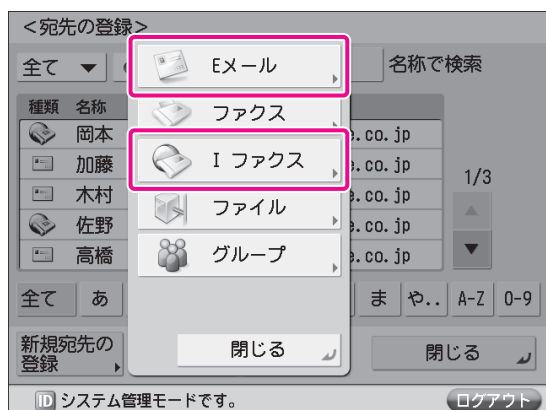
スキャンした原稿を E メールで送信するときに、送信先の情報を登録します。

1 ［スキャンして送信］を押します。

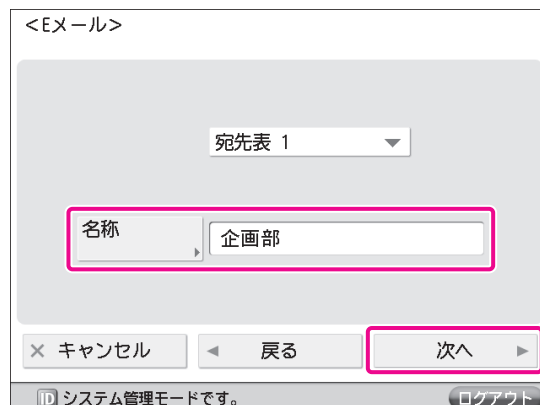
2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［その他の操作］を押します。

4 ［登録 / 編集］を押します。

5 ［新規宛先の登録］を押します。

6 ［E メール］または［I ファクス］を押します。

7 名称を入力 →［次へ］を押します。

E メールと I ファクスの名称の入力は同じ操作です。

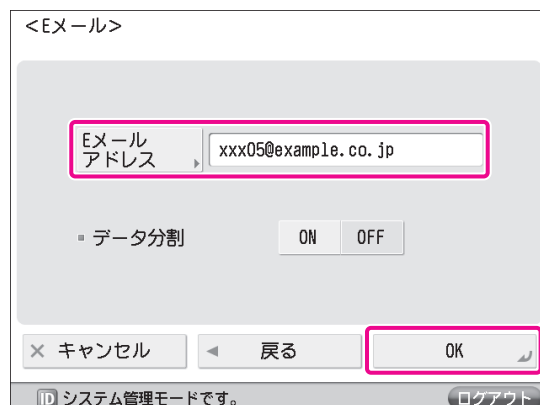
ここでは例として、「企画部」と入力します。

登録された名称は E メールアドレスの表示名に使われます。半角カタカナで入力された名称は全角カタカナに変換されます。

メモ

［名称］で日本語が入力できないときは、（設定／登録）の［表示言語 / キーボードの切替の ON/OFF］を［OFF］に設定してください。

8 次の項目を設定→［OK］を押します。

＜ E メールの場合＞

ここでは例として、「xxx05@example.co.jp」と入力します。

<I ファクスの場合 >
ここでは例として次のように設定します。
[モード選択]：Simple
[I ファクスアドレス]：user1@xxx.xxx.xxx.xxx

9 ［閉じる］を押します。

10 ［OK］を押します。

E メール /I ファクスを送信する

「宛先を登録する」（→ P.30）で登録した宛先に、スキャンしたデータを E メールの添付ファイルとして送信します。

1 原稿をセットします。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 「企画部」を選択→［OK］を押します。

4 必要に応じて、設定を行います。

5 （スタート）を押します。

［SMTP 認証設定］画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力して、［OK］を押します。
< 原稿サイズ > 画面が表示された場合は、原稿サイズを選択して［OK］を押します。

6 ［送信開始］を押します。

データが E メールに添付されて、送信されます。

コンピューターに送信

ここでは例として、原稿をスキャンして、PDF 形式でファイルサーバー（コンピューター）に送信するまでの操作を説明します。

コンピューターに送信する準備

データをファイルサーバーに送信するには、共有フォルダーを設定する必要があります。
ここでは例として、次のように設定します。

●コンピューターの設定

TCP/IP の設定

NetBIOS over TCP/IP を有効にする

ユーザーの追加

［ユーザー名］：user_name

［パスワード］：password

共有フォルダーの作成

［共有名］：share

コンピューターを設定する

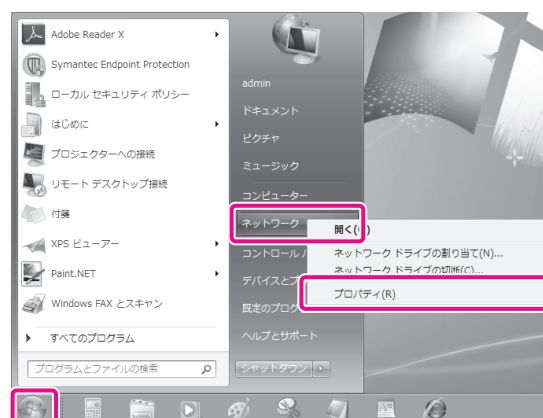
本製品でスキャンしたデータを、共有フォルダーに保存できます。共有フォルダーは、コンピューター上で設定できます。

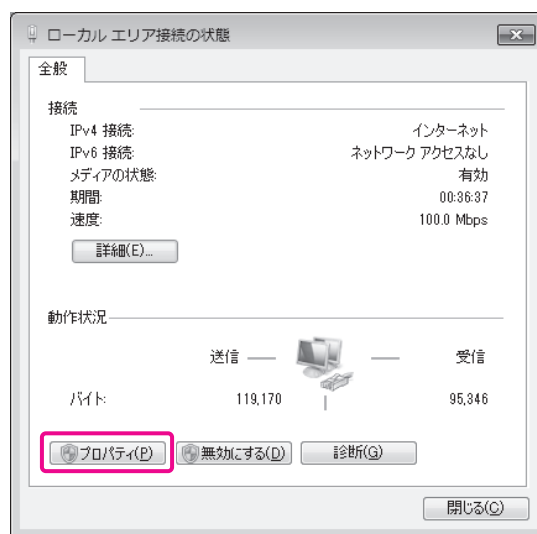
ここでは例として、Windows 7 で共有フォルダーを設定する操作について説明します。

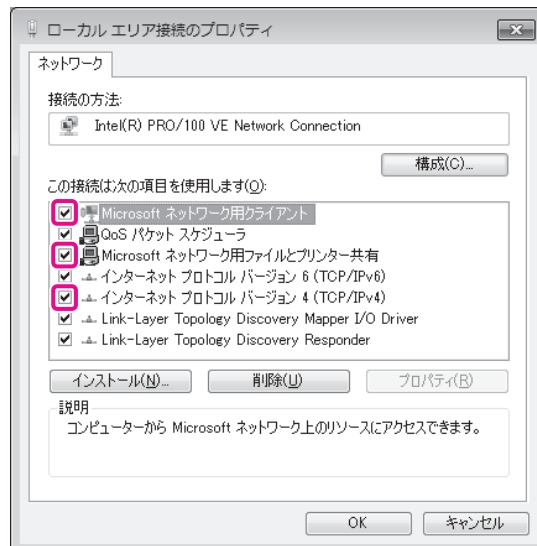
1 管理者権限で Windows にログオンします。

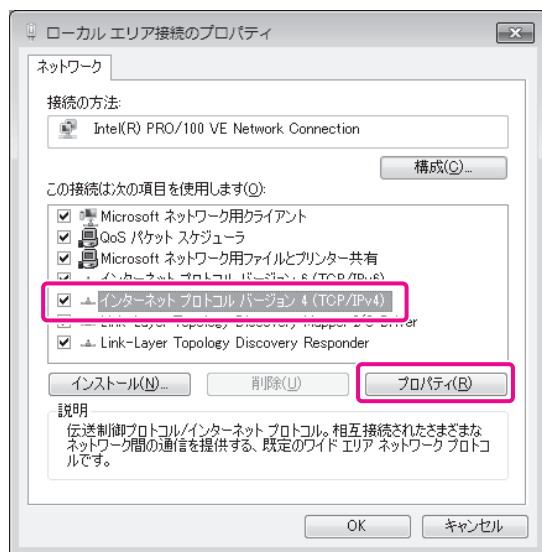
2 （スタート）をクリック→［コンピュータ］を右クリックします。

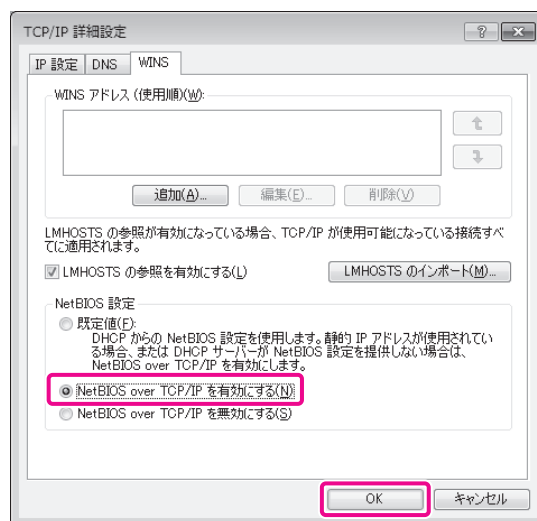
3 ［プロパティ］をクリック→お使いのコンピューター名を確認します。

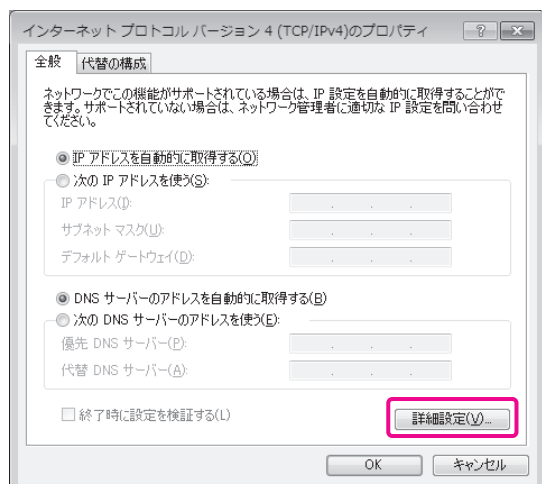
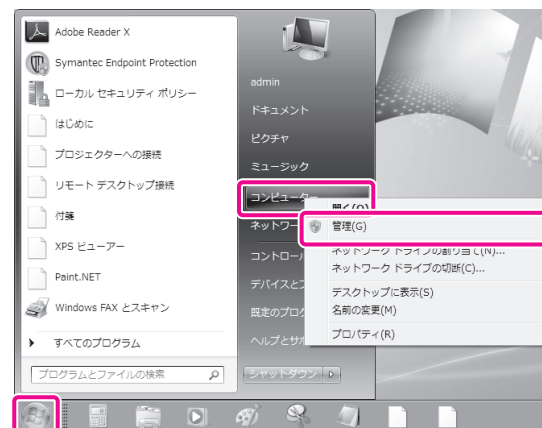
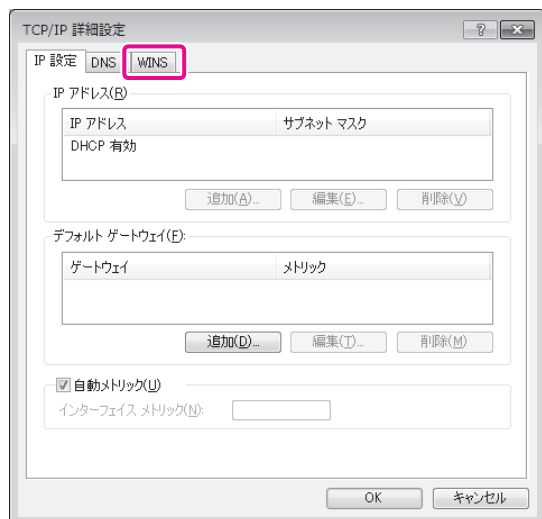
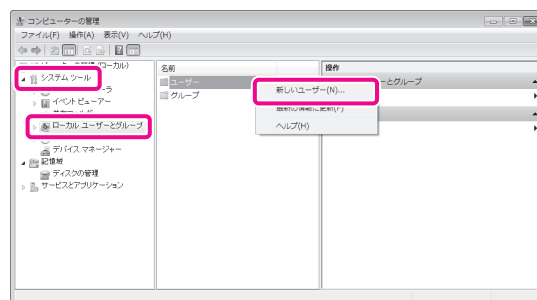
4 ［スタート］メニューの［ネットワーク］を右クリック→表示されるメニューから［プロパティ］を選択します。

5 ［アクティブなネットワークの表示］の［ローカルエリア接続］をクリックします。

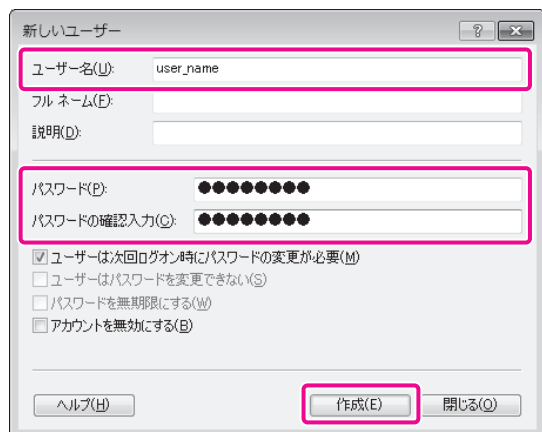
6 ［プロパティ］をクリックします。

7 次の項目にチェックマークを付けます。

- ［Microsoft ネットワーク用クライアント］
- ［Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有］
- ［インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）］

8 ［インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)］を選択→［プロパティ］をクリックします。

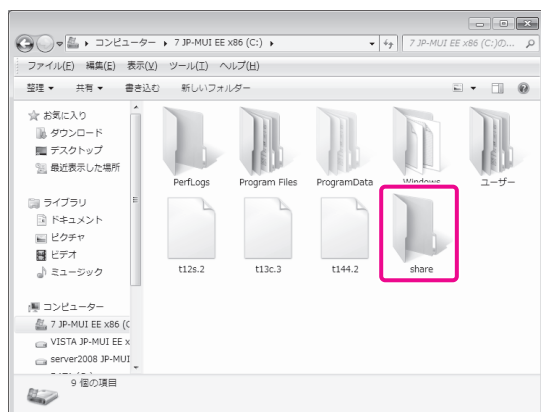
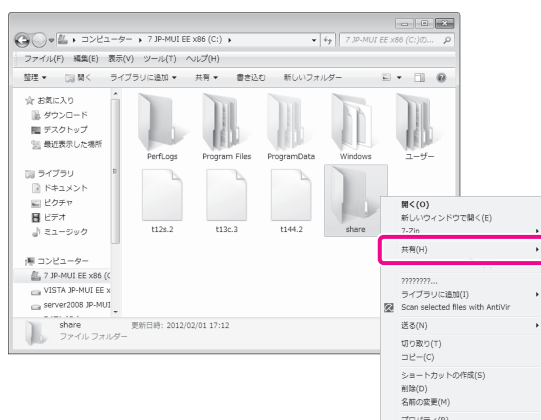
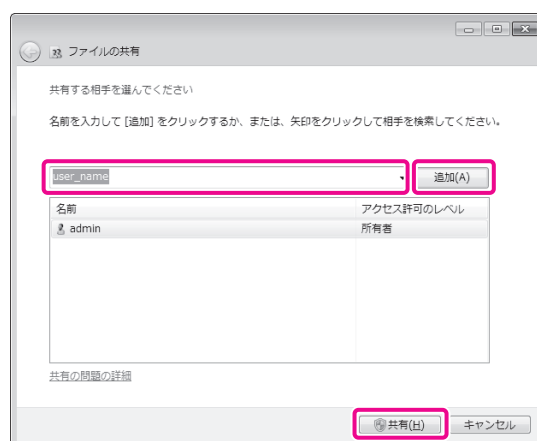
9 ［全般］ページで［詳細設定］をクリックします。

10 ［WINS］タブをクリックします。

11 ［NetBIOS over TCP/IP を有効にする］を選択→［OK］をクリックします。

12 コンピューターを再起動します。

これでネットワークの設定が終わりました。
次に、本製品から共有フォルダーにアクセスするためのユーザーを作成します。

13 ［スタート］メニューの［コンピューター］を右クリック→表示されるメニューから［管理］を選択します。

14 ［システムツール］の［ローカルユーザーとグループ］をクリック→［ユーザー］を右クリック→表示されるメニューから［新しいユーザー］を選択します。

15 次の項目を設定→［作成］→［閉じる］をクリックします。

ここでは例として、次のように入力します。
［ユーザー名］：user_name
［パスワード］：password
［パスワードの確認入力］：password

これでユーザーが作成できました。
次に、本製品からデータを送信するためのフォルダーを作成します。

16 データの送信先となるフォルダーを、任意の場所に作成します。

ここでは例として、「share」という名前のフォルダーを作成します。

17 フォルダーを右クリック→表示されるメニューから［共有］→［特定のユーザー ...］を選択します。

18 共有を行うユーザーを選択→［追加］→［共有］をクリックします。

19 ［終了］をクリックします。

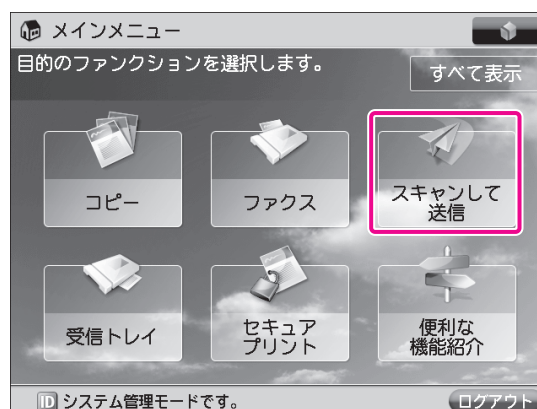
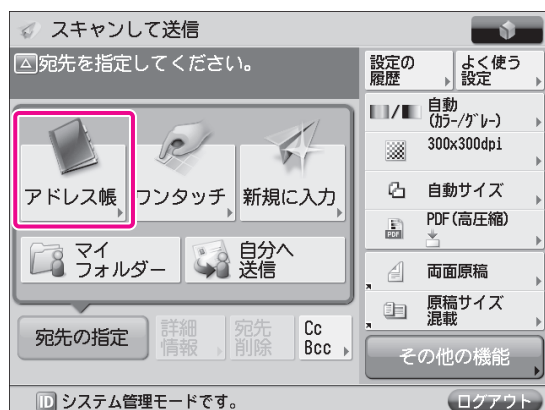
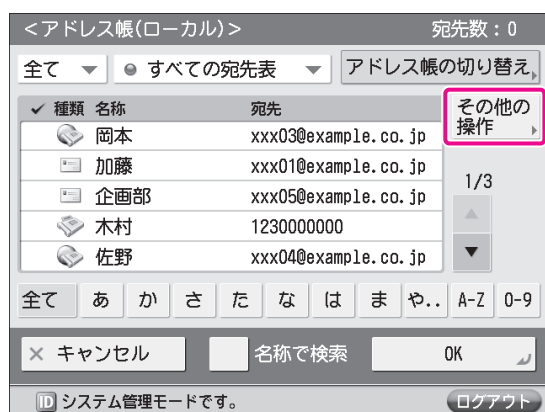
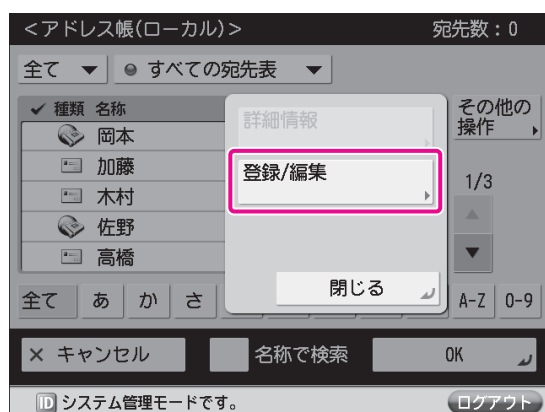
これで、コンピューターの設定が終わりました。

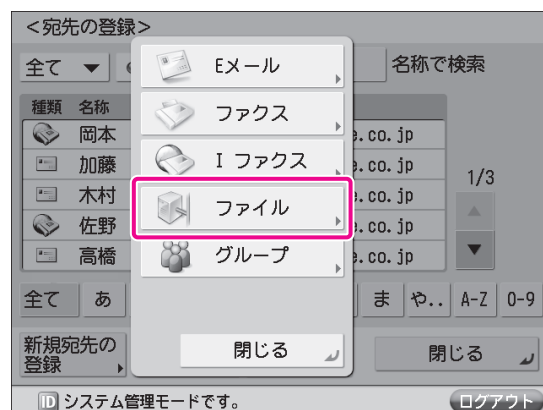
コンピューターに送信

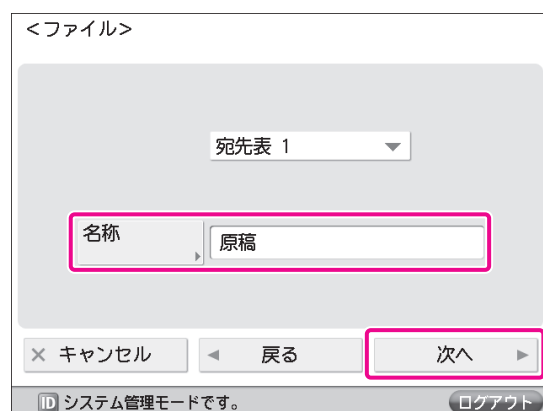
本製品でスキャンしたデータを、共有フォルダーに送信します。

宛先を登録する

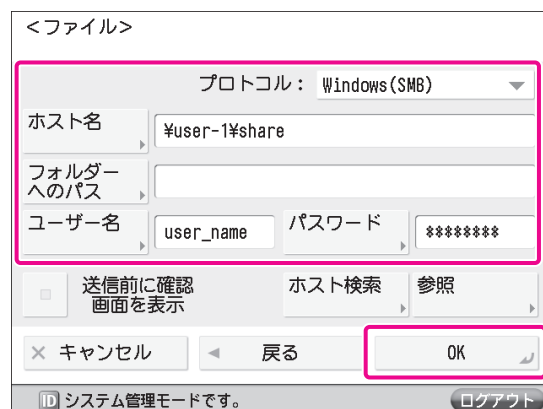
「コンピューターを設定する」（→ P.33）で作成した共有フォルダーの情報を、本製品の宛先表に登録します。

1 ［スキャンして送信］を押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［その他の操作］を押します。

4 ［登録 / 編集］を押します。

5 ［新規宛先の登録］を押します。

6 ［ファイル］を押します。

7 名称を入力 → ［次へ］を押します。

ここでは例として、「原稿」を入力します。

8 次のように設定 → ［OK］を押します。

<プロトコル>：［Windows（SMB）］
［ホスト名］：¥¥user-1¥share
［ユーザー名］：user_name
［パスワード］：password

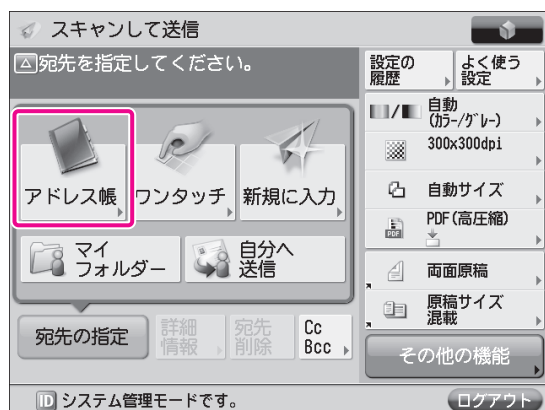
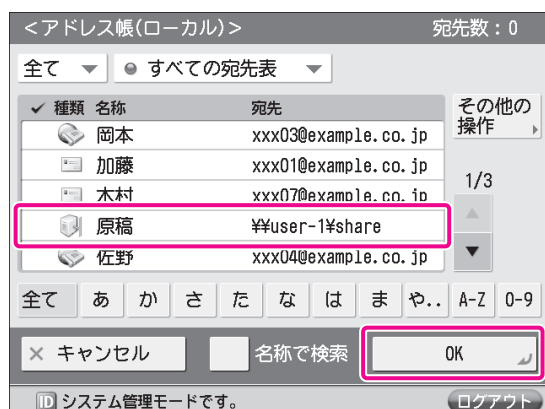
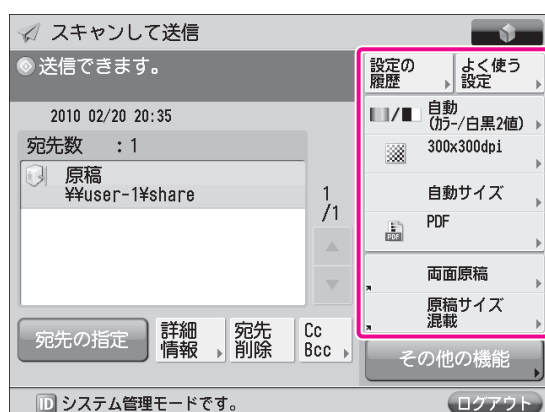
- ［ホスト名］には、「¥¥（お使いのコンピューター名）¥（共有フォルダー名）」を入力します。
- ［フォルダーへのパス］には、「¥（共有フォルダー名の下のフォルダー名）」を入力します。入力を省略することもできます。

9 ［閉じる］を押します。

10 ［OK］を押します。

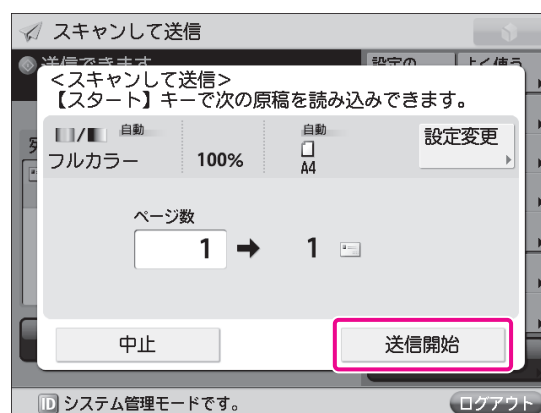
データをコンピューターに送信する

「宛先を登録する」(→ P.35) で登録した共有フォルダーに、スキャンした原稿を送信します。

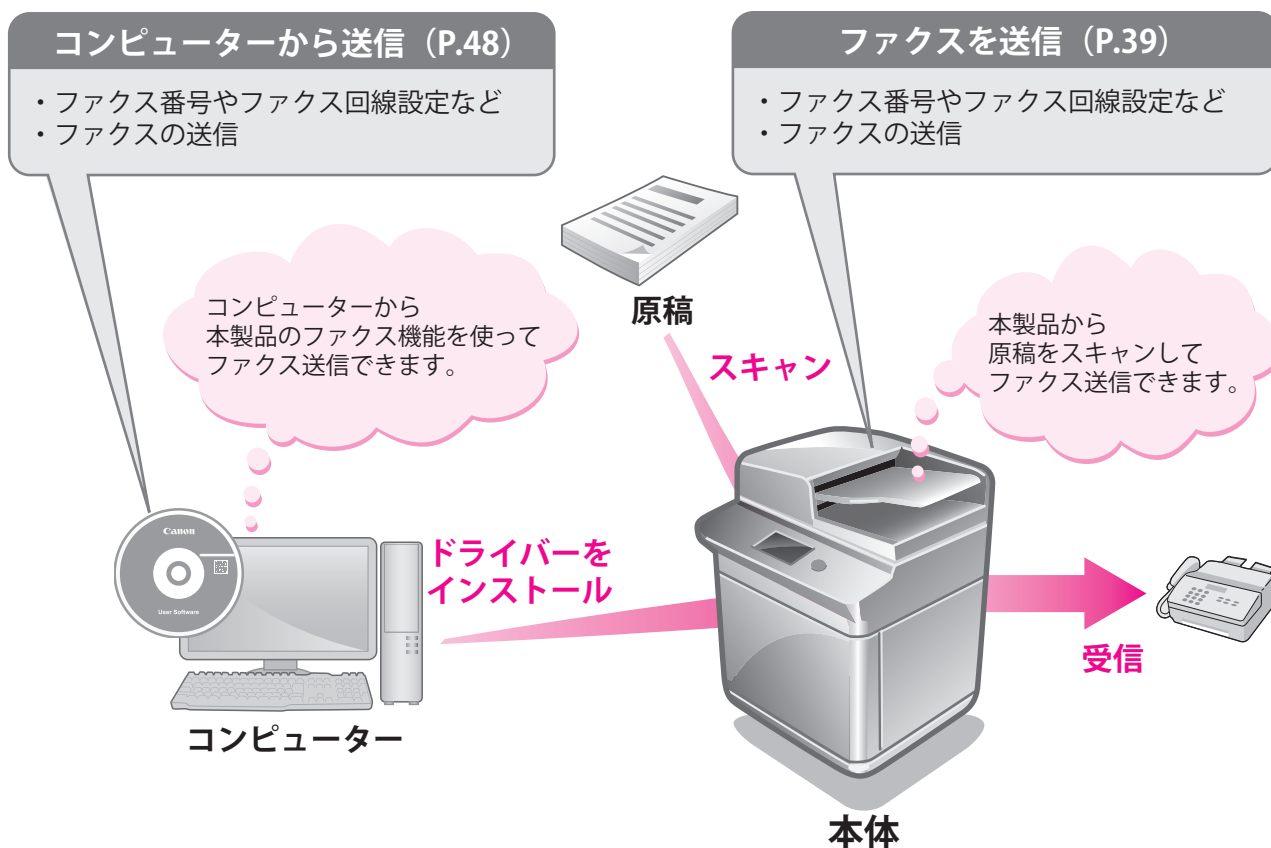
1 原稿をセットします。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［原稿］を選択→［OK］を押します。

4 必要に応じて、設定を行います。

5 ◎（スタート）を押します。

< 原稿サイズ > 画面が表示された場合は、原稿サイズを選択して［OK］を押します。

6 ［送信開始］を押します。

スキャンした原稿が共有フォルダーに送信されます。

ファクスを送信したい

本製品でスキャンした原稿を、ファクス送信できます。またコンピューターのデータを、本製品のファクス機能を使って送信することもできます。

ファクスを送信

ここでは例として、ファクスを送信するまでの操作を説明します。

ファクス送信の準備

ファクスを送信するには、ファクス番号やユーザー略称などを設定する必要があります。
ここでは例として、次のように設定します。

ファクス番号
0123XXXXXX

ユーザー略称
営業部

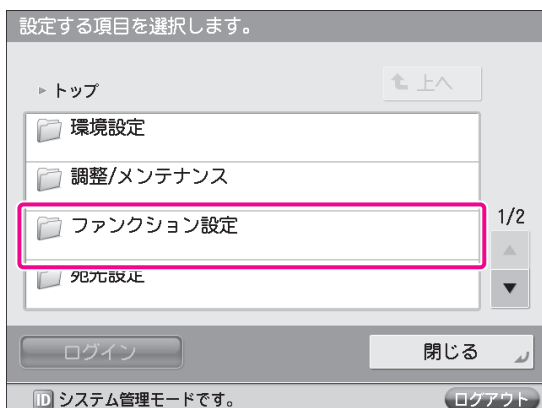
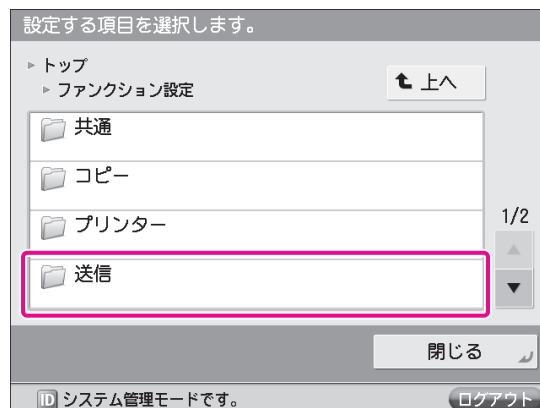
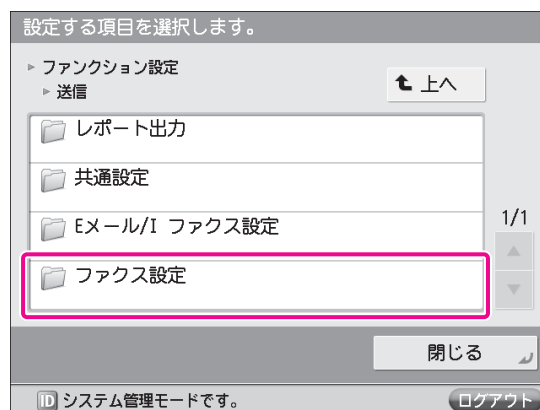
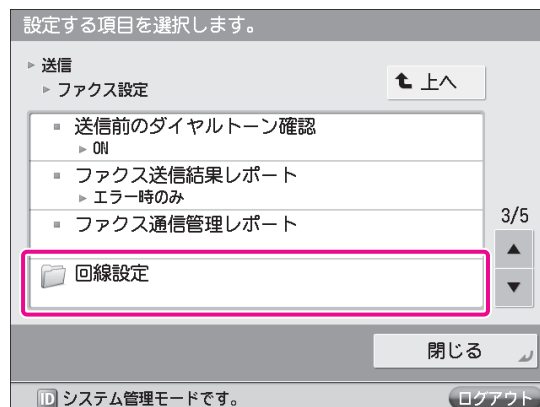
ファクス回線種別
プッシュ

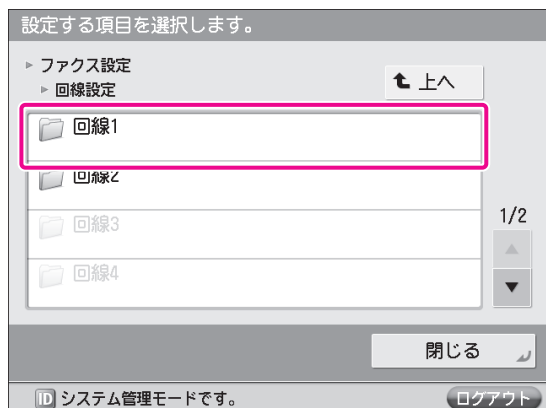
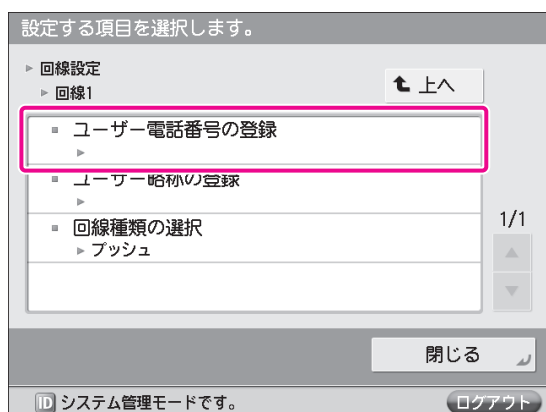
発信元記録
つける

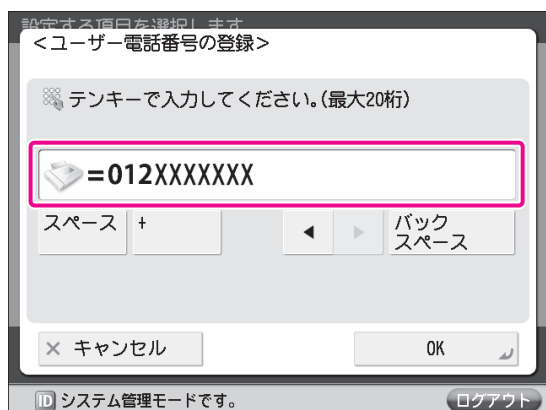
ユーザー情報を登録する

送信先に表示／プリントされるファクス番号とユーザー略称を登録します。ファクス回線は、「プッシュ」に設定します。

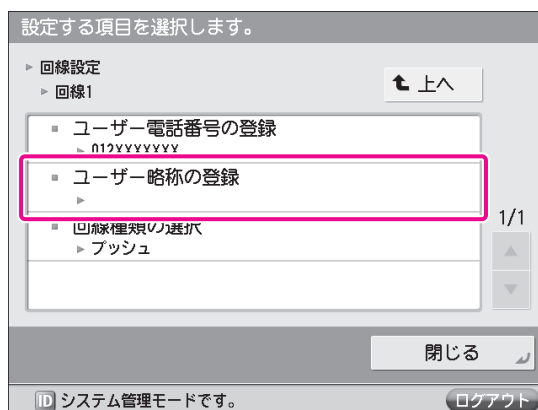
1 ⚙（設定／登録）を押します。

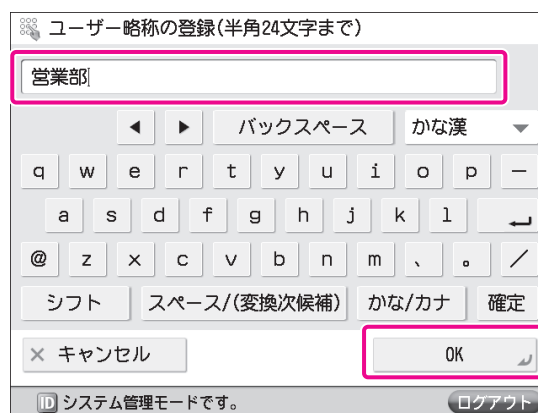
2 ［ファンクション設定］を押します。

3 ［送信］を押します。

4 ［ファクス設定］を押します。

5 ［回線設定］を押します。

6 回線を選択します。

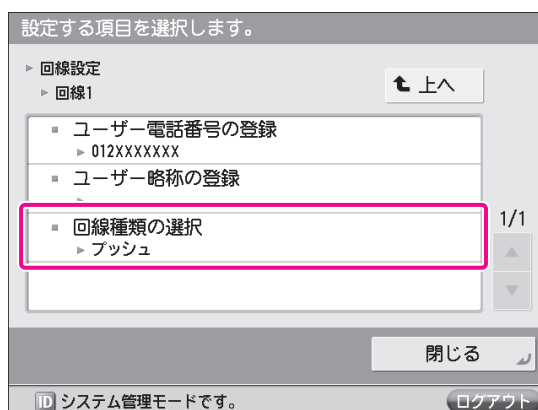
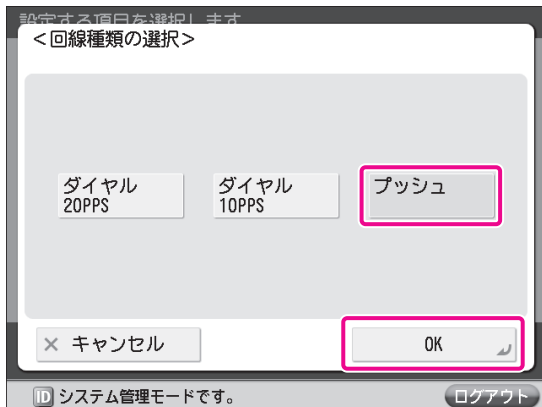
オプションの装着状態により、表示される回線数が異なります。ここでは例として、[回線 1] を押します。

7 [ユーザー電話番号の登録] を押します。

8 発信元のファクス番号を⓪〜⑨(テンキー)で入力します。

ここでは例として、「0123XXXXXX」を入力します。

9 [OK] を押します。

これで、ファクス番号が登録できました。次に、ユーザー略称を登録します。

10 [ユーザー略称の登録] を押します。

11 名称を入力→ [OK] を押します。

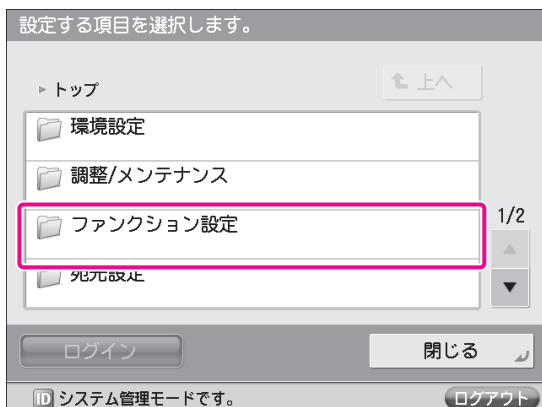
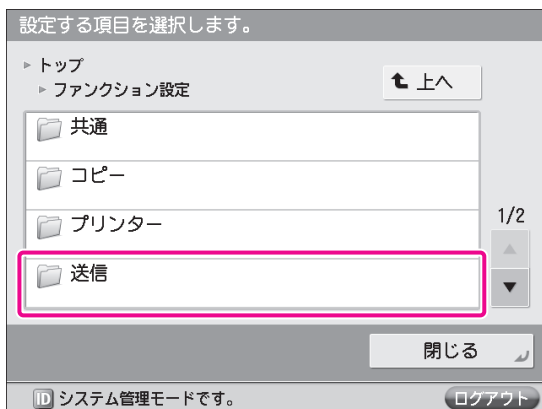
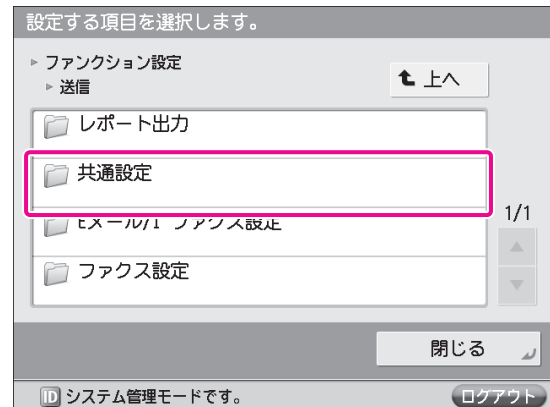
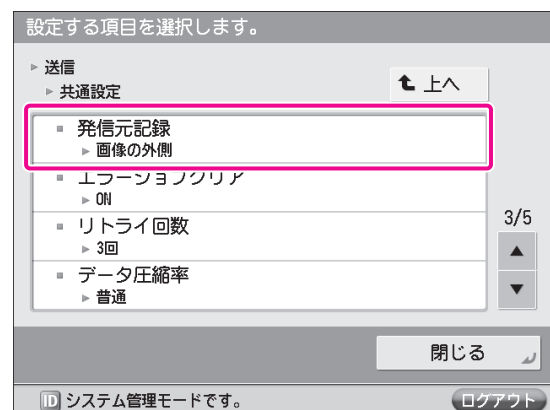
ここでは例として、「営業部」と入力します。

これで、ユーザー略称が登録できました。次に、回線種類を選択します。

12 [回線種類の選択] を押します。

13［プッシュ］→［OK］を押します。

14［閉じる］を押します。

発信元記録をつける

送信する文書に、発信元の情報が表示されるよう設定します。

1 （設定／登録）を押します。

2［ファンクション設定］を押します。

3［送信］を押します。

4［共通設定］を押します。

5［発信元記録］を押します。

6［つける］を押す→次の項目を設定→［OK］を押します。

ここでは例として、次のように設定します。
［印字位置］：［画像の外側］
［相手先略称の表示］：［ON］
［電話番号マーク］：［FAX］

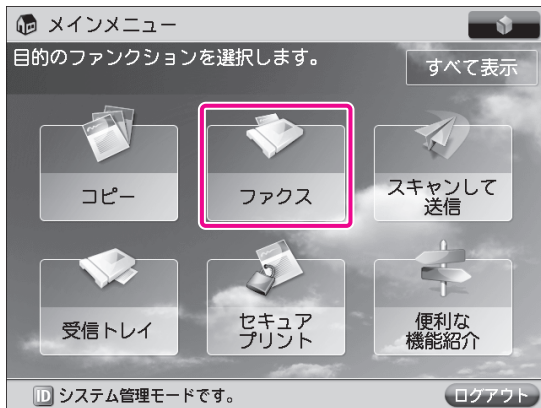
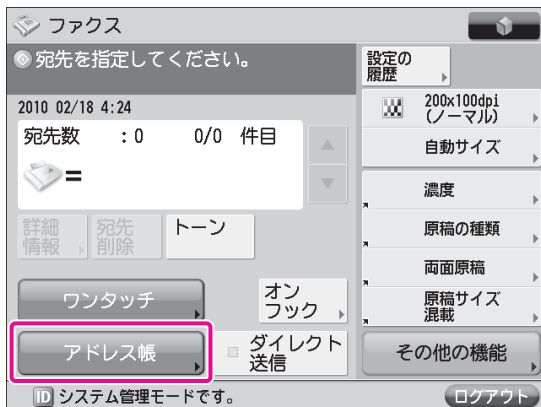
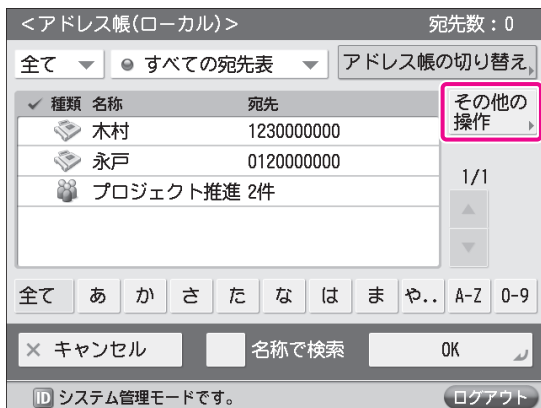
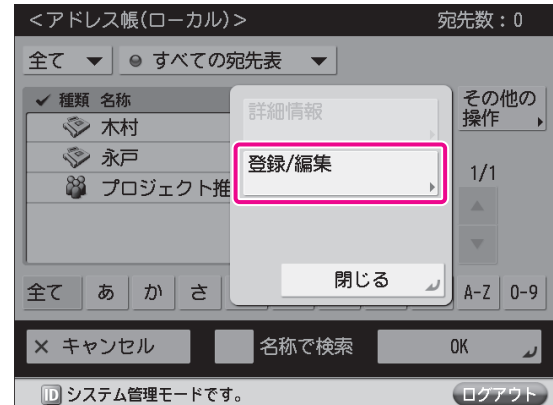
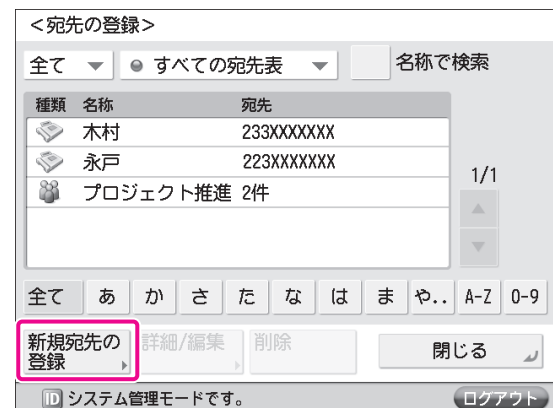
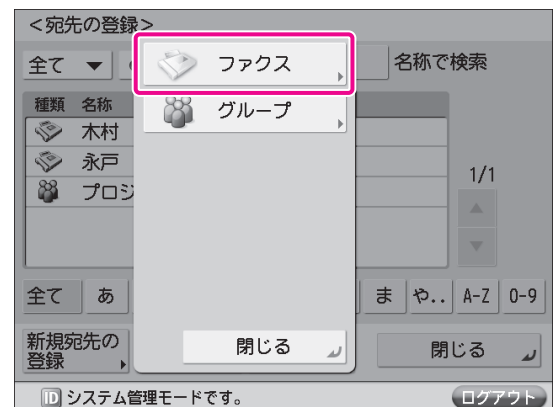
7［閉じる］を押します。

ファクスを送信する

送信先を宛先表に登録して、ファクスを送信します。

宛先を登録する

送信先の情報を宛先表に登録します。ここでは例として、「中部営業本部」の情報を宛先表に登録します。

1 ［ファクス］を押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［その他の操作］を押します。

4 ［登録 / 編集］を押します。

5 ［新規宛先の登録］を押します。

6 ［ファクス］を押します。

7 名称を入力 → ［次へ］を押します。

ここでは例として、「中部営業本部」と入力します。

8 次の項目を設定 → ［OK］を押します。

ここでは例として、次のように設定します。
［名称］：中部営業本部
ファクス宛先：123XXXXXXX

9 ［OK］→［閉じる］を押します。

10 ［OK］を押します。

ファクスを送信する

「宛先を登録する」（→ P.42）で登録した宛先に、ファクスを送信します。

1 原稿をセットします。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［中部営業本部］を選択します。

4 ◉（スタート）を押します。

＜原稿サイズ＞画面が表示された場合は、原稿サイズを選択して［OK］を押します。

5 ［送信開始］を押します。

ファクスが送信されます。

ファクスを受信する

ファクスの受信に関する下記の機能については、e- マニュアルをご参照ください。

●メモリ受信

受信したファクス文書をプリントせずにシステムボックスに保存するように設定できます)。詳細については、e- マニュアル、ファクス ＞本体でのファクス送受信＞メモリー受信を設定するを参照してください。

●受信ファクスの転送

ファクス受信した文書をあらかじめ登録されたコンピュータなどの相手先に転送することもできます。詳細については、e- マニュアル、設定 / 登録＞ファンクション設定＞受信／転送＞共通設定＞転送設定を登録するを参照してください。

リモートファクス送受信

ここでは例として、ファクスの送受信を仲介する「サーバー」としての設定、ファクスの送受信元となる「クライアント」としての設定について説明します。

リモートファクス送信の準備

リモートファクス送信するためには、次の項目を設定する必要があります。

●サーバー機の設定

［リモートファクス設定］

［リモートファクスを使用］：［ON］

●クライアント機の設定

［リモートファクス送信設定］

［リモートファクスサーバーアドレス］：
192.168.1.24（サーバーの IP アドレス）

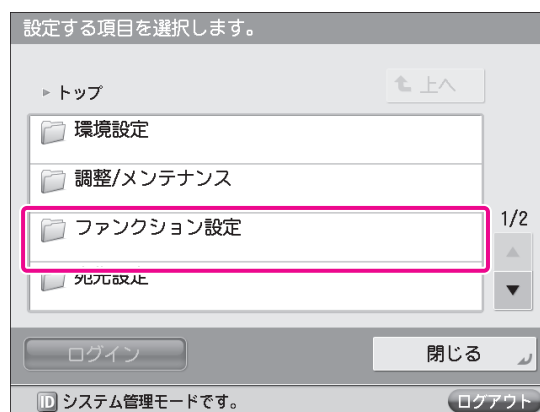
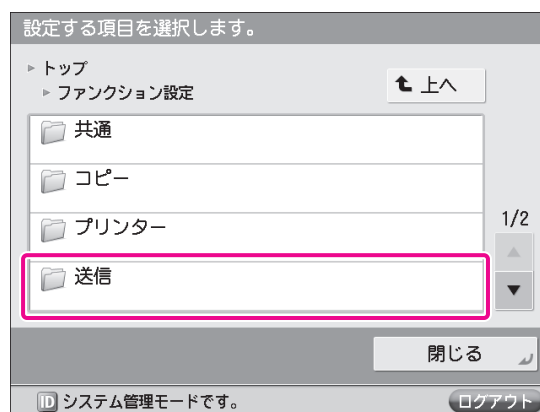
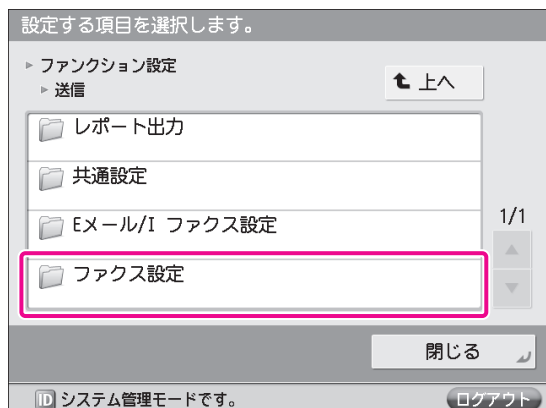
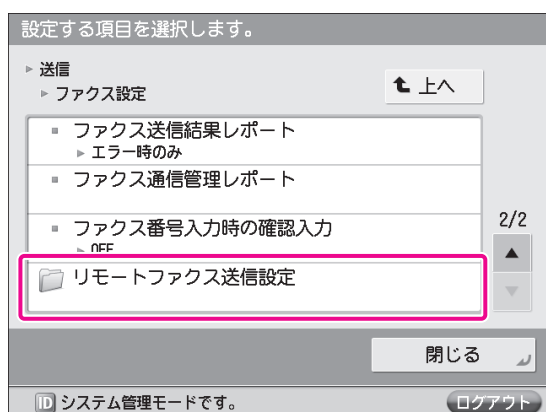
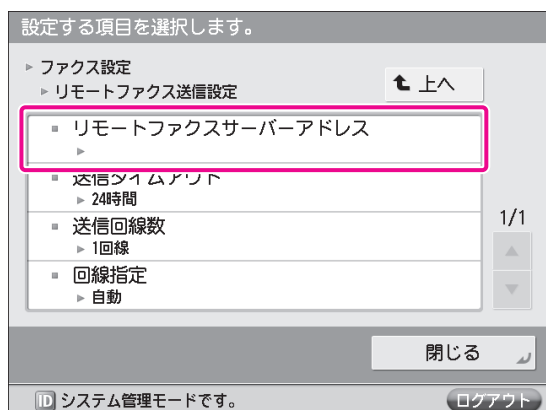
サーバー機を設定する

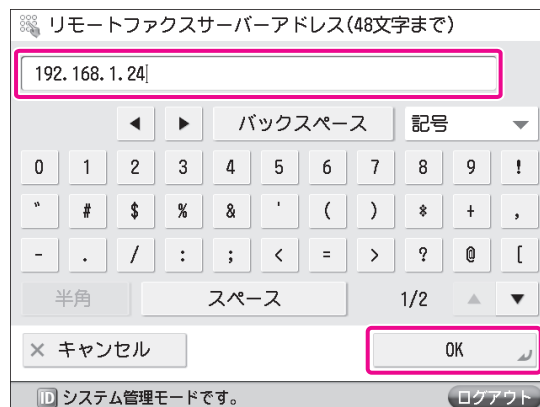
ファクスボードが搭載されている他の imageRUNNER ADVANCE シリーズをサーバーとして使用するためには、その製品でリモートファクス送信の設定をする必要があります。
詳細については、他の imageRUNNER ADVANCE シリーズの取扱説明書を参照してください。

クライアント機を設定する

クライアント側では、ファクス送信の経由先として、サーバーの IP アドレスを設定します。

1 （設定／登録）を押します。

2 ［ファンクション設定］を押します。

3 ［送信］を押します。

4 ［ファクス設定］を押します。

5 ［リモートファクス送信設定］を押します。

6 ［リモートファクスサーバーアドレス］を押します。

7 IP アドレスを入力→［OK］を押します。

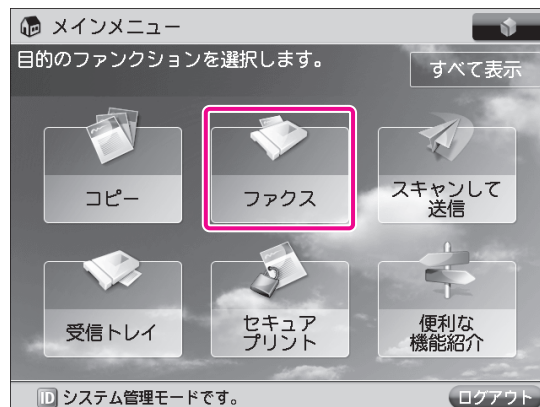
ここでは例として、サーバーの IP アドレスを「192.168.1.24」と入力します。

8 ［閉じる］を押します。

これでクライアント側の設定が終わりました。

リモートファクス送信をする

リモートファクスサーバーを経由してファクスを送信します。

1 原稿をセットします。

2 ［ファクス］を押します。

3 宛先にするファクス番号を⓪～⑨（テンキー）で入力します。

ここでは例として、「123XXXXXXX」を入力します。

メモ

アドレス帳から宛先を指定することもできます。詳細については、「ファクスを送信する」（→ P.42）を参照してください。

4 ◎（スタート）を押します。

＜原稿サイズ＞画面が表示された場合は、原稿サイズを選択して［OK］を押します。

5 ［送信開始］を押します。

ファクスが送信されます。

リモートファクス受信の準備

リモートファクス受信をするためには、サーバー機とクライアント機でそれぞれ次のような設定を行う必要があります。

● サーバー機の設定

転送設定

● クライアント機の設定

通信設定

<SMTP 受信を使用＞：［ON］

［E メールアドレス］：xxx01@example.co.jp

メモ

転送先は、アドレス帳に登録した宛先を指定します。

サーバー機を設定する

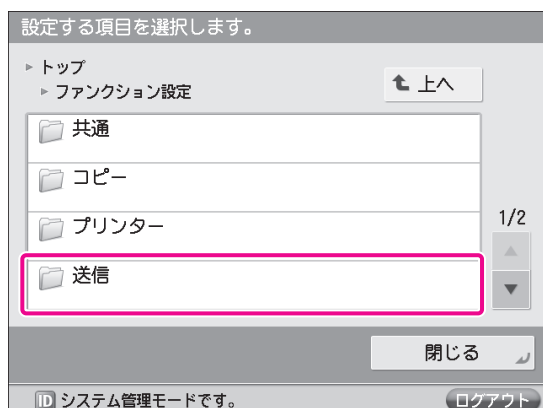
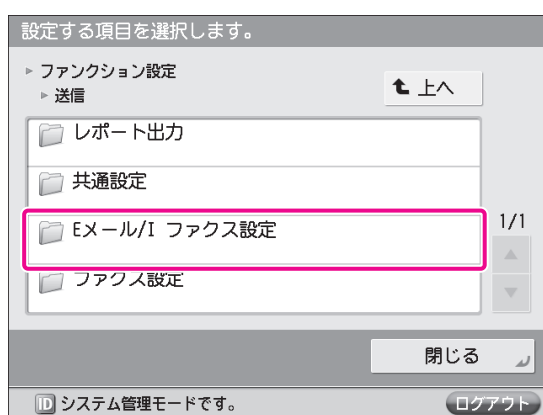
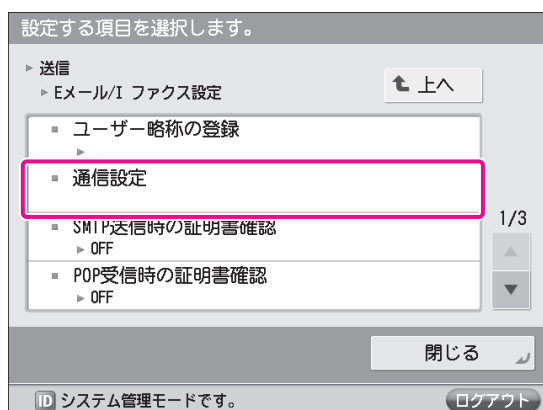
リモートファクス受信するには、サーバー機で受信したファクスデータを I ファクスとしてクライアント機へ転送する設定をサーバー側で行う必要があります。ファクスデータを転送するには、サーバー機にクライアント機の I ファクスアドレスを転送先として登録するほか、必要に応じて各種の転送条件を設定します。転送設定の詳細については、e- マニュアル＞設定／登録を参照してください。

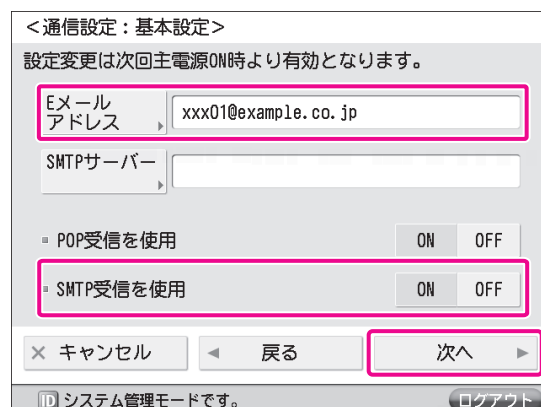
クライアント機として設定する

サーバー機から転送された I ファクスデータを受信するために、クライアント側を設定する必要があります。ここでは例として、SMTP サーバー受信を設定します。

1 ㊊（設定／登録）を押します。

2 ［ファンクション設定］を押します。

3 ［送信］を押します。

4 ［E メール /I ファクス設定］を押します。

5 ［通信設定］を押します。

6 次の項目を設定 → ［次へ］を押します。

ここでは例として、次のように設定します。
［E メールアドレス］：xxx01@example.co.jp
＜ SMTP 受信を使用＞：［ON］

7 ［次へ］ → ［次へ］ → ［OK］を押します。

メモ

SMTP 受信機能を使用して受信するには、本製品のホスト名を DNS サーバーへ登録する必要があります。詳細については、e- マニュアル > ネットワークを参照してください。

コンピューターから送信

ここでは例として、コンピューターで作成した文書を本製品経由でファクス送信するまでの操作を説明します。

メモ

- ファクス送信の手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属している取扱説明書を参照してください。
- お使いの OS、ファクスドライバーのバージョンによっては、画面が異なることがあります。

送信の準備

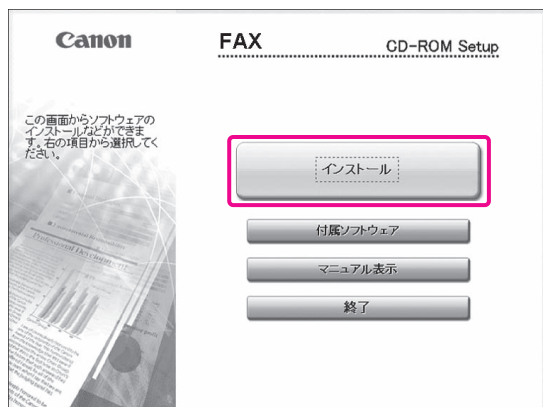
お使いのコンピューターから本製品経由でファクスを送信するには、コンピューターにファクスドライバーをインストールする必要があります。インストールしたあと、ファクス環境を設定してください。

ドライバーをインストールする

ここでは例として、Windows 7 にファクスドライバーをインストールする操作を説明します。

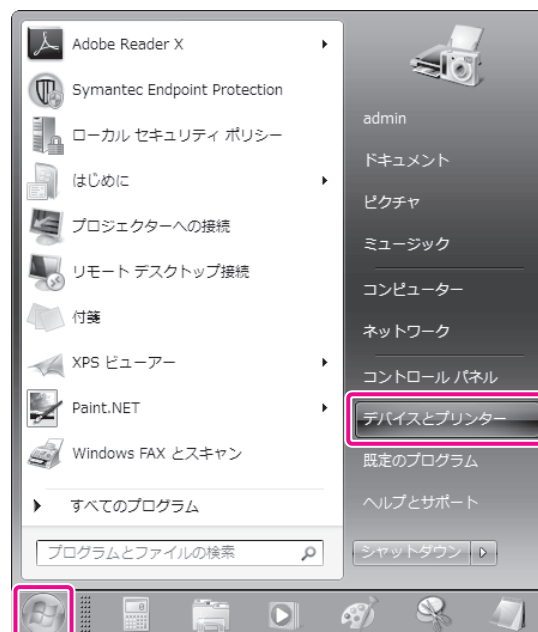
1. ファクスドライバーが入っている CD-ROM をコンピューターにセットします。

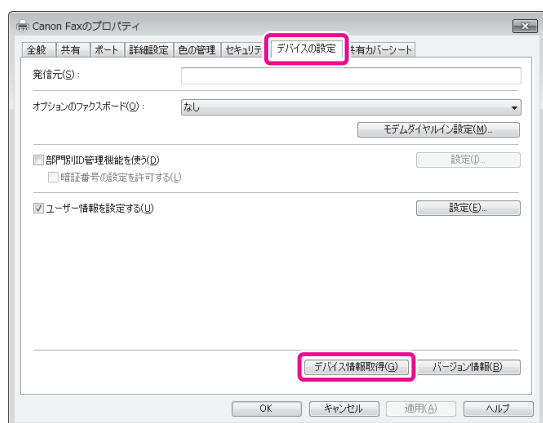
   ここでは例として、Windows 用のファクスドライバーを使います。

2. CD-ROM のメニュー画面で、［インストール］をクリックします。

「ファクスドライバーインストールガイド」を参照する場合は、［インストール］をクリックする前に［マニュアル表示］をクリックしてください。

3. 画面の指示に従って、ファクスドライバーをインストールします。

これで、ファクスドライバーのインストールが終わりました。
次に、ファクスの環境設定を行います。

4. Windows の操作画面で、（スタート）→［デバイスとプリンター］をクリックします。

5. お使いのファクスのアイコンを右クリック→［プリンターのプロパティ］を選択します。

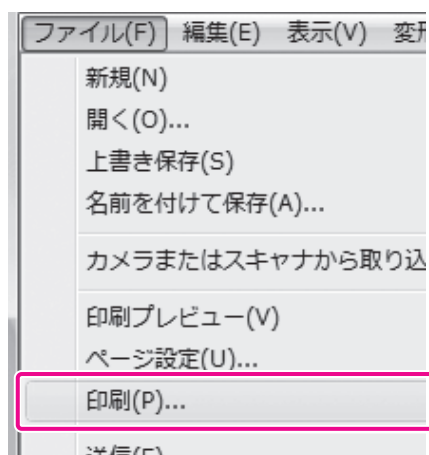
6 ［デバイスの設定］タブ→［デバイス情報取得］をクリックします。

7 ［OK］をクリックします。

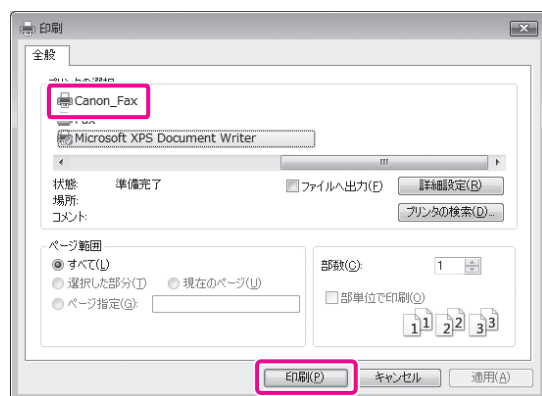
これで、ファクスの環境設定が終わりました。

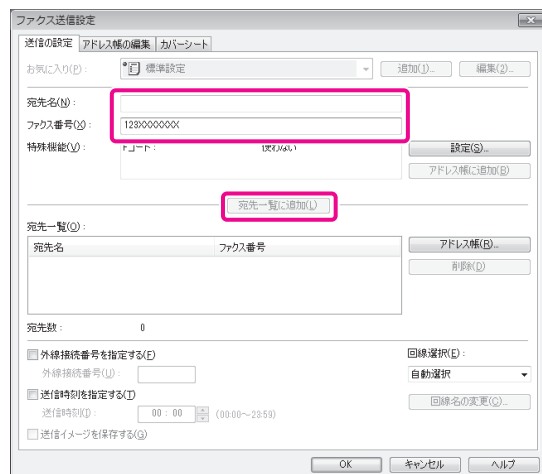
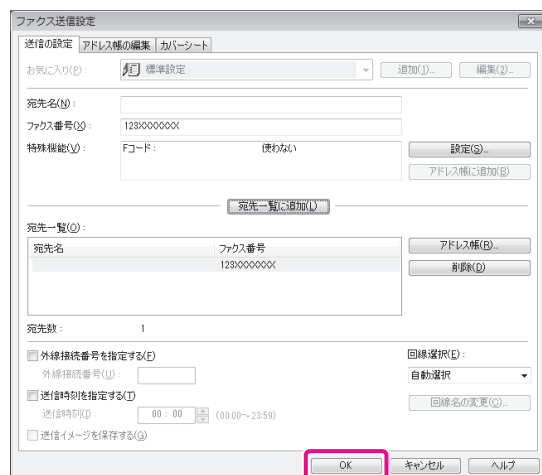
コンピューターからファクスを送信する

ファクスの宛先を設定して、ファクスを送信します。ここでは例として、Microsoft Office Word 2007 で作成した原稿を送信します。

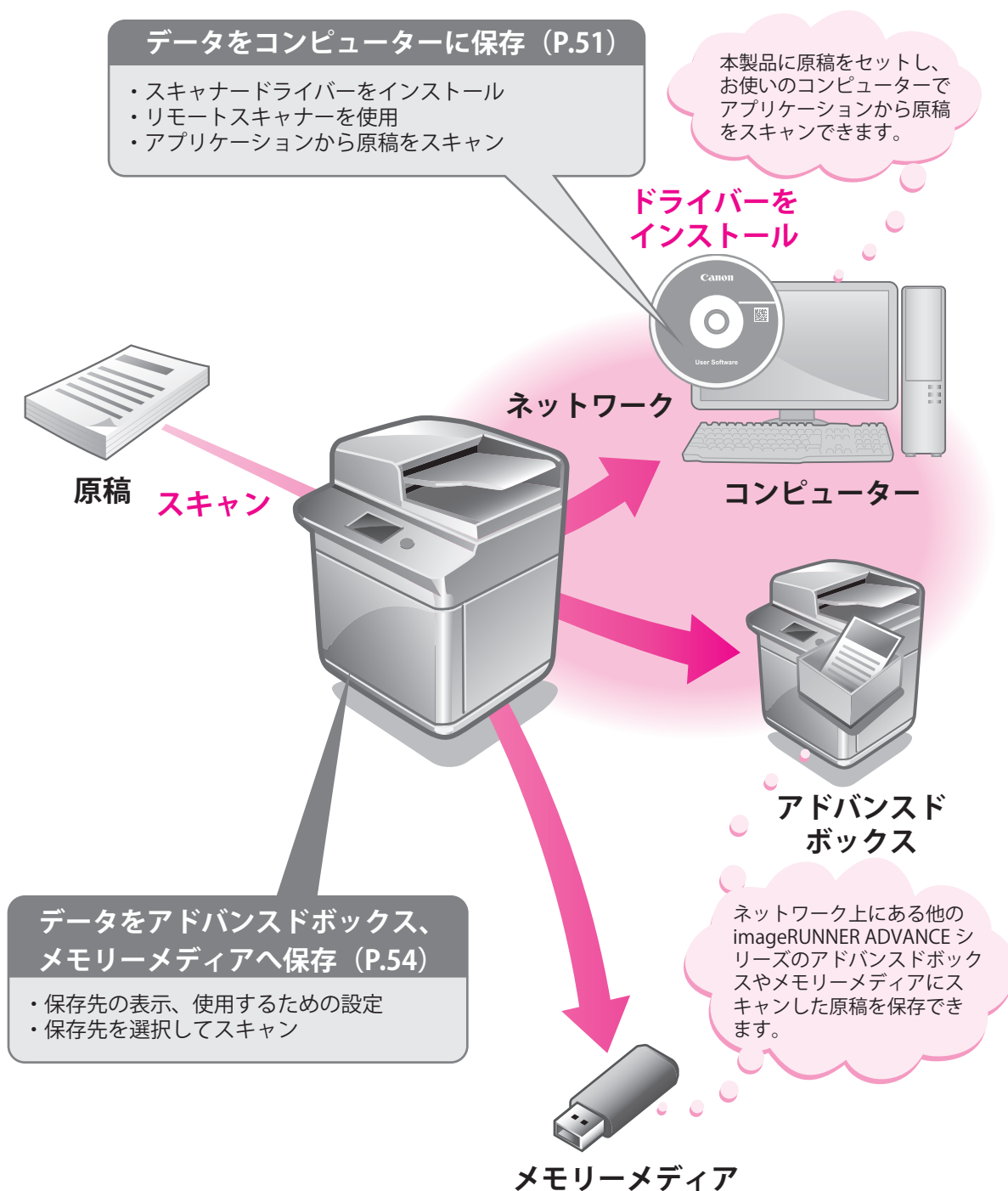
1 コンピューターでファクス送信する原稿を開きます。

2 メニューから［印刷］を選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

3 お使いのファクス名を選択→［印刷］をクリックします。

［ファクス送信設定］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［送信の設定］ページで、送信する宛先名とファクス番号を入力→［宛先一覧に追加］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

ファクスが送信されます。

原稿をスキャンしたい

本製品はスキャナーとして利用することができます。スキャンしたデータは、コンピューターやメモリーメディア、同一ネットワーク上にある他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアクセス可能なアドバンスドボックスへ保存することができます。

データをコンピューターに保存

ここでは例として、スキャンするために必要な設定を行ったあと、実際に原稿をスキャンしてコンピューターに取り込むまでの操作を説明します。

メモ

- リモートスキャンの手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属している取扱説明書を参照してください。
- お使いの OS などの環境によっては、画面が異なることがあります。

スキャンの準備

本製品でスキャン機能を使うには、スキャナードライバー（スキャナー設定をするためのソフトウェア）をインストールする必要があります。
スキャナードライバーのインストールは、プリンタードライバーと同じ User Software CD-ROM から行います。
その後、リモートスキャナーを使用するための設定が必要です。
ここでは例として、次のように設定します。

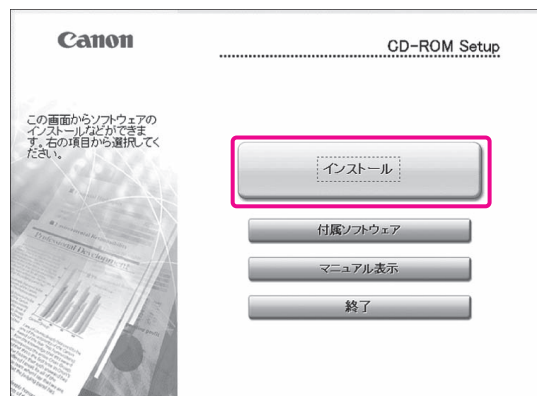
本製品の［リモートスキャナー］画面：
［オンライン］

お使いのコンピューターの［ScanGear Tool］
お使いのスキャナー名

ドライバーをインストールする

ここでは例として、Windows 7 にスキャナードライバーをインストールする操作を説明します。

1 **コンピューターに CD-ROM をセットします。**
ここでは Color Network ScanGear を使います。

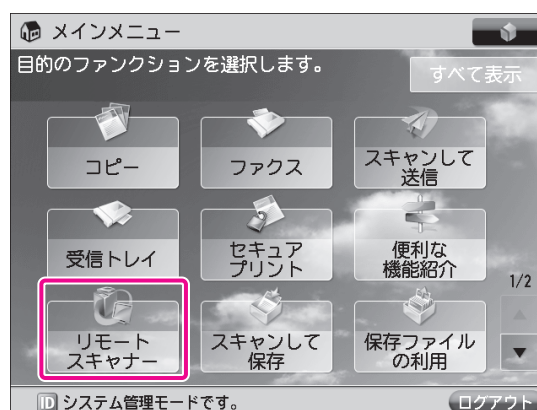
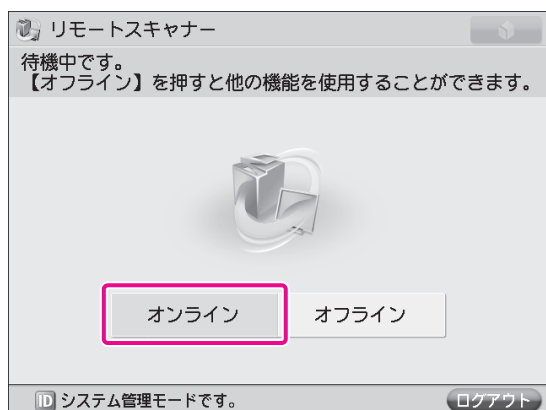
2 **CD-ROM のメニュー画面で［インストール］をクリックします。**

「Network ScanGear インストールガイド」を参照する場合は、［インストール］をクリックする前に［マニュアル表示］をクリックしてください。

3 **画面の指示に従ってインストールを行います。**

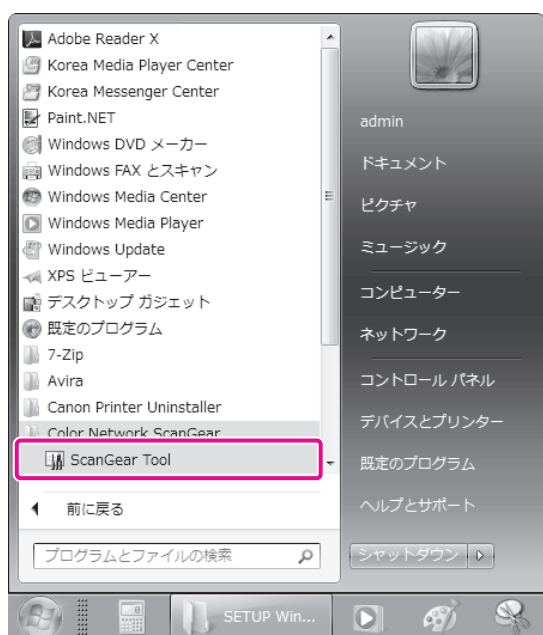
これで、スキャナードライバーのインストールが終わりました。
次に、リモートスキャナーを有効にします。

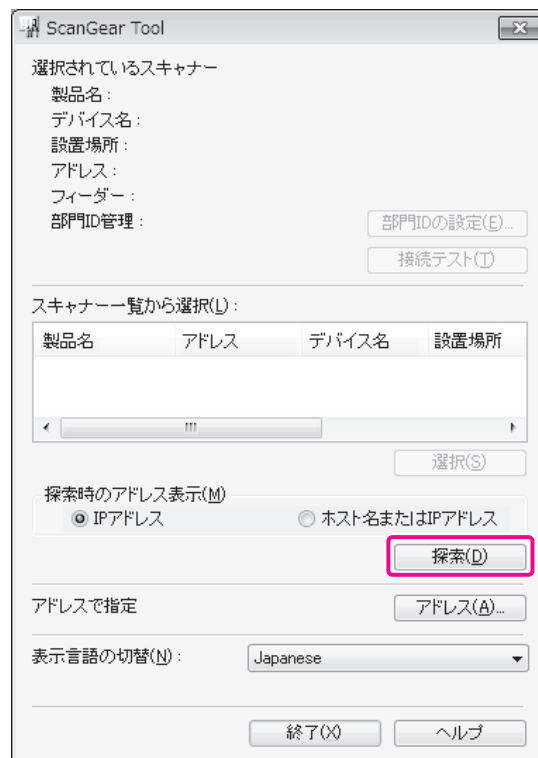
スキャナーをオンラインにする

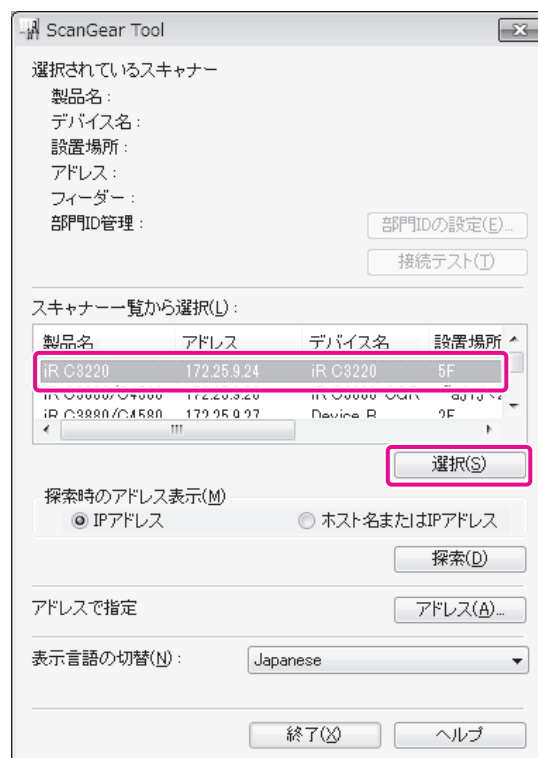
スキャン機能を使うには、本製品でリモートスキャナーをオンラインにしてから、お使いのコンピューターで使用するネットワークスキャナーを有効にする必要があります。

1 **［リモートスキャナー］を押します。**

2 ［リモートスキャナー］の画面で、［オンライン］を押します。

スキャナーがオンラインになります。

これで、コンピューターからスキャン実行させることができるようになります。
次に、お使いのコンピューターで、使用するスキャナーを設定します。

3 Windows の操作画面で、（スタート）→［すべてのプログラム］→［Color Network ScanGear］→［ScanGear Tool］をクリックします。

ScanGear Tool が起動します。

4 ［探索］をクリックします。

ネットワーク上のスキャナーが自動検索され、［スキャナー一覧から選択］に、検索されたスキャナーが表示されます。

5 使用するスキャナーを選択→［選択］をクリックします。

6 ［終了］をクリックします。

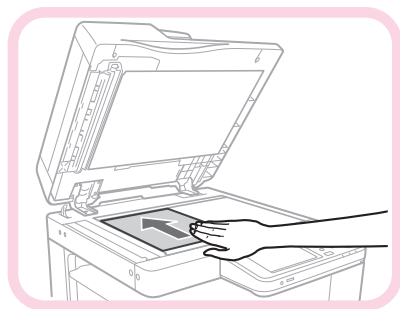
ScanGear Tool が終了します。

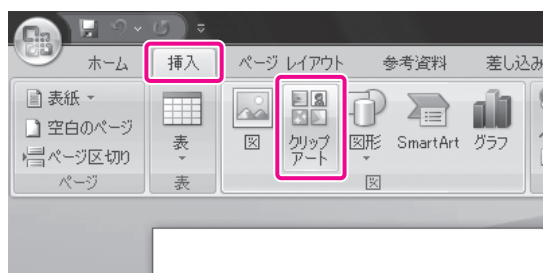
これで、リモートスキャナーが有効になりました。

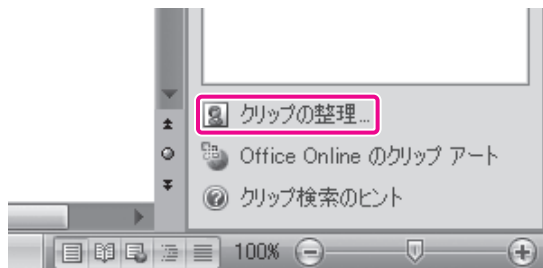
スキャンする

ここでは例として、本製品の原稿台に原稿を置いたあと、お使いのコンピューターからリモートスキャンを行い、Microsoft Office Word 2007 ファイルにデータを貼り付けるまでの操作を説明します。

1 リモートスキャナーがオンラインになっていることを確認します。

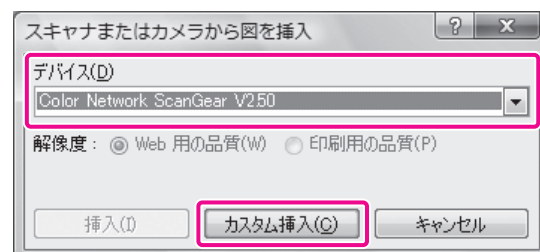
2 原稿を原稿台ガラスにセットします。

3 Microsoft Office Word 2007 を起動します。

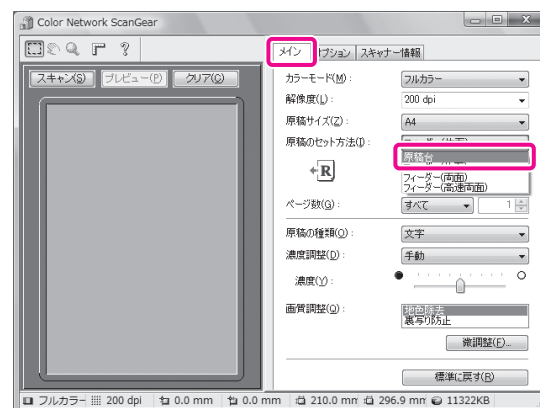
4 ［挿入］メニューの［クリップアート］をクリックします。

［クリップアートの挿入］作業ウィンドウが表示されます。

5 ［クリップの整理］をクリックします。

Microsoft クリップオーガナイザが起動します。

6 ［ファイル］→［オーガナイザにクリップを追加］→［スキャナまたはカメラから］を選択します。

［スキャナまたはカメラから図を挿入］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［デバイス］で Color Network ScanGear を選択→［カスタム挿入］をクリックします。

Color Network ScanGear の画面が表示されます。

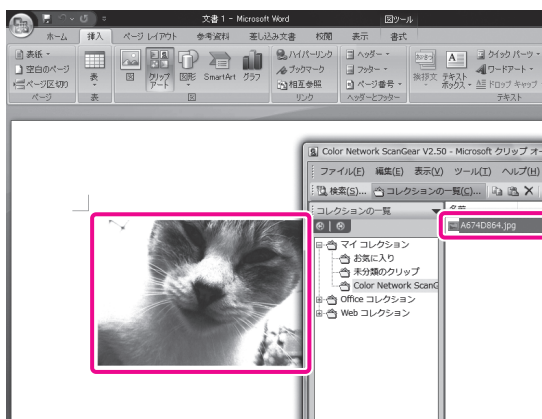
8 ［メイン］ページの<原稿のセット方法>で［原稿台］を選択します。

9 カラーモード、解像度などのスキャン条件を設定します。

プレビューを表示する場合は［プレビュー］をクリックします。

10 ［スキャン］をクリックします。

スキャンが開始されます。
スキャンが終了すると、Color Network ScanGear の画面が閉じ、スキャンした画像が Microsoft クリップオーガナイザの［マイコレクション］→［Color Network ScanGear Vx.xx］に転送されます。

11 Microsoft Word 2007 で文書を開きます。

12 Microsoft クリップオーガナイザからスキャンした画像をドラッグ→画像を貼り付けたい箇所にドロップします。

ドラッグ＆ドロップした箇所に、画像が貼り付けられます。

データをアドバンスドボックス、メモリーメディアへ保存

ここでは、同一ネットワーク上のアクセス可能なアドバンスドボックス（ネットワーク）、メモリーメディア（以下、保存場所とします）へデータを保存するまでの操作を説明します。

スキャンの準備

保存場所へスキャンしたデータを保存するためには次のような設定を行う必要があります。

● ネットワーク

サーバー機の設定

- アドバンスドボックスを SMB サーバーとして外部公開する
- SMB サーバー設定を行う

クライアント機の設定

［保存先の表示設定］

＜ネットワーク＞：［ON］

［ネットワークプレース設定］

［名称］：images

＜プロトコル＞：［SMB］

［場所］：¥¥192.168.1.23¥share

［外部参照時の通信プロトコル］

<SMB>：［ON］

● メモリーメディア

［保存先の表示設定］

＜メモリーメディア＞：［ON］

［USB 外部記憶デバイスに MEAP ドライバーを使用］：［OFF］

［スキャン / プリント機能を使用］

＜スキャン機能を使用＞：［ON］

＜プリント機能を使用＞：［ON］

ネットワーク上のアドバンスドボックスを使用する

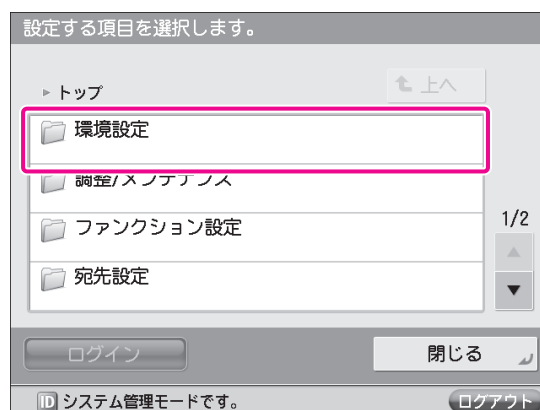
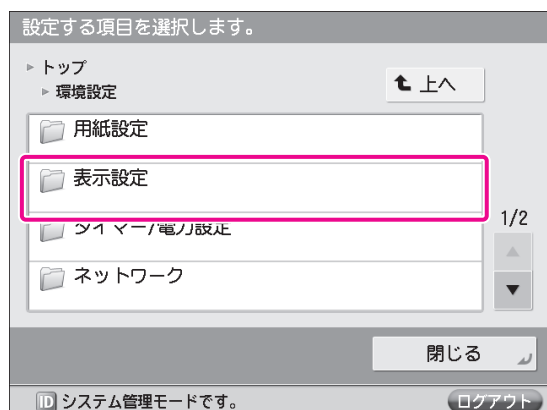
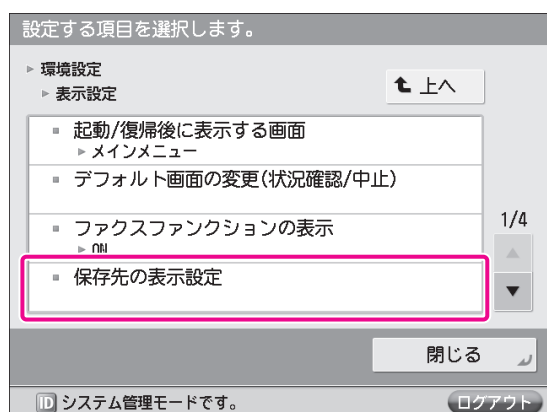
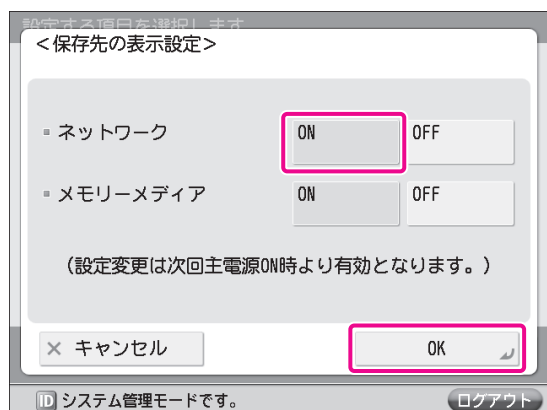
本製品でネットワークを使用するため、サーバー機とクライアント機でそれぞれ設定する必要があります。サーバー機側は、外部公開設定と、SMB サーバーの設定を行います。クライアント機側は、保存先の表示設定、ネットワークプレースの設定と外部参照時の通信プロトコルの設定を行います。

● サーバー機の設定

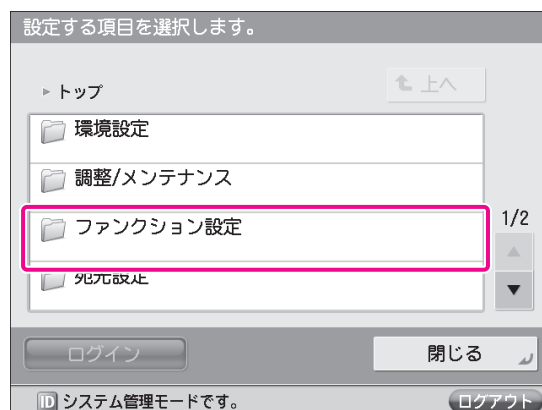
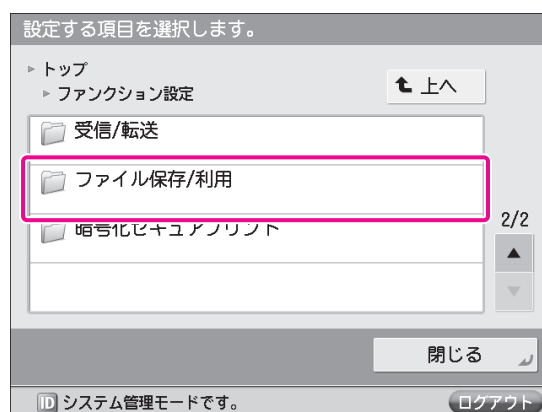
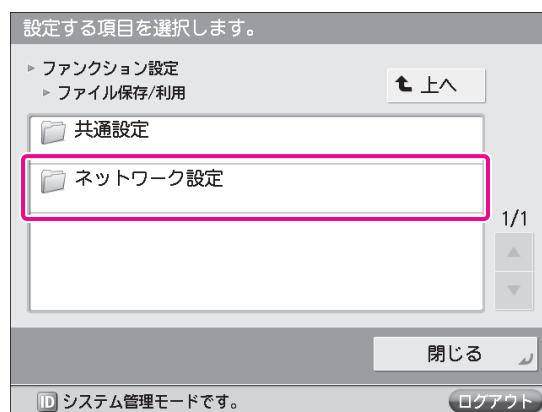
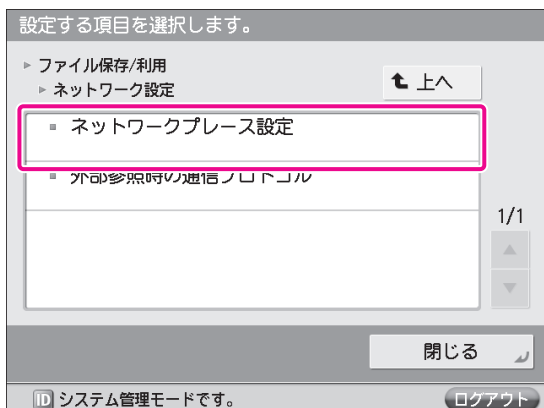
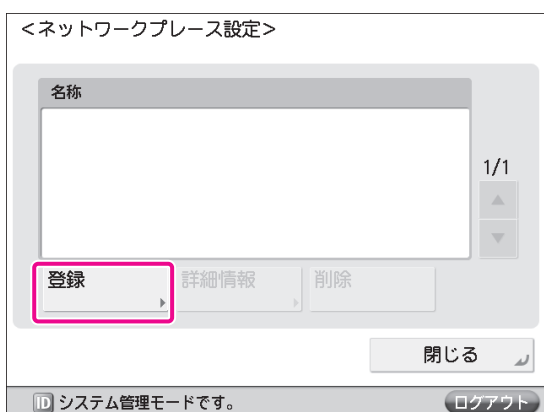
他の imageRUNNER ADVANCE シリーズをサーバーとして使用するためには、その製品でアドバンスドボックスの設定をする必要があります。アドバンスドボックスを SMB サーバーとして外部公開する設定や、SMB サーバー設定については、公開する imageRUNNER ADVANCE シリーズの取扱説明書を参照してください。

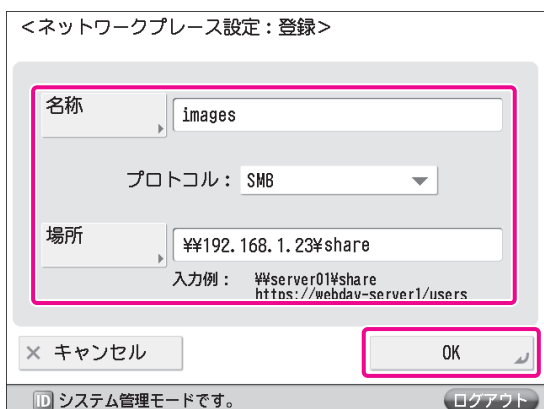
● クライアント機の設定

1 （設定／登録）を押します。

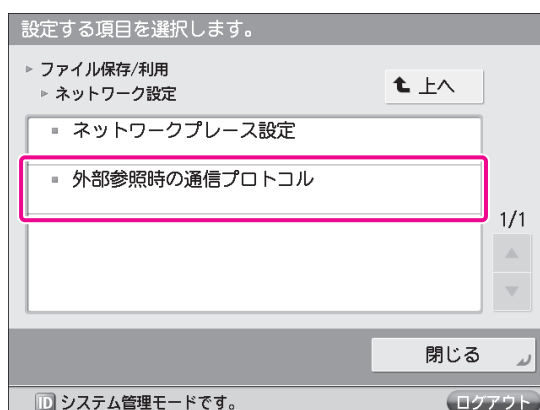
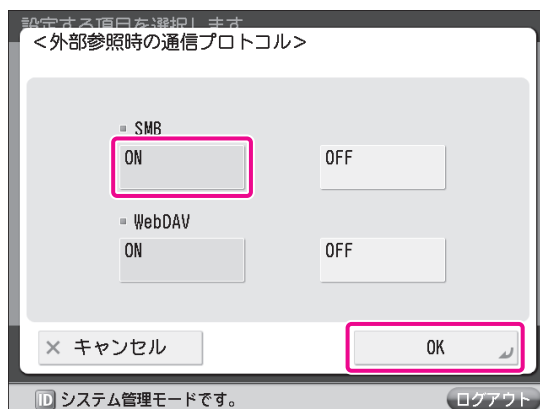
2 ［環境設定］を押します。

3 ［表示設定］を押します。

4 ［保存先の表示設定］を押します。

5 <ネットワーク>を「ON」に設定→［OK］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

次にネットワークプレースの設定と、外部参照時の通信プロトコルの設定を行います。

7 ［ファンクション設定］を押します。

8 ［ファイル保存 / 利用］を押します。

9 ［ネットワーク設定］を押します。

10 ［ネットワークプレース設定］を押します。

11 ［登録］を押します。

12 次の項目を設定 →［OK］を押します。

ここでは例として、次のように設定します。
［名称］：images
＜プロトコル＞：［SMB］
［場所］：¥¥192.168.1.23¥share

13 ［閉じる］を押します。

これで、ネットワークプレースの設定ができました。
次に、外部参照時の通信プロトコルの設定を行います。

14 ［外部参照時の通信プロトコル］を押します。

15 ＜SMB＞を「ON」に設定 →［OK］を押します。

16 ［閉じる］を押します。

17 本製品の主電源を切ったあと、電源を入れなおします。

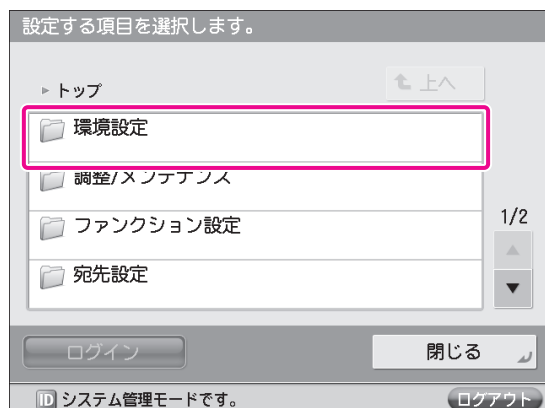
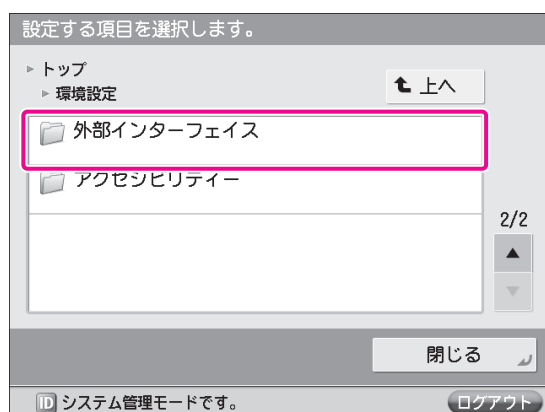
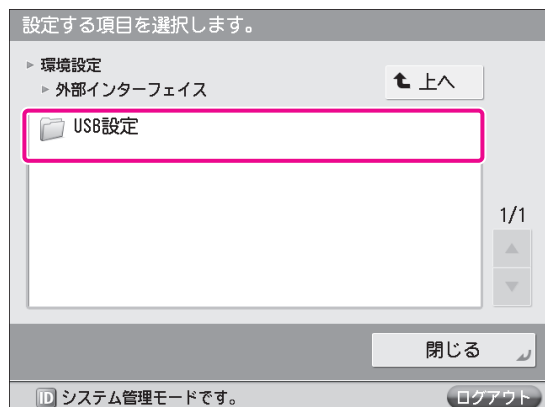
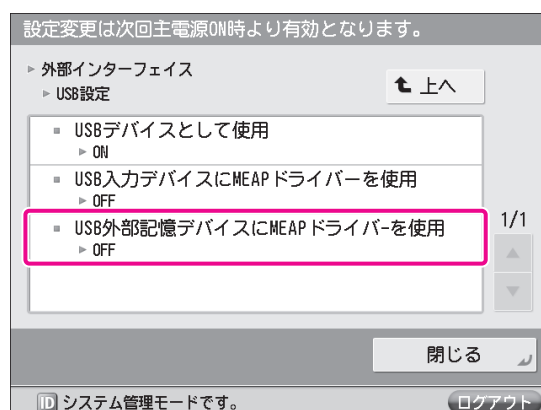
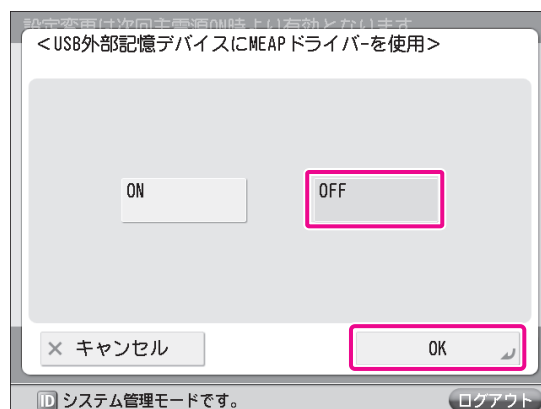
［保存先の表示設定］は、本体の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。

メモリーメディアを使用する

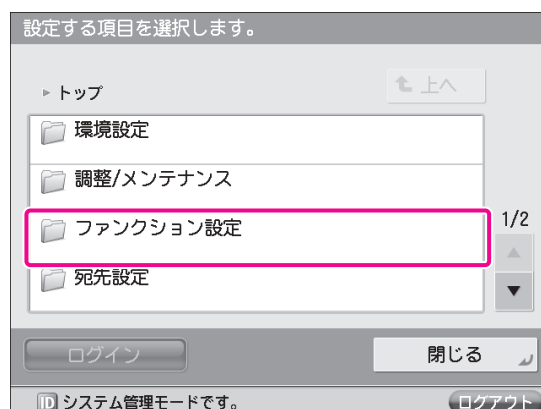
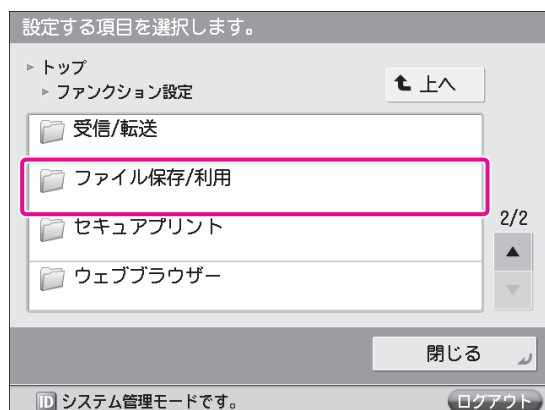
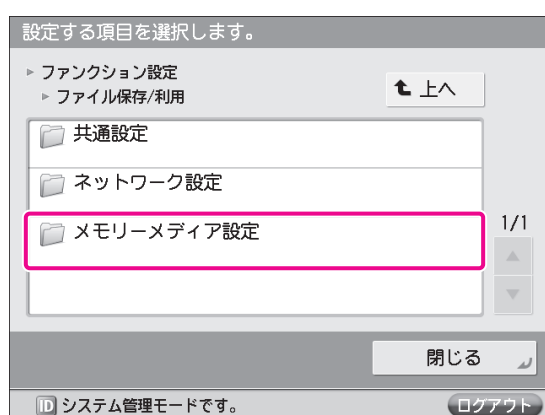
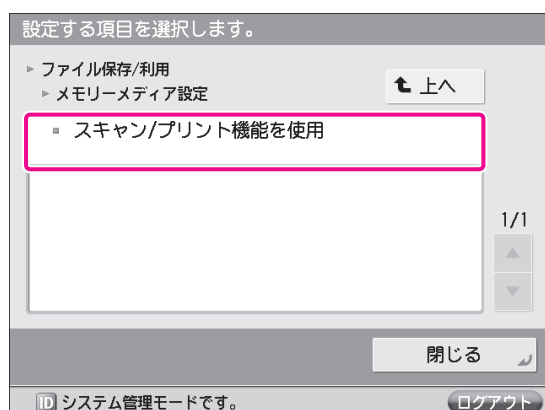
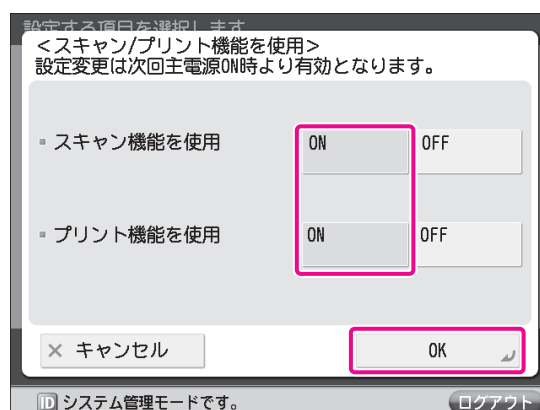
本製品でメモリーメディアを使用するため、保存先の表示設定と、USB 設定を行います。

1 ［保存先の表示設定］で＜メモリーメディア＞を「ON」に設定します。

メモリーメディアの表示方法については、「ネットワーク上のアドバンスドボックスを使用する」（→ P.54）の手順 5 で、＜メモリーメディア＞を「ON」に設定してください。
次に USB の設定を行います。

2 ［環境設定］を押します。

3 ［外部インターフェイス］を押します。

4 ［USB 設定］を押します。

5 ［USB 外部記憶デバイスに MEAP ドライバーを使用］を押します。

6 ［OFF］→［OK］を押します。

7 ［閉じる］を押します。

これで、USB 設定ができました。次にスキャン機能とプリント機能の使用を可能にします。

8 ［ファンクション設定］を押します。

9 ［ファイル保存 / 利用］を押します。

10 ［メモリーメディア設定］を押します。

11 ［スキャン / プリント機能を使用］を押します。

12 ＜スキャン機能を使用＞と＜プリント機能を使用＞を「ON」に設定→［OK］を押します。

13 ［閉じる］を押します。

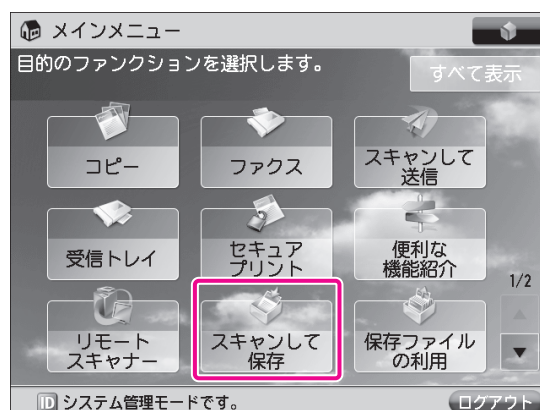
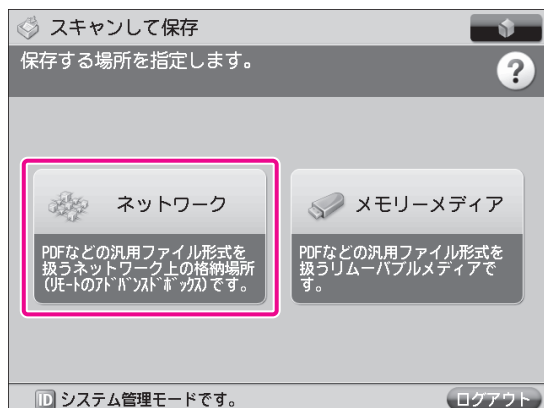
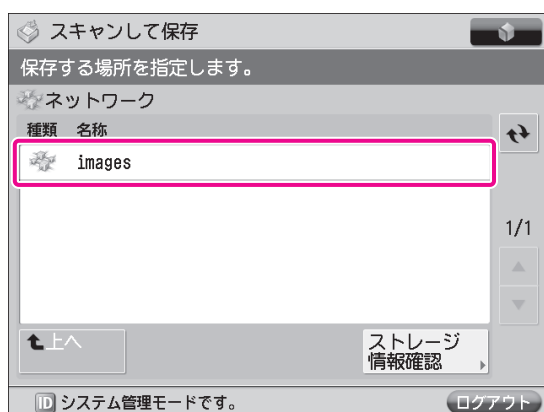
14 本製品の主電源を切ったあと、電源を入れなおします。

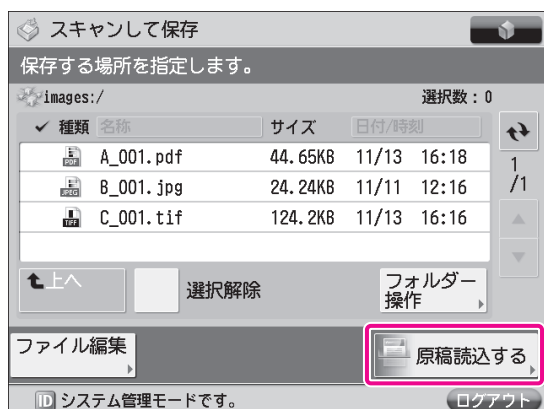
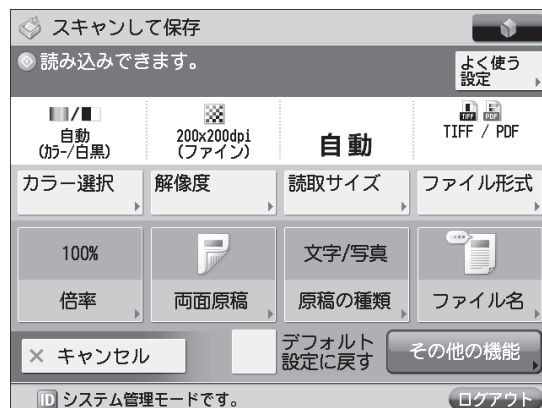
［USB 外部記憶デバイスに MEAP ドライバーを使用］、＜スキャン機能を使用＞および＜プリント機能を使用＞の設定は、本体の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。

スキャンする

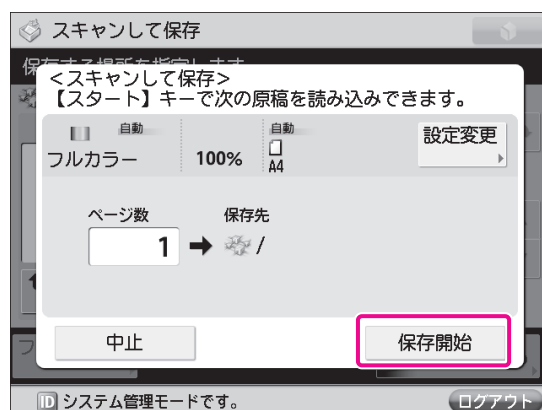
本製品でスキャンしたデータを保存場所に保存します。ここでは、ネットワーク上の他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックスへ保存する操作を説明します。

1 本製品に原稿をセットします。

2 ［スキャンして保存］を押します。

3 ［ネットワーク］を押します。

4 目的のストレージを選択します。

認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

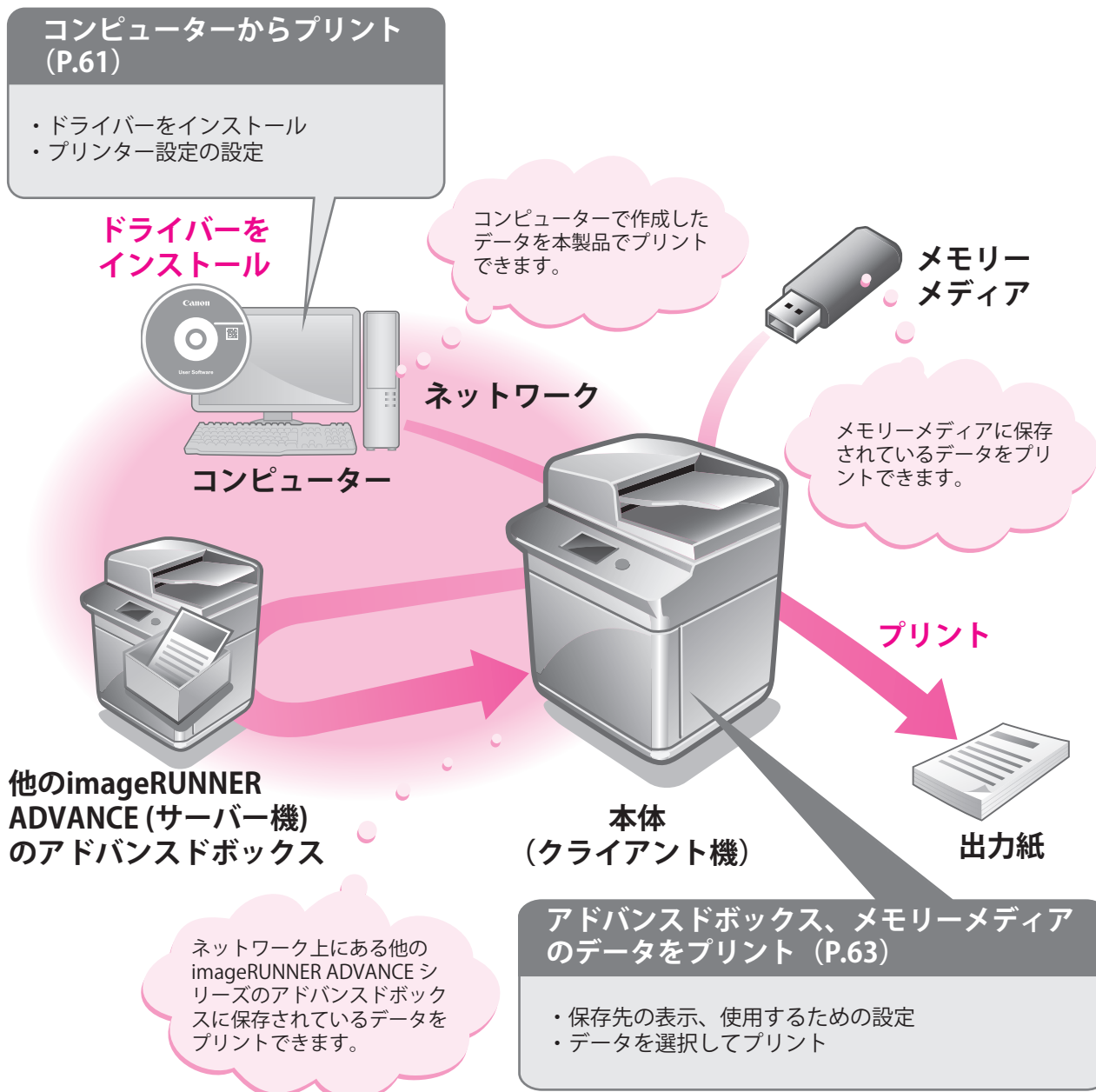
5 ［原稿読込する］を押します。

6 必要に応じて、設定を行います。

7 ⊙（スタート）を押します。

<読取サイズ>画面が表示された場合は、読み取りサイズを押して［OK］を押します。

8 ［保存開始］を押します。

スキャンした原稿が、ネットワーク上の他のimageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックスに保存されます。

9 ［閉じる］を押します。

原稿をプリントしたい

メモリーメディアに保存されたデータや、コンピューターで作成したデータを本製品でプリントしたり、ネットワーク上の他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックスにあるデータをプリントしたりできます。
ここでは例として、ネットワーク上にある他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックスに保存されているデータをプリントするまでの操作を説明します。

コンピューターからプリント

ここでは例として、コンピューターで作成した原稿を、本製品で印刷するまでの操作を説明します。

メモ

- 印刷の手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属している取扱説明書を参照してください。
- お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによっては、画面が異なることがあります。

プリントの準備

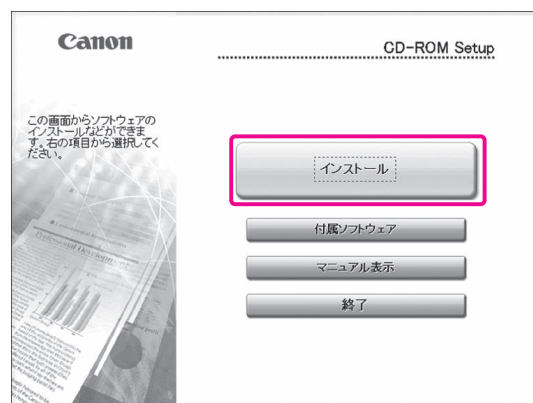
本製品のプリント機能を使うには、プリンタードライバーをコンピューターにインストールする必要があります。インストールしたあと、プリンターの環境設定をしてください。

ドライバーをインストールする

ここでは例として、Windows 7 にプリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

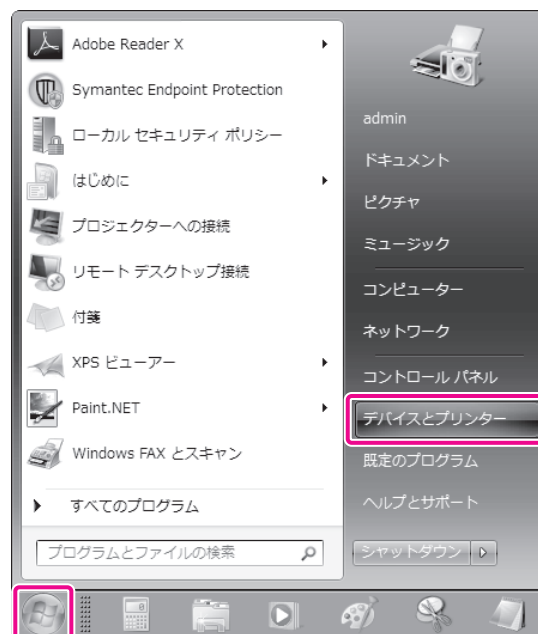
1 **プリンタードライバーが入っている CD-ROM をコンピューターにセットします。**

ここでは例として、Windows 用の LIPSLX プリンタードライバーを使います。

2 **CD-ROM のメニュー画面で、［インストール］をクリックします。**

「プリンタードライバーインストールガイド」を参照する場合は、［インストール］をクリックする前に［マニュアル表示］をクリックしてください。

3 **画面の指示に従って、プリンタードライバーをインストールします。**

これで、プリンタードライバーのインストールは終わりました。
次に、プリンターの環境設定を行います。

4 **Windows の操作画面で、（スタート）→［デバイスとプリンター］をクリックします。**

5 お使いのプリンターを右クリック→［プリンターのプロパティ］を選択します。

6 ［デバイスの設定］タブ→［デバイス情報取得］をクリックします。

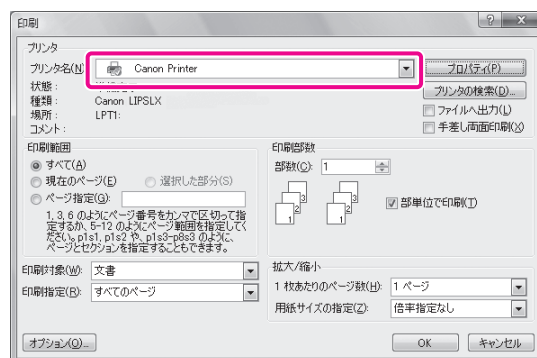
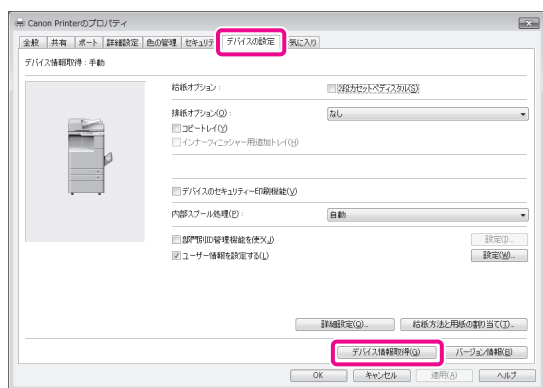
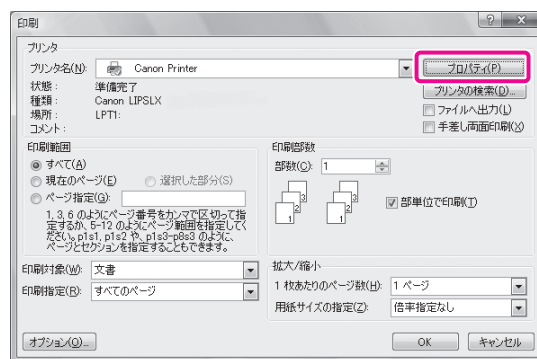
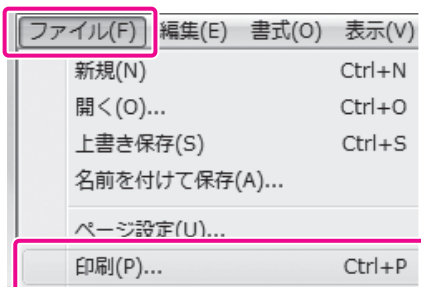
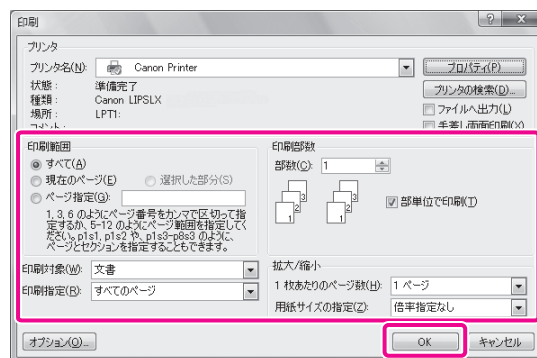
7 ［OK］をクリックします。

これで、プリンターの環境設定は終わりました。

コンピューターからプリントする

コンピューターで作成した原稿を、本製品で印刷します。ここでは例として、Microsoft Office Word 2007 で作成した原稿を印刷します。

1 印刷したい Word 文書を開き、［ファイル］→［印刷］をクリックします。

2 ［プリンタ名］でお使いのプリンターを選択します。

3 ［プロパティ］をクリックします。

4 ページ設定や仕上げなどを設定 → ［OK］をクリックします。

5 印刷範囲や印刷部数などを設定→［OK］をクリックします。

原稿が印刷されます。

アドバンスドボックス、メモリーメディアのデータをプリント

ここではネットワーク上にある他のimageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックスにあるファイルをプリントする操作を説明します。

プリントの準備

保存されたファイルをプリントするためには次の項目の設定を行う必要があります。

●ネットワーク

サーバー機の設定

- アドバンスドボックスを SMB サーバーとして外部公開する
- SMB サーバー設定を行う

クライアント機の設定

［保存先の表示設定］

<ネットワーク>：［ON］

［ネットワークプレース設定］

［名称］：images

<プロトコル>：［SMB］

［場所］：¥¥192.168.1.23¥share

［外部参照時の通信プロトコル］

< SMB >：［ON］

●メモリーメディア

［保存先の表示設定］

<メモリーメディア>：［ON］

［USB 外部記憶デバイスに MEAP ドライバーを使用］：［OFF］

［スキャン / プリント機能を使用］

< スキャン機能を使用 >：［ON］

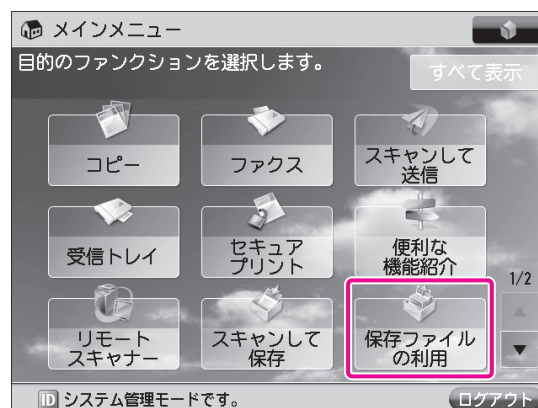
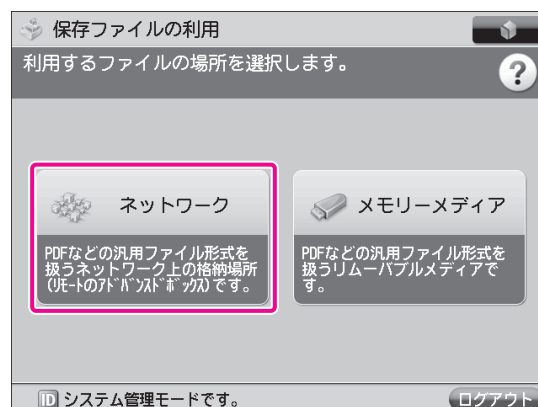
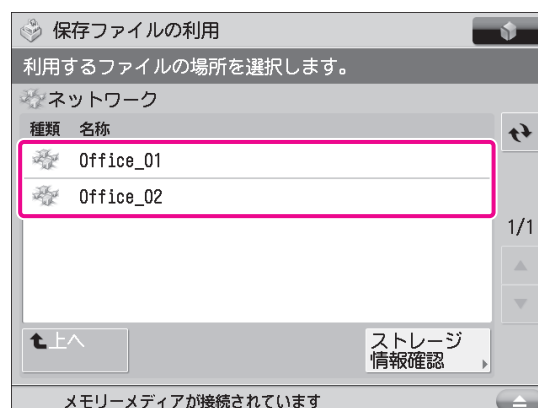
< プリント機能を使用 >：［ON］

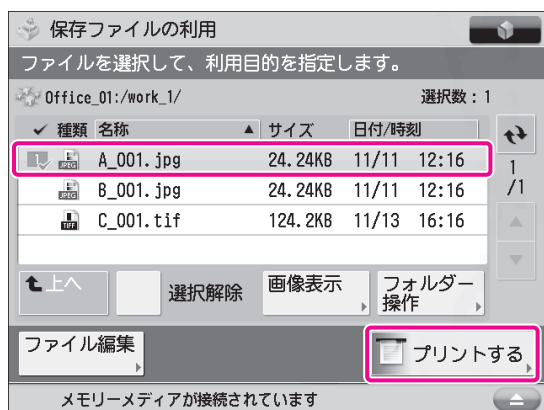
メモ

プリントの準備に必要な設定については、「スキャンの準備」（→ P.54）を参照してください。

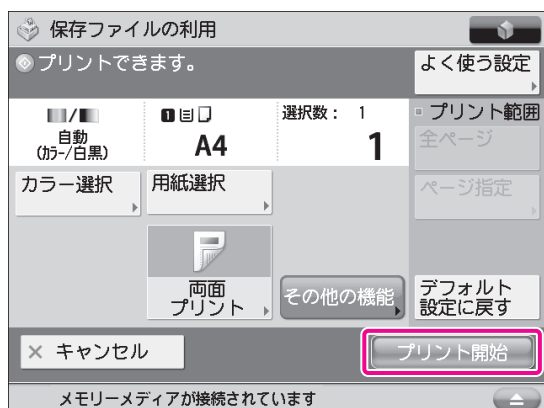
保存されているデータをプリントする

ネットワーク上にある他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックスに保存されているファイルをプリントします。

1 ［保存ファイルの利用］を押します。

2 ［ネットワーク］を押します。

3 目的のストレージを選択します。

認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

4 ファイルを選択 → ［プリントする］を押します。

用紙選択画面が表示された場合は、プリントする用紙を選択します。

5 プリント設定画面で必要に応じて、設定を行います。

6 ［プリント開始］を押します。

プリントが開始されます。

システムオプション／MEAPアプリケーションを使用する

3

システムオプション／MEAP アプリケーションのインストール

「ソフトウェアの登録／更新」の機能を使って、システムオプション／ MEAP アプリケーションを本製品にインストールできます。タッチパネルディスプレー、コンピューター（リモート UI）のどちらからでも、本機能を使用できます。

ネットワークにつなげてインストールする場合

本製品を外部ネットワークに接続してインストールする（P.67）

・配信サーバーにアクセス
・インストール

配信サーバー

ライセンス認証・MEAP アプリケーションの配信

ネットワーク

タッチパネルディスプレーからアクセス

リモートUIからアクセス

ネットワークにつなげずにインストールする場合

本製品を外部ネットワークに接続しないでインストールする（P.70）

・ライセンスファイルを取得
・インストール

本体

SMSの画面から、インストールしたMEAPアプリケーションを使用できる状態にできます。

ライセンスキーをタッチパネルディスプレーから登録（システムオプション）

1234-5678-1234…

・MEAP アプリケーションを使用できる状態にする（P.73）
・マニュアルや関連ソフトウェアなどをダウンロードする（P.74）

ライセンスキー／ライセンスファイルの取得

ライセンスファイルをリモートUIからインストール（システムオプション／MEAPアプリケーション*）

* MEAPアプリケーションには、アプリケーションファイルが別途必要となります

システムオプション／MEAPアプリケーションによっては、そのマニュアルや関連ソフトウェアなどをダウンロードできます。

システムオプションとMEAP アプリケーションについて

さまざまなシステムオプション／ MEAP アプリケーションをインストールして、本製品の機能を拡張できます。

●システムオプション

本製品にインストールできるシステムオプションは、次のとおりです。

- LIPS V 拡張キット
- PS 拡張キット
- ダイレクトプリント拡張キット（PDF/XPS 用）
- リモート FAX 送信キット
- スキャンソリューション機能拡張キット
- ユーザー署名＆タイムスタンプ拡張キット
- ウェブブラウザー拡張キット

●MEAP アプリケーション

上記のシステムオプション以外で本製品の機能を拡張する場合は、MEAP アプリケーションをインストールします。

メモ

- お使いのシステムオプション／ MEAP アプリケーションによって、ライセンス登録が必要です。
- 次のような MEAP アプリケーションの管理を行う場合は、SMS（Service Management Service）をお使いください。（→ e- マニュアル > MEAP）
  - 本製品にインストールされている MEAP アプリケーションの確認
  - MEAP アプリケーションが使用しているメモリー領域の確認
  - すでにインストールされている MEAP アプリケーションへのライセンス追加

システムオプション／MEAP アプリケーションをインストールする

本製品にシステムオプション／ MEAP アプリケーションをインストールする方法は、本製品を外部ネットワークに接続して作業する場合と、接続しないで作業する場合とで異なります。ご使用の条件にあった方法を選択してください。

本製品を外部ネットワークに接続してインストールする（→ P.67）
本製品を外部ネットワークに接続しないでインストールする（→ P.70）

メモ

- 本製品を外部ネットワークに接続する方法は、「ネットワークにつなげる」(→ P.13) を参照してください。
- 複数のユーザーが同時に、「ソフトウェアの登録／更新」を使用することはできません。
- 他のユーザーが SMS（Service Management Service）にログインしている場合、リモート UI から「ソフトウェアの登録／更新」を使用できません。
- 次の操作を行うと、一定時間リモート UI から「ソフトウェアの登録／更新」を使用できません。
  - SMS の Remote Login Service が設定されている場合に、［ポータル］または［ログアウト］を押さずに Web ブラウザーを終了したとき
  - SMS の Remote Login Service が設定されていない場合に、［ポータル］を押さずに Web ブラウザーを終了したとき
  - SMS の［ログアウト］、［SMS からのログアウト］、［リモート UI へ］を押さずに Web ブラウザーを終了したとき

本製品を外部ネットワークに接続してインストールする

本製品を外部ネットワークに接続している場合は、配信サーバーとの連携によってシステムオプション／ MEAP アプリケーションをインストールできます。
次のいずれかの方法でインストールしてください。

タッチパネルディスプレーからインストールする（配信）（→ P.68）
リモート UI からインストールする（配信）（→ P.69）

メモ

- 配信サーバーと正常に通信が行われるかを確認するため、必要に応じて、インストールする前に通信テストを行ってください。（「タッチパネルディスプレーから通信テストを行う」（→ P.77）、「リモート UI から通信テストを行う」（→ P.78））

- あらかじめ、パッケージに同梱されているライセンスアクセス番号証書を準備しておいてください。
- MEAP アプリケーションをインストールする場合は、MEAP アプリケーションを使用する前に開始の状態にする必要があります。(「MEAP アプリケーションを使用できる状態にする」(→ P.73))

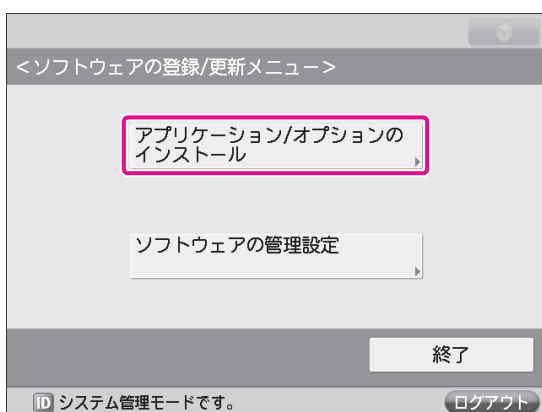
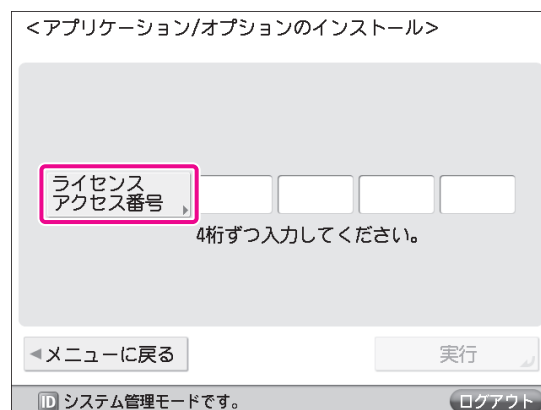
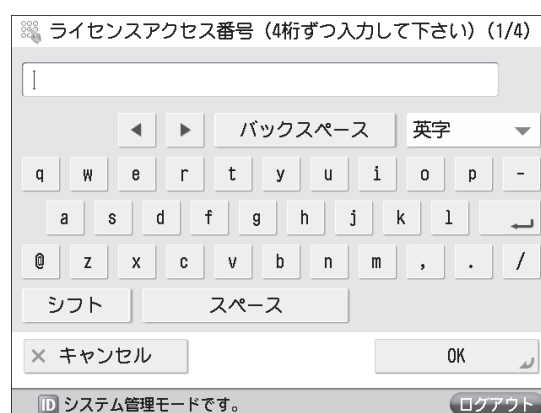
タッチパネルディスプレーからインストールする（配信）

タッチパネルディスプレーから、本製品にシステムオプション／ MEAP アプリケーションをインストールします。

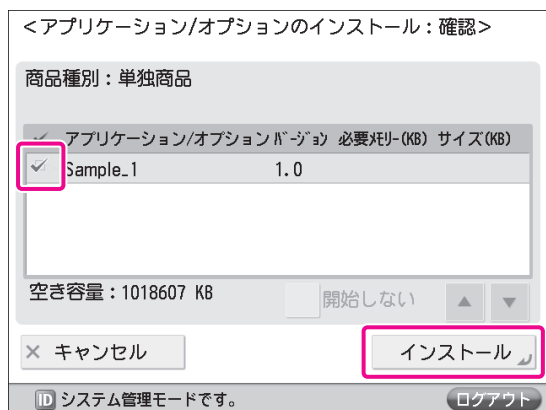
メモ

- インストールできる MEAP アプリケーションは、最大 19 個までです。
- MEAP アプリケーションが使用できるメモリー領域は、最大約 1GB までです。
- MEAP アプリケーションによっては、インストールに特定の条件を必要とする場合があります。詳細については、各 MEAP アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

1 （設定／登録）→［管理設定］→［ライセンス / その他］→［ソフトウェアの登録 / 更新］を押します。

2 ［アプリケーション / オプションのインストール］を押します。

3 ［ライセンスアクセス番号］を押します。

4 ライセンスアクセス番号を 4 桁ずつ入力します。

ライセンスアクセス番号を 4 桁入力→［OK］を押します。この操作を 4 回繰り返して、計 16 桁のライセンスアクセス番号を入力します。

5 ［実行］を押します。

6 システムオプション、MEAP アプリケーションを選択したあと、［インストール］を押します。

［開始しない］：MEAP アプリケーションのインストールのみを行い、開始しない場合に押します。

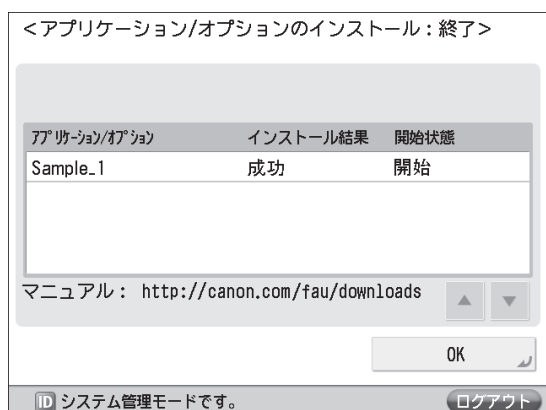
重要

MEAP アプリケーションのインストール時に［開始しない］を押した場合は、MEAP アプリケーションを使用する前に開始の状態にする必要があります。（→ MEAP アプリケーションを使用できる状態にする：P. 73）

メモ

複数のシステムオプション／ MEAP アプリケーションが選択できますが、同じ製品でバージョンが異なるものは、同時に選択できません。

契約画面が表示された場合は、内容を確認して［同意する］を押してください。

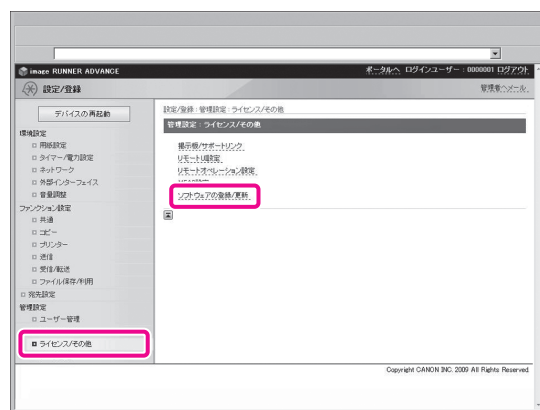
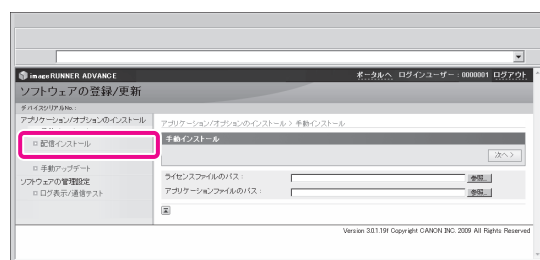
7 インストール結果画面を確認します。

システムオプションのインストールに成功すると、<インストール結果>に「再起動後有効」というメッセージが表示されます。本製品を再起動して、機能を有効化してください。

メモ

インストールしたシステムオプション／ MEAP アプリケーションによっては、お使いのコンピューターからインストール結果画面に表示されたマニュアルダウンロードサイトの URL へアクセスして、そのシステムオプション／ MEAP アプリケーションのマニュアルをダウンロードすることができます。（→マニュアルや関連ソフトウェアなどをダウンロードする：P. 74）

リモート UI からインストールする（配信）

リモート UI から、本製品にシステムオプション／ MEAP アプリケーションをインストールします。

1 リモート UI のトップページから、［設定 / 登録］→［ライセンス / その他］→［ソフトウェアの登録 / 更新］をクリックします。

2 ［配信インストール］をクリックします。

3 ライセンスアクセス番号を入力し、［次へ］をクリックします。

配信サーバーへの問い合わせ後、ライセンスアクセス番号が確認されると、インストールできるシステムオプション／ MEAP アプリケーションの情報が表示されます。

メモ

ライセンスアクセス番号が正しくない場合は、エラーページが表示されます。

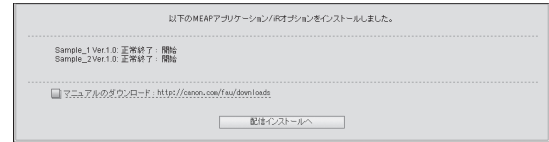
4 システムオプション、MEAP アプリケーションを選択して、［インストール開始］をクリックします。

インストール後の動作：
開始：インストールした MEAP アプリケーションを開始状態にします。
停止：インストールした MEAP アプリケーションを停止状態にします。

重要

MEAP アプリケーションのインストール時に［停止］を選択した場合は、MEAP アプリケーションを使用する前に開始の状態にする必要があります。（→ MEAP アプリケーションを使用できる状態にする：P. 73）

契約画面が表示された場合は、内容を確認して［同意します］をクリックします。

5 インストール結果ページを確認します。

システムオプションのインストールに成功すると、「デバイスを再起動してください。」というメッセージが表示されます。本製品を再起動して、機能を有効化してください。
［配信インストールへ］をクリックすると、配信インストールページへ戻ります。

メモ

インストールしたシステムオプション／ MEAP アプリケーションによっては、インストール結果ページに表示されたマニュアルダウンロードサイトの URL へアクセスして、そのシステムオプション／ MEAP アプリケーションのマニュアルをダウンロードすることができます。（→マニュアルや関連ソフトウェアなどをダウンロードする：P. 74）

本製品を外部ネットワークに接続しないでインストールする

本製品を外部ネットワークに接続せずに作業する場合に、システムオプション／ MEAP アプリケーションをインストールする方法を説明します。
外部ネットワークに接続せずに作業する場合は、あらかじめライセンスキー／ライセンスファイルを取得しておく必要があります。

- **ライセンスキー：**
  タッチパネルディスプレーからシステムオプションをインストールするときに取得してください。
- **ライセンスファイル：**
  リモート UI からシステムオプション／ MEAP アプリケーションをインストールするときに取得してください。

メモ

- あらかじめ、パッケージに同梱されているライセンスアクセス番号証書を準備しておいてください。
- お持ちの MEAP アプリケーションのパッケージにライセンスアクセス番号が記載されていない場合は、MEAP アプリケーションの販売元からライセンスファイルが支給されます。ここで説明しているライセンスキー／ライセンスファイルの取得は、必要ありません。詳細については、各 MEAP アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

1 ライセンスキー／ライセンスファイルを取得するために必要な管理番号を確認します。

ライセンスキー／ライセンスファイルを取得するには、次の管理番号が必要になります。

- ライセンスアクセス番号：ライセンスアクセス番号証書をご確認ください。
- デバイスシリアル No.：本製品の［カウンター確認］キーを押したときに画面左下に表示される［シリアル NO］を確認して、控えておいてください。

2 http://www.canon.com/lms/license/ にアクセスします。

3 画面の指示に従って、ライセンスキー／ライセンスファイルを取得します。

ライセンスキー／ライセンスファイルを取得してから、次のいずれかの方法でシステムオプション／ MEAP アプリケーションをインストールしてください。

タッチパネルディスプレーからシステムオプションをインストールする（→ P.71）
リモート UI からシステムオプションをインストールする（手動）（→ P.72）
リモート UI から MEAP アプリケーションをインストールする（手動）（→ P.72）

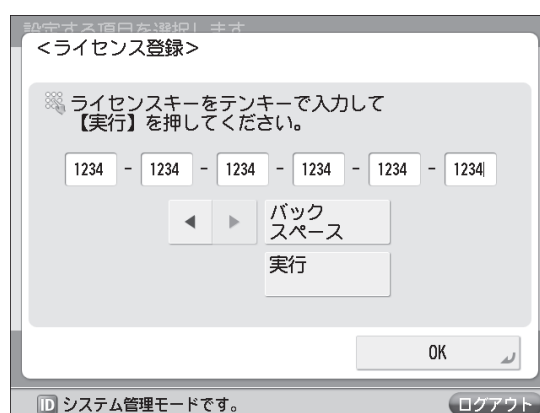
メモ

- 複数のシステムオプションをインストールするときは、リモート UI から作業することをおすすめします。
- MEAP アプリケーションをインストールする場合は、MEAP アプリケーションを使用する前に開始の状態にする必要があります。（「MEAP アプリケーションを使用できる状態にする」（→ P.73））

タッチパネルディスプレーからシステムオプションをインストールする

タッチパネルディスプレーからライセンスキーを登録して、本製品にシステムオプションをインストールします。

1 （設定／登録）→［管理設定］→［ライセンス / その他］→［ライセンス登録］を押します。

2 ライセンスキーを⓪～⑨（テンキー）で入力します。

表示される項目
◀▶：カーソルを移動するときに押します。
［バックスペース］：数字を押し間違えたときに押します。カーソル位置の手前の数字が消去されて、正しい数字が入力できます。
「ライセンスキーの値が正しくありません。ライセンスキーを確認してください。」というメッセージが表示されたときは、［OK］を押したあと、正しいライセンスキーを入力しなおしてください。
「インストールするために、必要な機能が足りません。」というメッセージが表示されたときは、ライセンスキーを登録することができません。［OK］を押したあと、登録を中止してください。

3 ［実行］→［OK］を押します。

登録した機能は、本製品の再起動後に使用できる状態になります。

リモート UI からシステムオプションをインストールする（手動）

リモート UI から、本製品にシステムオプションをインストールします。

1 リモート UI のトップページから、［設定 / 登録］→［ライセンス / その他］→［ソフトウェアの登録 / 更新］をクリックします。

2 ［手動インストール］をクリックします。

3 ［参照］をクリックして、インストールするライセンスファイルを選択し、［次へ］をクリックします。

ライセンスファイル：拡張子が「lic」のファイルです。

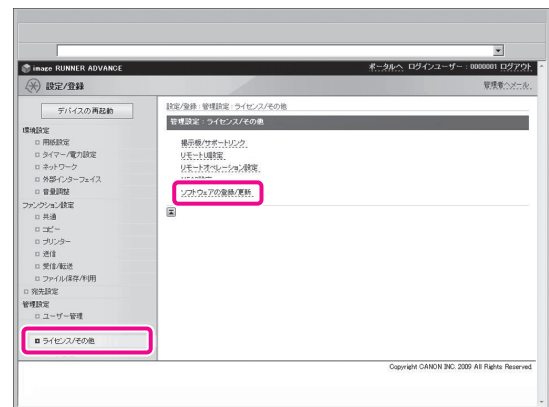
メモ
- アプリケーションファイルのパスは、使用しません。
- ファイルのパスを直接入力して指定することもできます。

4 インストールの確認ページの内容を確認して、［インストール］をクリックします。

リモート UI から MEAP アプリケーションをインストールする（手動）

リモート UI から、本製品に MEAP アプリケーションをインストールします。

メモ
- インストールできる MEAP アプリケーションは、最大 19 個までです。
- MEAP アプリケーションが使用できるメモリー領域最大約 1GB までです。
- MEAP アプリケーションによっては、インストールに特定の条件を必要とする場合があります。詳細については、各 MEAP アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

1 リモート UI のトップページから、［設定 / 登録］→［ライセンス / その他］→［ソフトウェアの登録 / 更新］をクリックします。

2 ［手動インストール］をクリックします。

3 ［参照］をクリックして、インストールするアプリケーションファイルとライセンスファイルをそれぞれ選択し、［次へ］をクリックします。

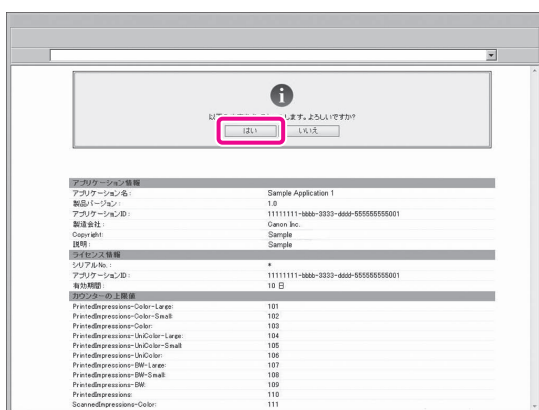
ライセンスファイル：拡張子が「lic」のファイルです。
アプリケーションファイル：拡張子が「jar」のファイルです。

重要

- ライセンスファイルのみをインストールすることはできません。
- MEAP アプリケーションをインストールするときは、必ずライセンスファイルを指定してください。ライセンスファイルの指定をせずにインストールすることはできません。

メモ

ファイルのパスを直接入力して指定することもできます。

4 インストールの確認ページの内容を確認して、［はい］をクリックします。

MEAP アプリケーションによっては、使用許諾の画面が表示される場合があります。内容を確認して、［同意します］をクリックしてください。
新規に MEAP アプリケーションをインストールする場合に表示される画面には、次の情報が記載されています。

- アプリケーション情報
- ライセンス情報

MEAP アプリケーションを上書きする場合に表示される画面には、次の情報が記載されています。

- 現在のアプリケーション情報
- 上書き後のアプリケーション情報

「インストールしています ... しばらくお待ちください。」というメッセージが再び表示されたあと、インストールが始まります。インストールが終了したら、［手動インストールへ］をクリックして、手動インストール画面へ戻ります。

重要

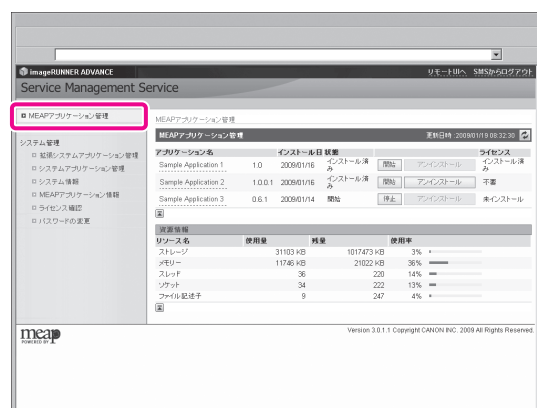
インストールした MEAP アプリケーションを使用するには、MEAP アプリケーションを開始の状態にする必要があります。「MEAP アプリケーションを使用できる状態にする」（→ P. 73）を参照してください。

MEAP アプリケーションを使用できる状態にする

SMS の画面から、インストールした MEAP アプリケーションを使用できる状態にします。

メモ

SMS の詳細については、e- マニュアル > MEAP を参照してください。

1 SMS のトップページから、［MEAP アプリケーション管理］をクリックします。

2 開始する MEAP アプリケーションの［開始］をクリックします。

マニュアルや関連ソフトウェアなどをダウンロードする

インストールしたシステムオプション／MEAP アプリケーションによっては、以下の URL からそのマニュアルや関連ソフトウェアなどをダウンロードすることができます。

http://canon.com/fau/downloads

 メモ

- あらかじめ、パッケージに同梱されているライセンスアクセス番号証書を準備しておいてください。
- ダウンロードするマニュアルがない場合は、本製品に同梱されている e- マニュアル内の機能の説明を参照してください。
- リモート UI からインストールした場合は、インストール結果ページに表示されるリンクから上記 URL へ移動できます。その際、ライセンスアクセス番号は自動で入力されます。

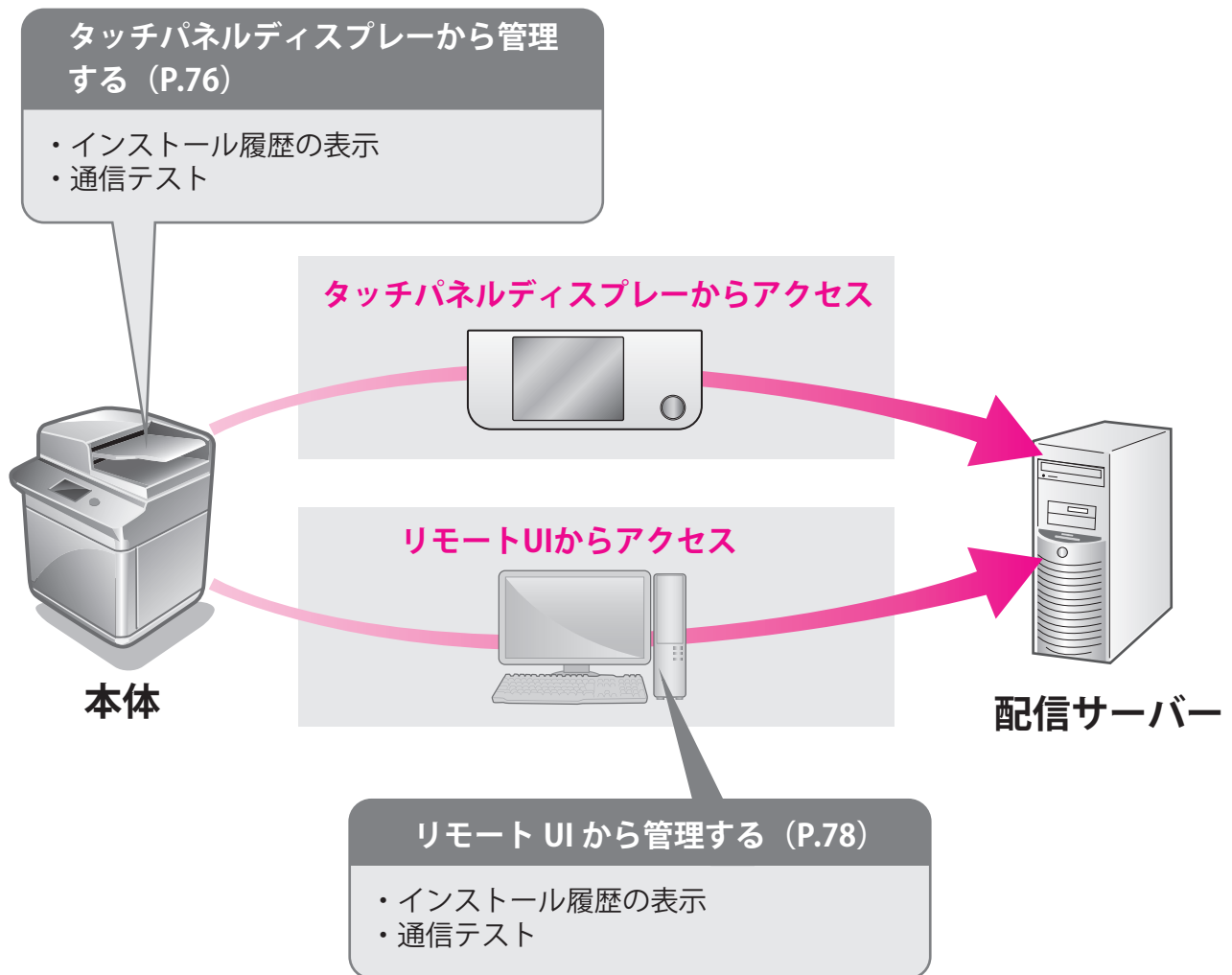
1 お使いのコンピューターの Web ブラウザーを起動します。

2 アドレス入力欄に URL を入力します。

3 ライセンスアクセス番号を入力したあと、画面に従ってマニュアルや関連ソフトウェアなどをダウンロードします。

ソフトウェアをダウンロードした場合は、そのソフトウェアのマニュアルを参照してインストールしてください。

ソフトウェアの登録／更新を管理する

「ソフトウェアの登録／更新」の機能を使って、システムオプション／ MEAP アプリケーションのインストール履歴の確認や、配信サーバーとの通信テストを行うことができます。タッチパネルディスプレー、コンピューター（リモート UI）のどちらからでも、本機能を使用できます。

タッチパネルディスプレーから管理する

タッチパネルディスプレーからインストール／アップデート履歴の表示、通信テストを行います。

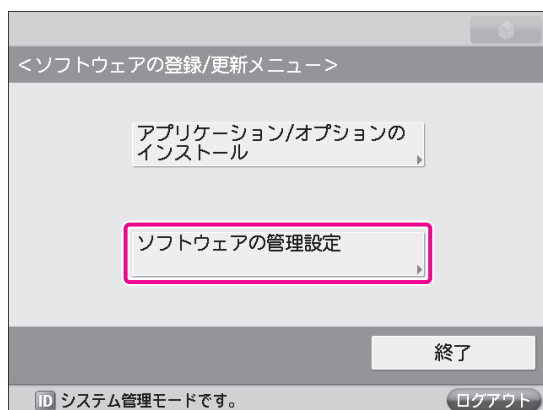
メモ

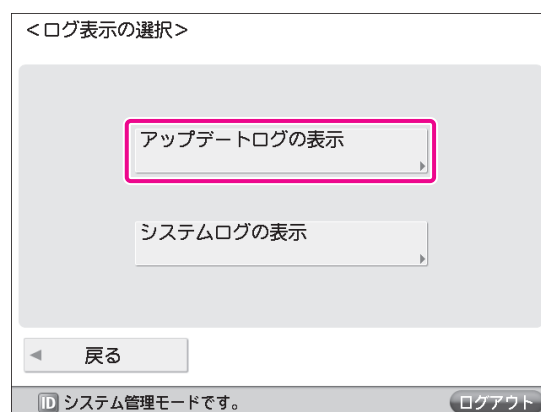
複数のユーザーが同時に、「ソフトウェアの登録／更新」を使用することはできません。

タッチパネルディスプレーからインストール履歴を表示する

システムオプション／MEAP アプリケーションのインストール履歴を確認します。

1 （設定／登録）→［管理設定］→［ライセンス / その他］→［ソフトウェアの登録 / 更新］を押します。

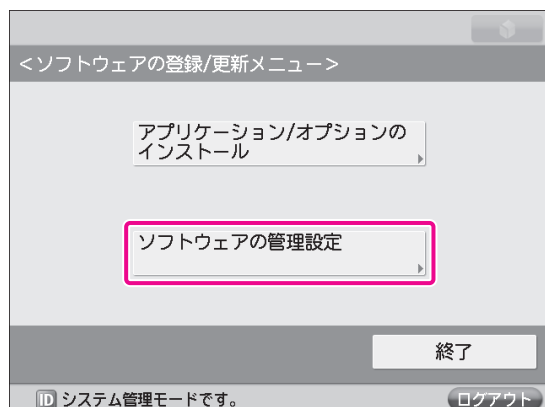
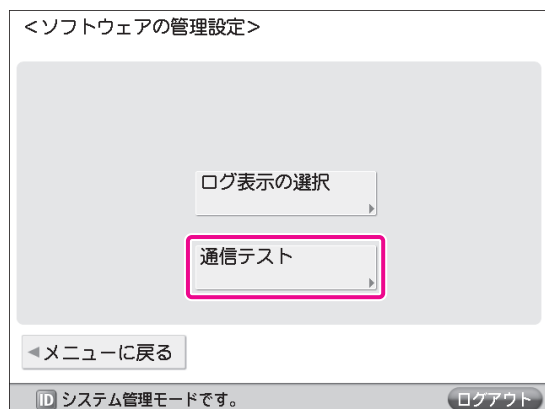
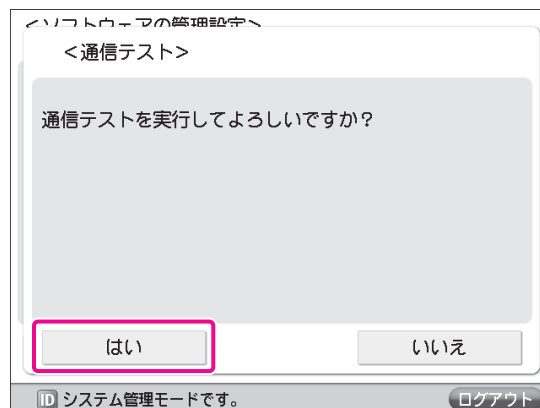
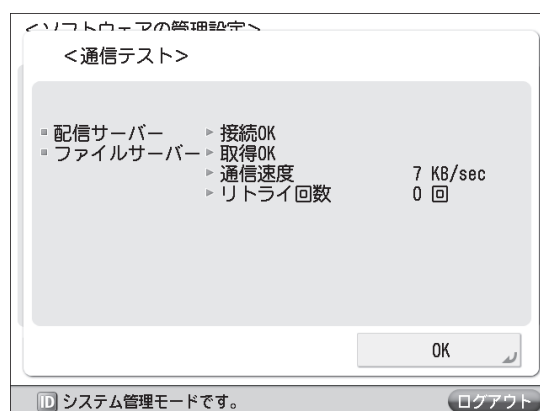
2 ［ソフトウェアの管理設定］を押します。

3 ［ログ表示の選択］を押します。

4 ［アップデートログの表示］を押します。

システムオプション／ MEAP アプリケーションのインストール履歴が表示されます。

タッチパネルディスプレーから通信テストを行う

配信サーバーと正常に通信が行われるかどうかを確認します。

1 （設定／登録）→［管理設定］→［ライセンス / その他］→［ソフトウェアの登録 / 更新］を押します。

2 ［ソフトウェアの管理設定］を押します。

3 ［通信テスト］を押します。

4 ［はい］を押します。

配信サーバーから、テスト用コンテンツがダウンロードされます。通信テストが終了すると、通信テスト結果画面が表示されます。

メモ

通信テスト結果画面で「NG」と表示された場合は、ネットワークケーブルが抜けていないか、ネットワーク設定に問題がないかを確認してください。解決しないときは、担当サービスにお問い合わせください。

リモート UI から管理する

リモート UI からのインストール履歴の表示・通信テストを行います。

メモ

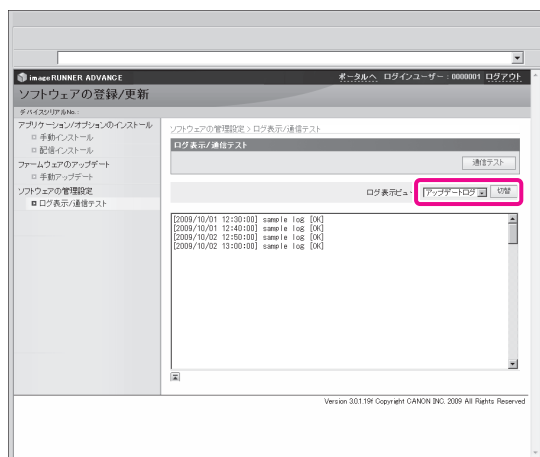
- 他のユーザーが SMS（Service Management Service）にログインしている場合、リモート UI から「ソフトウェアの登録／更新」を使用できません。
- 次の操作を行うと、一定時間リモート UI から「ソフトウェアの登録／更新」を使用できません。
  - SMS の Remote Login Service が設定されている場合に、［ポータル］または［ログアウト］を押さずに Web ブラウザーを終了したとき
  - SMS の Remote Login Service が設定されていない場合に、［ポータル］を押さずに Web ブラウザーを終了したとき
  - SMS の［ログアウト］、［SMS からのログアウト］、［リモート UI へ］を押さずに Web ブラウザーを終了したとき

リモート UI からインストール履歴を表示する

システムオプション／ MEAP アプリケーションのインストール履歴を確認します。

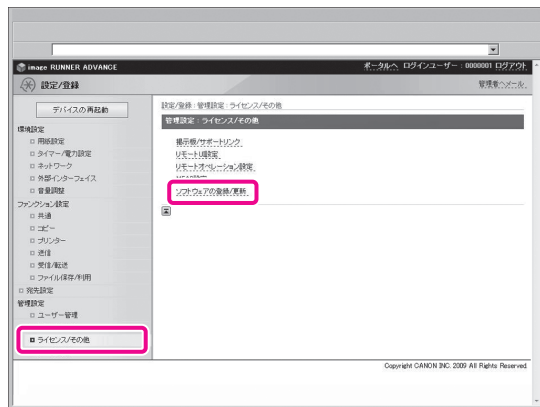
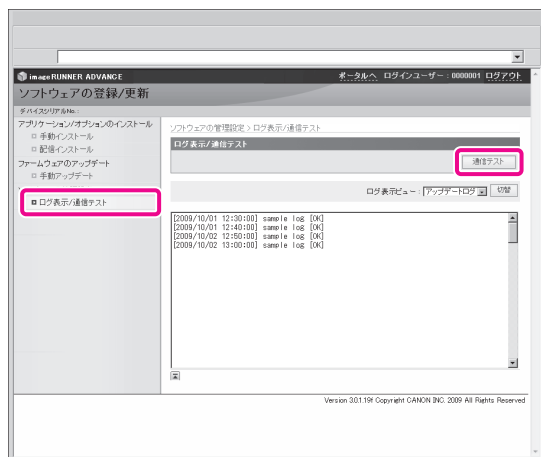
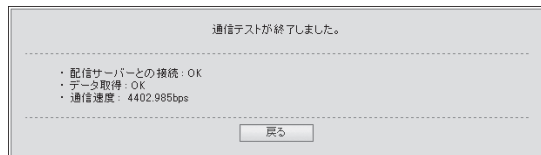
1 リモート UI のトップページから、［設定 / 登録］→［ライセンス / その他］→［ソフトウェアの登録 / 更新］をクリックします。

2 ［ログ表示 / 通信テスト］をクリックします。

3 ログ表示ビュードロップダウンリストから［アップデートログ］を選択して、［切替］をクリックします。

システムオプション／ MEAP アプリケーションのインストール履歴が表示されます。

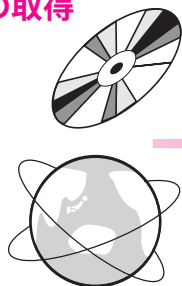
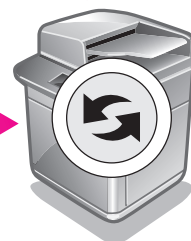
リモート UI から通信テストを行う

配信サーバーと正常に通信が行われるかどうかを確認します。

1 リモート UI のトップページから、［設定 / 登録］→［ライセンス / その他］→［ソフトウェアの登録 / 更新］をクリックします。

2 ［ログ表示 / 通信テスト］→［通信テスト］をクリックします。

確認ダイアログが表示されたら、［はい］をクリックします。配信サーバーから、テスト用コンテンツがダウンロードされます。通信テストが終了すると、通信テスト結果画面が表示されます。

メモ

通信テスト結果画面で「NG」と表示された場合は、ネットワークケーブルが抜けていないか、ネットワーク設定に問題がないかを確認してください。解決しないときは、担当サービスにお問い合わせください。

ファームウェアをアップデートする

「ソフトウェアの登録／更新」の機能を使って、本製品のファームウェアを最新バージョンにアップデートできます。

リモート UI からアップデートする（手動）

本製品に接続したリモート UI から、ファームウェアをアップデートします。

メモ

- この操作を行うには、別途配布されるファームウェアのデータが必要です。
- 複数のユーザーが同時に、「ソフトウェアの登録／更新」を使用することはできません。
- 他のユーザーが SMS（Service Management Service）にログインしている場合、リモート UI から「ソフトウェアの登録／更新」を使用できません。
- 次の操作を行うと、一定時間リモート UI から「ソフトウェアの登録／更新」を使用できません。
  - SMS の Remote Login Service が設定されている場合に、［ポータル］または［ログアウト］を押さずに Web ブラウザーを終了したとき
  - SMS の Remote Login Service が設定されていない場合に、［ポータル］を押さずに Web ブラウザーを終了したとき
  - SMS の［ログアウト］、［SMS からのログアウト］、［リモート UI へ］を押さずに Web ブラウザーを終了したとき

1 リモート UI のトップページから、［設定 / 登録］→［ライセンス / その他］→［ソフトウェアの登録 / 更新］をクリックします。

2 ［手動アップデート］をクリックします。

3 ［参照］をクリックしてアップデートに使用するファームウェアを選択→［次へ］をクリックします。

4 アップデートの確認ページの内容を確認→［はい］をクリックします。

これで、最新のファームウェアが本製品に適用されました。「ファームウェアを更新しました。デバイスを再起動してください。」というメッセージが表示されたら、本製品を再起動してください。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者　連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90056

[受付時間]　<平日> 9:00～12:00、13:00～17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は03-5428-1263をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

FT5-4508　(010)　XXXXXXXXXX

PRINTED IN CHINA